NTT

Smart Netcommunity

αA1

音声メール GW
取扱説明書

このたびは、スマートネットコミュニティ α A1 音声メール GW をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご利用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意
この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

- この取扱説明書は、スマートネットコミュニティαA1標準電話機24回線タイプを例として記載しています。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害、または本商品の登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品で万一、故障が発生した場合、録音されているメッセージについては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。詳しくは当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書とともに必ず、スマートネットコミュニティαA1主装置の取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 電話機操作について操作早見表をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

Microsoft、Windows、およびWindows Mediaは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。
なお、本文中には ™、® マークは明記しておりません。

⚠危険

●蓄電池は密閉空間には設置しないでください。爆発や火災により、感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●蓄電池は火気の近くには設置しないでください。爆発・火災により、感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●蓄電池を使用する場合は、次のことを必ず守ってください。蓄電池の損傷により、火災・感電の原因となることがあります。

- 電池のプラス端子とマイナス端子間を針金などの金属類で接続しない。
- 火の中に投入したり、加熱しない。
- 金具工具を使用する場合は、ビニールテープなどで絶縁したものを使用する。

●蓄電池を改造または分解しないでください。蓄電池の液漏れ、発熱、破裂等により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。蓄電池の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●蓄電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

●蓄電池を単体では充電しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂等により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

⚠警告

●本商品、LANケーブル、LANケーブルコネクターなどのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品、LANケーブル、LANケーブルコネクターは次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

●本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、本商品の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。

- 本商品を横倒しや逆さまにする。
- 本商品を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- 本商品をじゅうたんや布団の上に置く。
- 本商品にテーブルクロスなどをかける。
- 本商品の周りに物を置いて、通風孔をふさぐ。

お取り扱いについて

⚠警告

●お客様による本商品の設置工事、配線作業、修理・移動などは危険ですから絶対におやめください。本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品からLANケーブルを抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、本商品を倒したり、本商品のキャビネットを破損した場合は、すぐに本商品からLANケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告

●本商品から異常音がしたり、本商品のキャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品からLANケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●本商品、LANケーブル、LANケーブルコネクターに水をかけたり、ぬれた手での操作やLANケーブルの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品からLANケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●万一、本商品に水などの液体が入った場合は、すぐに本商品からLANケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、LANケーブル、LANケーブルのコネクターがぬれた場合は、乾いても使用しないでください。

●本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された本商品は修理に応じられない場合があります）。

●本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●本商品に接続するLANケーブルなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると本商品に接続するLANケーブルが破損し、火災・感電の原因となることがあります。本商品に接続するLANケーブルが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●本商品に接続するLANケーブルが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品からLANケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●近くに雷が発生したときは、すぐに本商品からLANケーブルを抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品や、本商品に接続するLANケーブルを熱器具に近づけないでください。キャビネットや本商品に接続するLANケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

⚠注意

●本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所。
- 振動、衝撃の多い場所。

●本商品は専用の設置用品により、しっかりと固定設置してください。オプション品のお買い求めおよび本商品の設置方法に関しては、当社サービス取扱所にご相談ください。

●屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

●本商品のオプション品の専用スタンド底面はゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

お取り扱いについて

⚠注意

●本商品の上に重い物を乗せないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、壊したりして、けがの原因となることがあります。

●本商品を長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品からLANケーブルを抜いてください。

●本商品は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

●本商品を縦置き設置する場合のオプション専用スタンドの底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

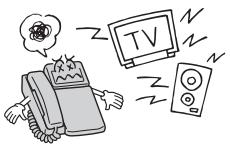
●受話音量増大モード（明瞭モード）に切り替えて、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。

設置について

STOP お願い

●本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバーターエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、主装置や電話機などの設置場所を移動してみてください。



●硫化水素が発生する場所（温泉地）や塩分の多いところ（海岸）、亜硫酸ガスが発生する場所（工業地域の大気汚染環境）、アンモニアが発生する場所（工場内、下水処理場等の汚染環境）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

STOP お願い

●本商品などをベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただしLANケーブル部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。

●ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

●本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

●本商品に接続したLANケーブルを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

●本商品を給電していない状態で20日以上放置した場合、録音されているファイルや設定データが消去され使用できなくなる場合があります。本商品を長時間使用しない場合、重要な録音メッセージやガイダンスなどはパソコンに保存してください。

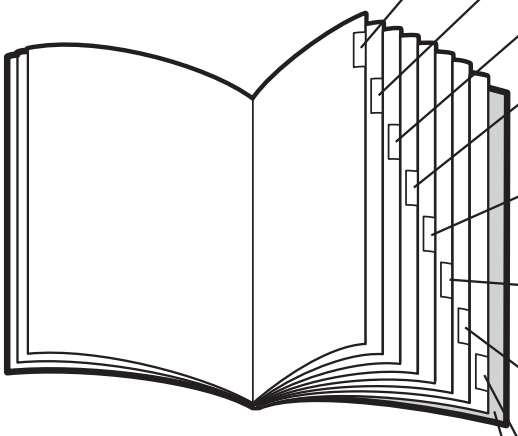
廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。下表に従って消去または当社のサービス取扱所にご相談ください。

記録内容	処置（主装置取扱説明書参照ページ）
録音内容および録音者情報	P42を参照し、すべてのボックスの録音内容を消去してください。 または、P115を参照し、メモリーをフォーマットしてください。

この取扱説明書の見かた／添付品を確認してください

この取扱説明書の構成



1 お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2 お話しを録音する
通話を録音する操作の手順について説明しています。

3 メールを送る
メールを送るための操作･機能について説明しています。

4 メールを再生／消去する
メールを再生したり、消去する操作・機能について説明しています。

5 留守番電話として利用する
留守番電話として利用するための操作・機能について説明しています。

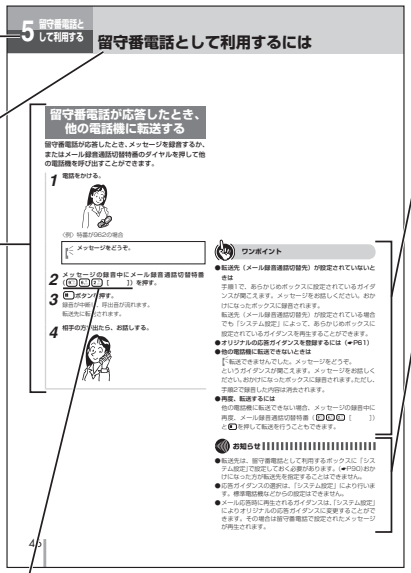
6 IVR 機能
IVR 機能を利用するための操作・機能について説明しています。

7 より便利に使う
1 ～ 6 章までの内容のほかに、利用できる便利な機能について説明しています。

8 ご参考に
便利にお使いになるための「システム設定」について説明しています。

PC操作編
パソコンの Web ブラウザーを使って音声メールを管理する方法について説明しています。

操作説明ページの構成



章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明
順番に操作を説明しています。

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

お願いまたはお知らせ
〈お願い〉
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

〈お知らせ〉
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

特番
各種機能を利用できるようにする番号のことです。
特番は、「システム設定」で変更することもできます。
この取扱説明書では、特番について次のように表しています。
〈例〉
メール録音通話切替特番（⑨⑥② [　　]）

「システム設定」で変更した場合の番号を記入してください。

お買い求め時の番号

目　次

安全にお使いいただくために必ずお読みください …… 2
この取扱説明書の見かた／
　添付品を確認してください …… 8

1 お使いになる前に

特　長 …… 12
セットを確認してください …… 13
各部の名前 …… 14
メールボックスについて …… 15
音声メール操作用ボタンとランプ表示 …… 16

2 お話しを録音する

自動で録音するには（自動通話録音）…… 18
　電話をかけるとき …… 18
　電話がかかってきたとき …… 20
手動で録音するには（手動通話録音）…… 22
録音内容にコメントを付けるには …… 23

3 メールを送る

メールを送るには …… 24
外線を利用してメールを送るには …… 26
メールを転送するには …… 28
メール到達表示とは …… 29
メール到達通知とは …… 30
　メール到達通知または
　　V字発信/再生を設定する …… 30
　メール到達通知またはV字発信/再生サービスを
　　開始する …… 31
　メール到達通知に応答する …… 32

4 メールを再生／消去する

メールを再生するには …… 34
外線を利用してメールを再生するには …… 36
再生するメールを一覧から選択するには …… 38
メールをバックアップするには …… 39
再生中のメールにコメントを付けるには …… 40
再生中のメールを消去するには …… 41
すべてのメールを消去するには …… 42

5 留守番電話として利用する

留守番電話として利用するには …… 43
　留守番電話の対象となる
　　回線を設定する …… 43
　留守番電話を起動する …… 45
　留守番電話の起動を解除する …… 45
　留守番電話が応答したとき、他の電話機に転送する
　　…… 46
留守番電話モニター可表示とは …… 47
留守番電話をモニターするには …… 48

6 IVR機能

IVR機能を利用するには …… 49
　IVR機能とは …… 49
　操作の流れ …… 49
　動作フローを作成する …… 50
　シナリオコマンドを組み合わせる …… 51
　シナリオを作成（編集）する …… 52
　シナリオを表示する …… 56
　応答ガイダンスを録音する …… 56
　シナリオを確認する …… 57
　IVR機能の利用回数を確認する …… 57
　IVR機能の利用回数の名称を登録する …… 58

7 より便利に使う

録音メッセージの再生順を設定するには …… 59
ガイダンス機能を利用するには …… 60
　留守メッセージを設定する …… 61
　各機能に対応したガイダンスを設定する …… 62
　お待たせ（応答／切断）メッセージを設定する …… 63
　FAX ／ TEL切替メッセージを登録する …… 64
　留守メッセージを録音する …… 65
　各機能に対応したガイダンスを録音する …… 66
　お待たせ（応答／切断）メッセージを録音する …… 67
　FAX ／ TEL切替メッセージを録音する …… 68
　メール機能メッセージを録音する …… 69
　共用ガイダンスを録音する …… 70
トーキー機能を利用するには …… 71
内線電話機に転送するには（内線呼出）…… 72
外線に転送するには（外線転送）…… 73
各種機能にアクセスするには（機能アクセス）…… 74
V字再生を利用するには …… 75
V字発信を利用するには …… 76

録音内容を一括管理するには
（FTPサーバーへの音声メールアップロード）…… 78
録音内容を一括管理するには
（フレッツ・あずけ〜るへの音声メールアップロード）…… 80
本商品（「主装置のWeb設定」）と
フレッツ・あずけ〜るの連携手順 …… 80
フレッツ・あずけ〜る上のフォルダ自動生成 …… 82
録音メッセージの管理に電子メールを利用するには …… 84

8 ご参考に

主装置のWeb設定によりご利用になれる機能…… 86
システム設定によりご利用になれる機能 …… 88
お話しを録音する …… 89
メールを送る …… 89
メールを再生／消去する …… 90
その他 …… 90
各種機能を利用するための特番一覧 …… 92

PC 操作編

1 概要

特　長 …… 94
パソコンの接続 …… 95
お客様にご用意いただくもの …… 95
動作環境について …… 95
Webブラウザーの設定…… 96
画面の流れ …… 97
一般ユーザー …… 97
ユーザー管理者 …… 98

2 操作の流れ

ログインするには …… 100
一般ユーザーとしてログインする …… 100
ユーザー管理者としてログインする …… 101

3 管理を行う

録音メッセージを管理するには …… 102
録音メッセージをパソコンに保存する（一般ユーザー）
…… 102
録音メッセージをパソコンに保存する
（ユーザー管理者）…… 104
録音メッセージを消去する（一般ユーザー）…… 106
録音メッセージを消去する（ユーザー管理者）… 107
個別ガイダンスを管理するには …… 108
個別ガイダンスをアップロードする（一般ユーザー）
…… 108
個別ガイダンスをアップロードする（ユーザー管理者）
…… 109
個別ガイダンスをダウンロードする（一般ユーザー）
…… 110
個別ガイダンスをダウンロードする（ユーザー管理者）
…… 111
共用ガイダンスを管理するには …… 113
共用ガイダンスをアップロードする …… 113
共用ガイダンスをダウンロードする …… 114

4 保守を行う

パソコンからメモリーをフォーマットするには …… 115
ユーザー管理者パスワードを変更するには …… 116
録音可能時間やメールの件数を確認するには …… 117
録音可能時間・件数を確認する（一般ユーザー）· 117
録音可能時間・件数を確認する（ユーザー管理者）
…… 117
IP系システムデータを設定するには …… 118
IPアドレス設定をする …… 118
VLAN環境設定をする …… 119
パソコンから音声メールGWを再起動するには…… 120

5 ご参考に

停電になったときは …… 121
故障かな？と思ったら …… 122
索　引 …… 123
仕　様 …… 126
保守サービスのご案内 …… 127

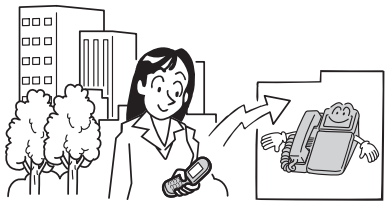
特　長

電話での通話を録音

音声メールを装着すると、電話機を使ってお話ししている内容を録音できます。お話しを始めると同時に録音すること（自動通話録音）も、録音したいときに操作して録音すること（手動通話録音）もできます。録音したメッセージ（メール）を他の方に送ることもできます。

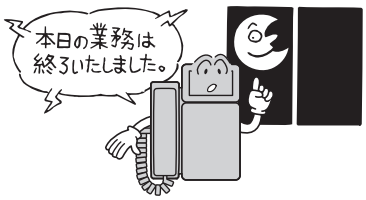
外出先からアクセス可能

外出先から音声メールへアクセスして、録音されているメッセージを再生または相手の方へのメールを録音することができます。さらに、音声メールのガイダンスを利用した内線呼出や外線転送、システムモードの設定などの機能へのアクセスがあります。



不在のときでも着信代行

夜間や休日などの電話に、音声メールが代わって応答します。ご用意しているメッセージの他にも、お客様でご自由にメッセージを録音することができます。また、トーキー機能もご利用いただけます。



充実した留守番電話・録音通知機能

不在時には、音声メールを留守番電話として利用できます。また、メッセージが録音されたことを、電話の発信や電子メールの送信によって通知することもできます。

IVR 機能

音声による自動応答を行う機能で、発信者のダイヤル操作に合わせて、シナリオに沿ってあらかじめ録音してある音声を発信者に自動的に再生し、メッセージ録音、内線呼出や外線転送を行うことができます。

音声ガイダンスで簡単操作

操作の内容は、音声ガイダンスが案内します。ガイダンスに従ってメール操作が簡単に行えます。

お知らせ

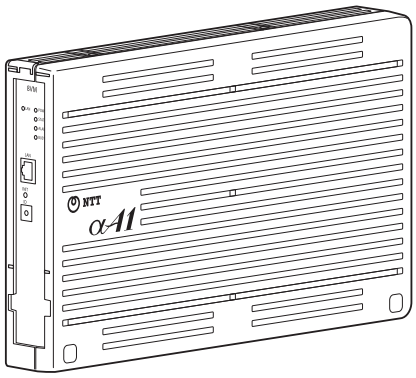
●外出先から音声メールにアクセスする場合は、プッシュホン電話機または回転ダイヤル式電話機で、トーン信号（PB）に切り替えられる電話機をお使いください。

STOP お願い

相手の方に無断で通話録音をしないでください。通話録音は、必ず相手の方の了解を得てから録音を始めてください。個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。特に着信自動録音に設定されている電話機では相手の方の了解を得られない場合は、通話中に取消ボタンを押して通話録音を中止してください。

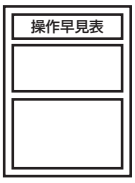
セットを確認してください

■本体

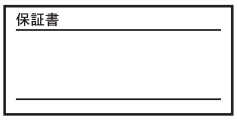


■付属品

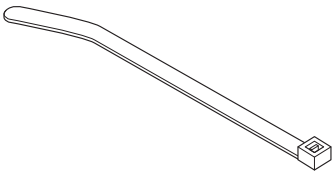
取扱説明書（1部）



操作早見表（1枚）



保証書（1枚）



ケーブルタイ（2本）

装置固定用ねじ（2本）

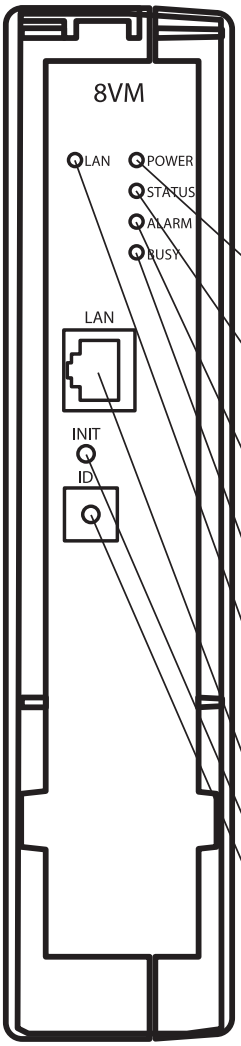
フロントカバー（1個）

名　称	数　量	説　明
取扱説明書	1部	この説明書です。
操作早見表	1枚	電話機操作するときの早見表です。
保証書	1枚	保証書です。大切に保管してください。
ケーブルタイ	2本	配線固定用です。
装置固定用ねじ	2本	装置固定用のねじです。
フロントカバー	1個	本商品の配線カバーです。

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合には、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前

■前面



【ランプ表示】

名　称	状　態	説　明
POWERランプ	電源オン／オフ、初期化の状態を表示します。	OFF：電源オフ 点灯：電源オン 速い点滅：初期化処理中
STATUSランプ	GWの活性状態を示します。	OFF：主装置との切断状態、閉塞状態 点灯：GWの通常状態 速い点滅：GWの起動中 点滅：ファームウェアダウンロード中
ALARMランプ	GWのALARM状態を示します。	OFF：通常状態 点灯：GWの活性化異常、GWの異常、主装置との通信断 遅い点滅：メモリーフォーマット中 高速点滅：音声データ異常
BUSYランプ	GWの使用状態を示します。	OFF：GWを使用していない状態 点灯：GWを使用している状態 速い点滅：閉塞状態
LANランプ	LANの状態を示します。	OFF：LANリンクできない状態 点灯：LANリンク中 データ受信なし 点滅：LANリンク中 データ受信あり

名　称	状　態
LANポート	給電HUBのLANポートと接続します。
INITスイッチ	電源投入時、2秒間以上押し続けたあと、スイッチを離すと設定を初期化し、またメモリーをフォーマットします。
識別スイッチ	同一GW区別用のスイッチです。

メールボックスについて

音声メールで、録音された内容は、メールボックスという単位で管理します。「システム設定」により、お使いの電話機の内線番号や外線にボックス番号を対応させて使用します（内線ボックス、外線ボックス）。メールボックスは「システム設定」により、共通ボックス、同報ボックスとしてもご利用になれます。

■内線ボックス

内線に 1 対 1 で対応したメールボックスです。
内線ボックスは、ボックスボタンに登録して利用することもできます。
内線ボックスの最大は、外線ボックスと共通ボックスと合わせて 500 ボックスです。
ボックス番号は、1 ～ 2000 がお使いになれます。ボックス番号の範囲設定は「システム設定」で行います。

■外線ボックス

外線に 1 対 1 で対応したメールボックスです。
外線ボックスはボックスボタンに登録してご利用になれます。
外線ボックスの最大は、内線ボックスと共通ボックスと合わせて 500 ボックスです。
ボックス番号は、1 ～ 2000 がお使いになれます。ボックス番号の範囲設定は「システム設定」で行います。

■同報ボックス

複数の内線ボックスや外線ボックスを 1 つにまとめたメールボックスです。
同じメッセージを一度の操作で複数のボックスに送る場合にご利用ください。
同報ボックスは、内線番号やボックスボタンに登録してご利用になれます。
1 つの同報ボックスに最大 16 ボックスまとめて利用することができます。
同報ボックスの最大は 16 ボックスです。
ボックス番号は、2001 ～ 2064 がお使いになれます。
ボックス番号の範囲設定は「システム設定」で行います。

■共通ボックス

1 つのボックスを、複数の内線、複数の外線、複数の内線と外線に登録して使用するメールボックスです。
複数の内線や外線で共通に利用することができます。
共通ボックスはボックスボタンに登録してご利用になれます。
共通ボックスの最大は、内線ボックスと外線ボックスと合わせて 500 ボックスです。
ボックス番号は、1 ～ 2000 がお使いになれます。ボックス番号の範囲設定は「システム設定」で行います。

お知らせ

●お使いの主装置によって設定できるボックス番号の数が異なります。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

音声メール操作用ボタンとランプ表示

お使いになっている電話機に、音声メール操作用のボタンを設定することによって、操作が簡単になります。なお、イラストおよび操作、表示、動作はスマートネットコミュニティαA1標準スター電話機24キータイプを例として記載しています。詳しくは、設置工事のときにご相談ください。また、お使いの電話機によっては画面表示、ランプ表示が異なるものがあります。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお気軽にご相談ください。

標準電話機（24 キータイプ）

回線ボタン

未使用の回線ボタンに次のボタンを設定することができます。

録音…… お話しの録音を開始する
録音中のメールを送信する
再生中のメールを送信する

取消…… お話しやコメントの録音、メール送信を途中で取りやめる
再生中のメールを消去する

コメント…… メールにコメントを付ける

留守…… 留守番電話機能を設定／解除する

ボックス…… メールボックスを指定する
ボックスに録音されているメールを再生する

録音モード… 自動通話録音／手動通話録音を切り替える

【ランプ表示】

■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプの種類	ランプのつきかた（色）	電話機の状態
着信ランプ	速い点滅　（赤）	留守番電話が応答して、他の電話機に転送されたとき
内線ランプ	速い点滅　（赤）	留守番電話が応答して、他の電話機に転送されたとき
録音ランプ	点灯　（赤）	録音中
	点滅　（赤）	録音一時停止中
	速い点滅　（赤）	録音時間オーバー、録音できないとき
取消ランプ	－	（ランプは点灯・点滅しません）
コメントランプ	2回消える　（緑）	コメント録音中
	速い点滅　（赤）	コメントが録音できないとき
	点滅　（緑）	コメント録音一時停止中
留守ランプ	2回消える　（赤）	留守番電話起動中、留守番電話の設定操作中
ボックスランプ	2回消える　（緑）	メール再生中
	点滅　（緑）	メールが録音されたとき
	点灯　（赤）	音声メールが使えないとき
録音モードランプ	点灯　（赤）	自動通話録音設定中

自動で録音するには　（自動通話録音）

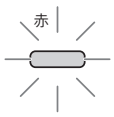
外の相手の方とのお話しの内容を自動的に録音することができます。ただし、内線でのお話しは録音されません。自動通話録音は「システム設定」で設定されていることが必要です。

電話をかけるとき

外の相手の方とお話しを始めると、自動的に録音を開始します。お使いの電話機に対応するボックスに録音されます。

1 **外線で電話をかける。**
電話番号が表示されます。

2 **相手の方がでたら、お話しする。**
録音ランプが点灯し、お話しの内容が録音されます。



3 **お話しが終わったら、ハンドセットを置く。**
録音が終了し、録音ランプが消えます。

ワンポイント

●自動通話録音の種類
お話しを自動的に録音するには、下のどの条件で録音を開始するかを「システム設定」で設定する必要があります。
- 電話をかけて、相手の方とお話しを始めたときから録音する
- かけてきた相手の方とお話しを始めたときから録音する
- 転送されてきた相手の方とお話しを始めたときから録音する

●録音を一時停止するには
- 録音中に⊛を押します。録音を再開したいときは、もう一度⊛を押します。

●録音内容にコメントを録音するには
録音内容にコメントを付けることができます。（☛P23）

●録音内容を転送するには
録音内容を他のボックスに転送することができます。（☛P28）

●保留を行ったときには
保留を行うと、録音は一時停止します。保留に応答すると、再び録音を開始します。ただし、保留中は録音を終了したり、中止することはできません。

●録音を終了するには
録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、＃＃を押します。

●録音を中止するには
録音中または録音一時停止中に、取消ボタンを押します。

●録音中止後に録音を再開したいときは
録音を中止したあとで、録音ボタンを押します。

●録音中に相手の方が電話を切ったときは
「ピッ」切断されました。
というガイダンスが流れ、自動的に録音を終了します。

●録音件数や録音時間を設定するには
1つのボックスに録音できる数や、1回の操作で録音できる時間を「システム設定」することができます。

●録音モードを切り替えるには

「システム設定」で、録音モードが自動通話録音に設定されているときに、録音モードボタンを押すと、手動通話録音に切り替えることができます。再度、録音モードボタンを押すと自動通話録音モードに戻ります。

また、次の操作でも切り替えられます。手順①で内線ボタンを押すと、ワンタッチオンフックサービスを利用されている場合は、スピーカーランプが自動的に点灯します。それ以外の場合はスピーカボタンを押してください。

〈手動通話録音モードに切り替える〉

①ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
②自動通話録音モード解除特番（⑨⑥⑦［　　］）を押す
③スピーカボタンを押す

〈自動通話録音モードに切り替える〉

①ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
②自動通話録音モード設定特番（⑨⑥⑥［　　］）を押す
③スピーカボタンを押す

●録音時間が一定時間を超えたときは

「システム設定」により設定された録音時間が経過すると、「システム設定」の内容により、次のようになります。

- 録音が終了し、録音ランプが赤で速く点滅します。再度、録音ボタンを押すと、新しいメッセージとして録音されます。
- 録音時間が経過した時点で、それまでの録音内容は消去され、続けて録音されます。

●録音時間が一定時間に満たなかったときは

「システム設定」によって、録音時間の短い録音を自動で消去するように設定することもできます。

お知らせ

- ●内線でのお話しは、自動通話録音されません。手動での通話録音は可能です。（☛P22）
- ●録音した内容をお使いの電話機のボックスに保存するかどうかは「システム設定」で設定します。（☛P89）
- ●お話しを録音中に次の操作をすると、録音は終了します。
  - 他の方に電話を転送する
  - 会議通話をする
  - フックキーを押す
- ●録音ランプが赤で速く点滅しているときは、録音できません。
- ●通話録音中に長時間保留後、長時間保留警報による着信に応答すると、再び録音を開始します。ハンドセットを置くと録音は終了します。
- ●ハンズフリーでお話し中の場合も録音されます。
- ●通話録音中の外線を音声メールに保留転送することはできません。
- ●お話し中の録音をダイヤルボタンで一時停止・終了する操作は、「システム設定」により利用することができます。

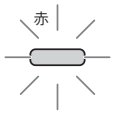
自動で録音するには　（自動通話録音）

電話がかかってきたとき

外からかかってきた電話に応答すると、自動的に録音を開始します。お使いの電話機に対応するボックスに録音されます。

1 **着信音が鳴ったら、応答操作を行い、ハンドセットを上げる。**

2 **相手の方とお話しする。**
録音ランプが点灯し、お話しの内容が録音されます。



3 **お話しが終わったら、ハンドセットを置く。**
録音が終了し、録音ランプが消えます。

ワンポイント

●自動通話録音の種類
お話しを自動的に録音するには、下のどの条件で録音を開始するかを「システム設定」で設定する必要があります。
- 電話をかけて、相手の方とお話しを始めたときから録音する
- かけてきた相手の方とお話しを始めたときから録音する
- 転送されてきた相手の方とお話しを始めたときから録音する

●録音を一時停止するには
- 録音中に✱を押します。録音を再開したいときは、もう一度✱を押します。

●録音内容にコメントを録音するには
録音内容にコメントを付けることができます。（☛P23）

●録音内容を転送するには
録音内容を他のボックスに転送することができます。（☛P28）

●保留を行ったときには
保留を行うと、録音は一時停止します。保留に応答すると、再び録音を開始します。ただし、保留中は録音を終了したり、中止することはできません。

●録音を終了するには
録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、＃＃を押します。

●録音を中止するには
録音中または録音一時停止中に、取消ボタンを押します。

●録音中止後に録音を再開したいときは
録音を中止したあとで、録音ボタンを押します。

●録音中に相手の方が電話を切ったときは
「切断されました。
というガイダンスが流れ、自動的に録音を終了します。

●録音件数や録音時間を設定するには
1つのボックスに録音できる数や、1回の操作で録音できる時間を「システム設定」することができます。

●録音モードを切り替えるには

「システム設定」で、録音モードが自動通話録音に設定されているときに、録音モードボタンを押すと、手動通話録音に切り替えることができます。再度、録音モードボタンを押すと自動通話録音モードに戻ります。

また、次の操作でも切り替えられます。手順①で内線ボタンを押すと、ワンタッチオンフックサービスを利用されている場合は、スピーカーランプが自動的に点灯します。それ以外の場合はスピーカボタンを押してください。

〈手動通話録音モードに切り替える〉

①ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
②自動通話録音モード解除特番（⑨⑥⑦［　　］）を押す
③スピーカボタンを押す

〈自動通話録音モードに切り替える〉

①ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
②自動通話録音モード設定特番（⑨⑥⑥［　　］）を押す
③スピーカボタンを押す

●録音時間が一定時間を超えたときは

「システム設定」により設定された録音時間が経過すると、「システム設定」の内容により、次のようになります。

- 録音が終了し、録音ランプが赤で速く点滅します。再度、録音ボタンを押すと、新しいメッセージとして録音されます。
- 録音時間が経過した時点で、それまでの録音内容は消去され、続けて録音されます。

●録音時間が一定時間に満たなかったときは

「システム設定」によって、録音時間の短い録音を自動で消去するように設定することもできます。

お知らせ

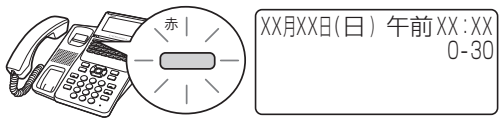
●内線でのお話しは、自動通話録音されません。手動での通話録音は可能です。（☛P22）
●録音した内容をお使いの電話機のボックスに保存するかどうかは「システム設定」で設定します。（☛P89）
●お話しを録音中に次の操作をすると、録音は終了します。
- 他の方に電話を転送する
- 会議通話をする
- フックキーを押す

●録音ランプが赤で速く点滅しているときは、録音できません。
●通話録音中に長時間保留後、長時間保留警報による着信に応答すると、再び録音を開始します。ハンドセットを置くと録音は終了します。
●ハンズフリーでお話し中の場合も録音されます。
●通話録音中の外線を音声メールに保留転送することはできません。
●お話し中の録音をダイヤルボタンで一時停止・終了する操作は、「システム設定」により利用することができます。

手動で録音するには　（手動通話録音）

相手の方とお話し中に、録音開始の操作をすると録音されます。外線、内線どちらをお使いのときも録音できます。お使いの電話機に対応しているボックスに録音されます。

1 **相手の方とお話し中に、録音ボタンを押す。**
録音ランプが点灯し、お話しの内容が録音されます。



2 **お話しが終わったら、ハンドセットを置く。**
録音が終了し、録音ランプが消えます。

ワンポイント

●録音を一時停止するには
- 録音中に⊛を押します。録音を再開したいときは、もう一度⊛を押します。

●保留を行ったときには
保留を行うと、録音は一時停止します。保留に応答すると、再び録音を開始します。ただし、保留中は録音を終了したり、中止することはできません。

●録音を終了するには
録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、#を押します。

●録音を中止するには
録音中または録音一時停止中に、取消ボタンを押します。

●録音中止後に録音を再開したいときは
録音を中止したあとで、録音ボタンを押します。

●録音件数や録音時間を設定するには
1つのボックスに録音できる数や、1回の操作で録音できる時間を「システム設定」することができます。

●録音時間が一定時間を超えたときは
「システム設定」により設定された録音時間が経過すると、「システム設定」の内容により、次のようになります。
- 録音が終了し、録音ランプが赤で速く点滅します。再度、録音ボタンを押すと、新しいメッセージとして録音されます。
- 録音時間が経過した時点で、それまでの録音内容は消去され、続けて録音されます。

●録音時間が一定時間に満たなかったときは
「システム設定」によって、録音時間の短い録音を自動で消去するように設定することもできます。

●録音中に相手の方が電話を切ったときは
「ご切断されました。
というガイダンスが流れ、自動的に録音を終了します。

お知らせ

●録音した内容をお使いの電話機のボックスに保存するかどうかは「システム設定」で設定します。（☛P89）
●お話しを録音中に次の操作をすると、録音は終了します。
- 他の方に電話を転送する
- 会議通話をする
- フックキーを押す

●録音ランプが赤で速く点滅しているときは、録音できません。
●通話録音中に長時間保留後、長時間保留警報による着信に応答すると、再び録音を開始します。ハンドセットを置くと録音は終了します。
●ハンズフリーでお話し中の場合も録音されます。
●通話録音中の外線を音声メールに保留転送することはできません。
●お話し中の録音をダイヤルボタンで一時停止・終了する操作は、「システム設定」により利用することができます。

録音内容にコメントを付けるには

録音中または録音一時停止中に、録音した内容の前または後にコメントを付けることができます。コメントを付けたあと、そのメールを他のボックスに転送することもできます。

1 お話しを録音中または録音の一時停止中に、コメントボタンを押す。

コメントボタンを押したときに録音が終了します。
〈例〉内線番号が100の場合

100へｺﾒﾝﾄ録音

コメントをどうぞ。

2 コメントをお話しする。

100へｺﾒﾝﾄ録音

3 お話しが終わったら、コメントボタンを押す。

コメントの録音が終了し、コメントランプが消えます。

100へｺﾒﾝﾄ録音

ワンポイント

●通話録音中にコメントボタンを押したときは
相手の方とのお話しを終了し、コメントの録音を開始します。

●コメントの位置を決めるには
コメントの位置は「システム設定」で、録音した内容（メール）の前または後のどちらかに指定できます。

●コメントの録音を途中で取り消すには
コメントの録音中に取消ボタンを押すと、コメント録音は中止され取り消されます。

●コメントの録音後、メールを転送するには
手順2でコメントをお話ししたあと、メールの転送操作を行います。（☛P28）

●コメントの録音時間が一定時間に満たなかったときは
「システム設定」で設定された録音時間にコメント録音が満たなかった場合は、そのコメントは自動で消去されます。

お知らせ

●手順1でコメントボタンを押したとき、コメントランプが赤で速く点滅すると、コメントの録音はできません。
●すでにコメントの付いているメールに再びコメントを付けると、前に付いていたコメントは消去されて、新しいコメントが付きます。ハンズフリーでお話し中の場合も録音されます。
●通話録音中のコメント録音をダイヤルボタンで一時停止・終了する操作はできません。

メールを送るには

内線電話機より他の方のボックスにメールを録音することができます。

1 **電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。**

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 **録音ボタンを押す。**

ﾒｰﾙ送信 内線番号または#を入力してください

3 **ダイヤルボタンで相手の方の内線番号、またはボックスボタンを押す。**

〈例〉内線番号が100の場合

100へ録音

メッセージをどうぞ。

4 **メッセージをお話しする。**

100へ録音

5 **お話しが終わったら、ハンドセットを置く。**

録音したメールが、相手の方のボックスへ送信されます。

ワンポイント

●録音を一時停止するには

録音中に⊛を押すと、
「録音を中断しました。
というガイダンスが流れ、録音を一時停止します。
もう一度⊛を押すと、
「録音を再開しました。
というガイダンスが流れ、再び録音できます。

●録音を終了するには

録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、
＃＃を押します。

●メールの送信を中止するには

メッセージの録音中または録音一時停止中に、取消ボタンを押します。

●録音中のメールにコメントを録音するには

録音中のメールにコメントを付けることができます。(☛P23)

●メールを転送するには

録音したメールを他のボックスに転送することができます。(☛P28)

●**一度に複数のボックスにメールを送るには（同報メール）**
手順3で、同報メール用の内線番号またはボックスボタンを押すと、同報ボックスとして登録されているすべてのボックスに送信されます。

●**呼び出した内線電話機がお話し中、または応答しないときにメールを送るには**
①ハンドセットを上げて、「ツーツー…」という音を確認する
②内線番号をダイヤルボタンで押す
③話中音または呼出音を確認する
④録音ボタンを押す
⑤手順4から操作する

●**録音ボタンを押さずにメールを送るには**
手順2で録音ボタンの代わりに、メール送信特番（⑨⑥①［　　］）を押します。

●**録音時間が一定時間に満たなかったときは**
「システム設定」によって、録音時間の短い録音を自動で消去するように設定することもできます。

●**一時停止した録音を自動で再開させるには**
「システム設定」で一時停止した録音を自動で再開させることができます。録音を再開した場合、「録音を再開しました」というガイダンスが流れます。（☛P89）

お知らせ

●同報メールを行うには、「システム設定」が必要です。
●操作をボックスボタンで行った場合で、そのボックスボタンに対応した内線番号がシステム設定されていない場合は、ディスプレイの内線番号は「－－－－」と表示されます。
また、システム設定によりひとつのボックスを複数の内線に登録した場合は、操作した内線番号と違う内線番号がディスプレイに表示される場合があります。

外線を利用してメールを送るには

外から電話をかけて、指定したボックスにメッセージを録音することができます。（メールサービス）。「システム設定」でメールサービスが設定されていることが必要です。

1 「音声メール」へ電話をかける。

ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 3 を押す。

こちらはメールボックスです。録音は 1 を、再生は 2 をダイヤルしてください。

3 1 を押す。

内線番号と＃をどうぞ。

4 録音する内線番号をダイヤルボタンで押す。

メッセージをどうぞ。

5 お話しする。

お話しの内容が録音されます。

6 お話しが終わったら、電話を切る。

録音が終了します。

ワンポイント

●録音を一時停止するには

録音中に ＊ を押すと、
「録音を中断しました。
というガイダンスが流れ、録音を一時停止します。
もう一度 ＊ を押すと、
「録音を再開しました。
というガイダンスが流れ、再び録音できます。

●録音を終了するには

録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、＃ ＃ を押します。

●録音を終了し、再生または録音を選択する操作に戻るには

録音中または録音停止中に 0 を押すと、録音を終了し、音声メールへ電話をかけたときのガイダンスに戻ります。

●内線電話機からご利用になるには

「システム設定」でメールサービスが設定されていない場合もご利用になれます。

①ハンドセットを上げて、「ツーツー…」という音を確認する
②音声メールへの内線番号をダイヤルボタンで押す
③続けて手順3から操作する

●録音時間が一定時間に満たなかったときは

「システム設定」によって、録音時間の短い録音を自動で消去するように設定することもできます。

●ガイダンス再生中にダイヤルボタンを押したときは

ガイダンスの再生が中断され、押したダイヤルに対応したサービスが開始されます。

●一時停止した録音を自動で再開させるには

「システム設定」で一時停止した録音を自動で再開させることができます。録音を再開した場合、「録音を再開しました」というガイダンスが流れます。（☛P89）

お知らせ

- お話ししている外線を内線から音声メールへ保留転送してもらい、メッセージを録音することもできます。音声メールに保留転送された場合、ガイダンスが途中から再生されます。
- 外線から音声メールを録音した場合、音声メールへ蓄積される発信者情報は外線の番号になります。
- 外線の番号を表示させるためのナンバーディスプレイ（発信電話番号表示サービス）を利用するには当社との利用契約が必要です。
- 「システム設定」によって、音声メールが応答した場合に録音したガイダンス（メール機能メッセージ）を再生することができます。（☛P69）
- 「システム設定」によって設定できる音声メール応答時の共用ガイダンスは、1種類のみです。
- 音声メール応答時の共用ガイダンスは、応答したあとに1回だけ再生されます。
- ガイダンスが聞こえている間にダイヤルボタンを押した場合、正常に動作しないことがあります。ガイダンスが終了してからダイヤルボタンを押してください。

メールを転送するには

メールを他の方のボックスに転送することができます。

1 **お話しの録音中、録音一時停止中、コメント録音中、メールの再生中に、録音ボタンを押す。**

〈例〉録音中にメールを転送する場合

メール転送先選択
内線番号/BOXﾎﾞﾀﾝ押下

2 **ダイヤルボタンで相手の方の内線番号、またはボックスボタンを押す。**

〈例〉内線番号が100の場合

メール転送先選択
100
内線番号/BOXﾎﾞﾀﾝ押下

3 **ハンドセットを置く。**

メールが相手のボックスへ送信されます。

ワンポイント

●**転送先を取り消すには**

手順2で取消ボタンを押すと、転送を取り消すことができます。

お知らせ

●「システム設定」により、転送したメールを元のボックスに残すか残さないかを設定することができます。

●メール転送先の設定中でも、コメントを録音することができます。

●手順2で、同報メール用の内線番号またはボックスボタンを指定することもできます。

●操作をボックスボタンで行った場合で、そのボックスボタンに対応した内線番号がシステム設定されていない場合は、ディスプレイの内線番号は「－－－－」と表示されます。
また、システム設定によりひとつのボックスを複数の内線に登録した場合は、操作した内線番号と違う内線番号がディスプレイに表示される場合があります。

メール到達表示とは

お使いの電話機に登録されているボックスボタンのボックスにメールが到達すると、そのボックスランプが点滅してメールがきたことをお知らせします。

1 ボックスにメールが到達すると、ボックスランプが点滅する。

（ボックスランプ）

ワンポイント

●**メール到達時のランプ表示について**

ボックスにメールが到達したときのボックスランプの状態を、「システム設定」で設定することができます。（☛P89）

●**メール到達を電子メールで通知するには（☛P86）**

ボックスにメールが到達したことを、あらかじめ登録したアドレスに電子メールで通知するように設定できます。

メール到達通知とは

メール到達通知が設定されているボックスにメールが到達すると、そのボックスに登録されている外線電話番号に発信し、メールの到達を知らせます。メール到達通知は、メール到達通知先の設定後、通知サービス開始操作をしてから、解除操作をするまでメールが到達するたびに着信音でお知らせします。メール到達通知の設定は、ボックスごとに行います。
また、V字発信/再生は、V字発信/再生先の設定後、V字発信/再生サービス開始操作をしてから、解除操作をするまでV字発信/再生機能をご利用できます。

メール到達通知またはV字発信/再生を設定する

1 メニューを押す。

```
1:電話帳
2:電話機毎設定
3:ｼｽﾃﾑ一括設定
```

2 上下ボタンで「2:電話機毎設定」を選択し、決定を押す。
または②を押します。

```
1:発信
2:着信
3:留守/転送
4:音声ﾒｰﾙ
```

3 上下ボタンで「4:音声メール」を選択し、決定を押す。
または④を押します。

```
1:留守ﾒｯｾｰｼﾞ設定
2:録音ﾒｯｾｰｼﾞ再生順
3:V字発信/ﾒｰﾙ通知先
```

4 上下ボタンで「3：V字発信/メール通知先」を選択し、決定を押す。
または③を押します。

```
V字発信/ﾒｰﾙ通知先
1:起動/解除
2:通知先設定
```

5 上下ボタンで「2:通知先設定」を選択し、決定を押す。
または②を押します。

```
通知先設定
```

6 メールの到達をお知らせしたい方またはV字発信／再生を利用したい方の電話番号をダイヤルボタンで押す。

```
通知先設定
          XXXXXXXXXX
```

電話番号は最大24桁登録できます。
内線番号は指定できません。

7 決定を押す。

8 メニューを終了する。

お知らせ

- 「システム設定」で、あらかじめメール到達通知先またはV字発信/再生先を設定することもできます。
- 1回のメール到達通知の呼出時間、呼出回数、呼出間隔は、「システム設定」により設定されています。
- 「システム設定」で、録音時間の短いメールによるメール到達通知またはV字発信/再生を行わない様に設定することもできます。
- V字発信/再生機能をご利用になる場合は、必ずV字発信/再生先の設定を行ってください。
- 手順6で、メール到達通知およびV字発信/再生の電話番号を設定する場合は、外線の電話番号を設定してください。内線番号を設定した場合、V字発信/再生機能はご利用できません。

メール到達通知またはV字発信/再生サービスを開始する

1 メニューを押す。

```
1:電話帳
2:電話機毎設定
3:ｼｽﾃﾑ一括設定
```

2 上下ボタンで「2:電話機毎設定」を選択し、決定を押す。
または②を押します。

```
1:発信
2:着信
3:留守/転送
4:音声ﾒｰﾙ
```

3 上下ボタンで「4:音声メール」を選択し、決定を押す。
または④を押します。

```
1:留守ﾒｯｾｰｼﾞ設定
2:録音ﾒｯｾｰｼﾞ再生順
3:V字発信/ﾒｰﾙ通知先
```

4 上下ボタンで「3：V字発信/メール通知先」を選択し、決定を押す。
または③を押します。

```
V字発信/ﾒｰﾙ通知先
1:起動/解除
2:通知先設定
```

5 決定を押す。
または①を押します。

```
起動/解除
0:解除
1:V字発信起動
2:ﾒｰﾙ到達通知起動
```

6 起動または解除を選択し、決定を押す。

7 メニューを終了する。

メール到達通知とは

メール到達通知に応答する

1 メール到達通知の着信に応答する

こちらはメールボックスです。暗証番号をどうぞ。

2 暗証番号をダイヤルボタンで押す。

メールは××件あります。

3 メールの内容を聞く。

ワンポイント

●暗証番号が設定されていないときは

手順1で、

「こちらはメールボックスです。メールは××件あります。」

というガイダンスが流れ、メールが再生されます。

●ダイヤルボタンを使った再生時のメール操作

再生中に下表のダイヤルボタンを押して操作します。

	内　容
①	前のメールを再生する
②	同じメールを繰り返し再生する
③	次のメールを再生する
④	メールを消去する（☛P41）
⑥	メールをバックアップする（☛P39）
⑦	メールを数秒間巻き戻す
⑨	メールを数秒間早送りする
✻①	すべてのメールを消去する（☛P42）

メールを再生するには

ボックスに録音されているメールを再生します。

1 **電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。**

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 **ボックスボタンを押す。**

暗証番号入力

暗証番号をどうぞ。

3 **暗証番号をダイヤルボタンで押す。**

暗証番号入力
＊＊＊＊

メールは××件あります。

4 **メールの内容を聞く。**

複数のメールが録音されているときは、約3秒の間隔を開けて次のメールが再生されます。
メール再生時にできる操作は（☛ワンポイント）

XX月XX日　XX:XX
300
1:前　2:繰返 3:次
4:消　6:保護

5 **メールを聞き終わったら、ハンドセットを置く。**

ボックスランプが消えます。

ワンポイント

●メールがないときは

手順3で、
「メールがありません。
というガイダンスが流れてお知らせします。

●ボックスボタンを押さずにメールを再生するには

手順2で、ボックスボタンの代わりに、メール再生特番（⑨⑥⓪［　　］）と内線番号をダイヤルボタンで押したあと、手順3から操作してください。

●暗証番号が設定されていないときは

手順2で、メールの内容が聞こえてきます。

●メールの再生を中止するには

メール再生中に、ハンドセットを置きます。

●ダイヤルボタンを使った再生時のメール操作

再生中に下表のダイヤルボタンを押して操作します。

	内　容
①※	前のメールを再生する
②	同じメールを繰り返し再生する
③※	次のメールを再生する
④	メールを消去する（☛P41）
⑥	メールをバックアップする（☛P39）
⑦	メールを数秒間巻き戻す
⑨	メールを数秒間早送りする
⊛①	すべてのメールを消去する（☛P42）

※左ボタンでダイヤルボタン①、右ボタンでダイヤルボタン③を押したときと同じ操作ができます。

●再生中のメールにコメントを録音するには

再生中のメールにコメントを付けることができます。（☛P40）

●再生中のメールを転送するには

再生中のメールを他の方のボックスに転送することができます。（☛P28）

●メール再生後のランプ表示について

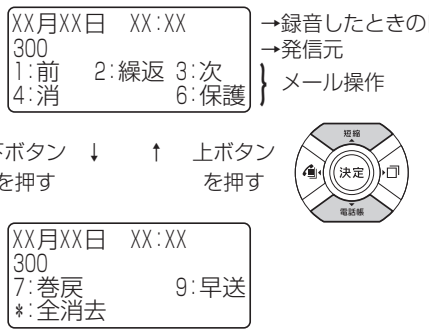
メール再生後のボックスランプの状態を「システム設定」で設定することができます。設定できる状態は次のとおりです。

- 常時点灯しない
- ボックス内に未再生メールがあったときに緑で点滅する
- ボックス内にメールがあったときに緑で点滅する

●メール再生中の表示操作について

メールを再生すると次のように表示されます。

〈メール再生中〉



- 上下ボタンでダイヤルボタンに対応した操作内容の表示が切り替えられます。
- 最後のメールを再生し終わると、先頭からメールを再生し始めます。
- 録音時刻の表示は、24時間表示です。

●メール再生後の録音日時と発信者番号のアナウンスについて

「システム設定」を設定することにより、メールを再生したあとにそのメールが録音された日時と発信者の番号をアナウンスするように設定できます。

ただし、録音時に相手の方から発信者の番号が通知されなかった場合は、録音日時のみアナウンスされます。

●メールの再生順について

録音時刻の新しい順に再生するか、古い順に再生するかを、ボックスごとに設定できます。

お知らせ

●暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。

●1つのボックス番号が複数の電話機に登録されている場合、ある電話機でメール再生操作を行うと、それら複数の電話機のランプ表示も「システム設定」されたランプの状態になります。

●メール再生でメールをお聞きになっている場合、ダイヤルボタンでメール再生中の発信特番を押しても、録音した方へ発信することはできません。ダイヤルボタンを押してもメール再生が継続されます。

外線を利用してメールを再生するには

外から電話をかけて、指定したボックスに録音されているメールを聞くことができます。（メールサービス）「システム設定」でメールサービスが設定されていることが必要です。

1 「音声メール」へ電話をかける。

ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 3 を押す。

こちらはメールボックスです。録音は 1 を、再生は 2 をダイヤルしてください。

3 2 を押す。

内線番号と＃をどうぞ。

4 内線番号をダイヤルボタンで押す。

暗証番号をどうぞ。

5 暗証番号をダイヤルボタンで押す。

メールは××件あります。

6 メールの内容を聞く。

7 メールを聞き終わったら、電話を切る。

ワンポイント

●メールがないときは

手順5で、

メールがありません。

というガイダンスが流れてお知らせします。

●内線電話機からご利用になるには

「システム設定」でメールサービスが設定されていない場合もご利用になれます。

①ハンドセットを上げて、「ツーツー…」という音を確認する

②音声メールへの内線番号をダイヤルボタンで押す

③続けて手順3から操作する

●ダイヤルボタンを使った再生時のメール操作

再生中に下表のダイヤルボタンを押して操作します。

	内　容
1	前のメールを再生する
2	同じメールを繰り返し再生する
3	次のメールを再生する
4	メールを消去する（☛P41）
6	メールをバックアップする（☛P39）
7	メールを数秒間巻き戻す
9	メールを数秒間早送りする
0	はじめの操作ガイダンスに戻る
＊ 1	すべてのメールを消去する（☛P42）

●暗証番号が設定されていないときは

手順4で、

メールは××件あります。

というガイダンスが流れ、メールが再生されます。

●ガイダンス再生中にダイヤルボタンを押したときは

ガイダンスの再生が中断され、押したダイヤルに対応したサービスが開始されます。

お知らせ

- 内線番号、暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。内線番号、暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- お話ししている外線を内線から音声メールへ保留転送してもらい、メールを聞くこともできます。
  音声メールに保留転送された場合、ガイダンスが途中から再生されます。
- 「システム設定」によって、音声メールが応答した場合に録音したガイダンス（メール機能メッセージ）を再生することができます。（☛P69）
- 「システム設定」によって設定できる音声メール応答時の共用ガイダンスは、1種類のみです。
- 音声メール応答時の共用ガイダンスは、応答したあとに1回だけ再生されます。
- ガイダンスが聞こえている間にダイヤルボタンを押した場合、正常に動作しないことがあります。ガイダンスが終了してからダイヤルボタンを押してください。
- メール再生でメールをお聞きになっている場合、ダイヤルボタンでメール再生中の発信特番を押しても、録音した方へ発信することはできません。ダイヤルボタンを押してもメール再生が継続されます。

再生するメールを一覧から選択するには

お使いの電話機に登録されているボックスボタンのボックスに録音されているメールを標準電話機のディスプレイに一覧表示できます。その一覧からメールを選択し、再生することができます。

1 電話が使用中でないことを確認してから、ボックスボタンを押す。

押したボックスボタンのボックスに録音されているメールの発信元と、録音時刻が表示されます。

```
* 11:11 0312345678
* 22:22 0698765432
* 12:34 09087654321
* 11:22 08012345678
```

2 上下左右ボタンで再生したいメールを選択する。

```
* 11:11 0312345678
* 22:22 0698765432
* 12:34 09087654321
* 11:22 08012345678
```

3 ハンドセットを上げる。

```
ﾒｰﾙ再生
```

```
メールは××件あります。
```

4 メールの内容を聞く。

複数のメールが録音されているときは、約3秒の間隔を開けて次のメールが再生されます。

メール再生時にできる操作は（☛ワンポイント）

```
XX月XX日  XX:XX
300
1:前   2:繰返 3:次
4:消          6:保護
```

5 メールを聞き終わったら、ハンドセットを置く。

メールの再生が終了します。

ワンポイント

●ハンドセットを置いたままメールを再生するには

手順3でハンドセットを上げずに㊎またはスピーカボタンを押します。終了するときは、スピーカボタンを押します。

●メールがないときは

手順3で、

「メールがありません。

というガイダンスが流れてお知らせします。

●メール再生時に利用できる操作について

メール再生時の下記の操作については、「メールを再生するには」（☛P34）を参照してください。

- ダイヤルボタンを使ったメール操作
- 再生中のメールにコメントを録音する
- 再生中のメールを転送する
- メールの再生を中止する

●メール再生後のランプ表示について

「メールを再生するには」（☛P35）を参照してください。

お知らせ

●録音時刻の表示は、24時間表示です。

●未再生のメールには、手順1、2のディスプレイの録音時刻の前に「*」が表示されます。

●お使いの電話機によっては「 未 」や「 ◆ 」が表示されます。

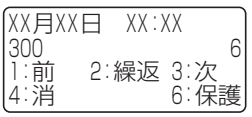
●メールの発信元は、12桁まで表示されます。13桁以降は表示されません。

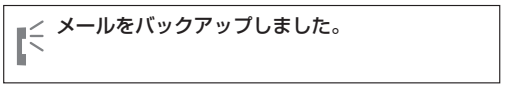
メールをバックアップするには

再生中のメールをバックアップします。バックアップしたメールは、「メールを自動的に消去する」(☛P90)、「すべてのメールを消去するには」(☛P42)を操作しても、消去されません。大事なメールを保存しておくときに便利です。

1 **メール再生中に⑥を押す。**

再生中のメールがバックアップされます。





2 **メールを聞き終わったら、ハンドセットを置く。**

メールの再生が終了し、ボックスランプが消えます。

ワンポイント

- **メールの再生を中止するには**
  メール再生中に、ハンドセットを置きます。
- **メールの再生後のランプ表示について**
  「メールを再生するには」(☛P34)を参照してください。
- **メールをパソコンに保存するには**
  大事なメールをパソコンに保存することができます。(☛P102、104)

再生中のメールにコメントを付けるには

再生中のメールの前または後にコメントを付けることができます。コメントを付けたあと、そのメールを他のボックスに転送することもできます。

1 **メール再生中に、コメントボタンを押す。**
メールの再生が中断します。

100ﾍｺﾒﾝﾄ録音

コメントをどうぞ。

2 **コメントをお話しする。**

100ﾍｺﾒﾝﾄ録音

3 **お話しが終わったら、コメントボタンを押す。**
コメントの録音が終了し、コメントランプが消えます。

100ﾍｺﾒﾝﾄ録音

複数のメールが録音されているときは、次のメールが再生されます。

ワンポイント

●録音を終了するには
録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、＃＃を押します。このとき、メール再生も終了します。

●コメントの位置を決めるには
コメントの位置は「システム設定」で、録音した内容（メール）の前または後のどちらかに指定できます。

●コメントの録音を途中で取り消すには
コメントの録音中または録音一時停止中に取消ボタンを押すと、コメント録音は中止され消去されます。

●コメントの録音後、メールを転送するには
手順2でコメントをお話ししたあと、メールの転送操作を行います。（☛P28）

●コメントの録音時間が一定時間に満たなかったときは
「システム設定」で設定された録音時間にコメント録音が満たなかった場合は、そのコメントは自動で消去されます。このとき、すでにコメントが付いていた場合はそのコメントは残ります。

お知らせ

●すでにコメントの付いているメールに再びコメントを付けると、前に付いていたコメントは消去されて、新しいコメントが付きます。

再生中のメールを消去するには

再生中のメールを消去することができます。

1 メール再生中に、取消ボタンまたは④を押す。

メールが消去されました。

> メールを消去しました。

2 複数のメールが登録されているときは、次のメールの内容が再生される。

```
XX月XX日   XX:XX
300
1:前    2:繰返 3:次
4:消          6:保護
```

続けてメールを消去するときは、手順1から繰り返します。

3 メールの消去を終了するときは、ハンドセットを置く。

ワンポイント

●バックアップされたメールのときは

①手順1で

> バックアップしたメールがあります。メールを消去しますか。よろしければ1をダイヤルしてください。

というガイダンスが流れる

②①を押すと、

> メールを消去しました。

というガイダンスが流れる

③続けて手順2から操作する

お知らせ

●「システム設定」により決められたメール保存日数が経過すると、メールは自動的に消去されます。ただし、バックアップされたメールは消去されません。

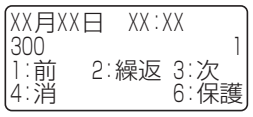
すべてのメールを消去するには

メール再生中にすべてのメールを消去することができます。ただし、バックアップされているメールは消去されません。

1 メール再生中に、㊟を押す。

すべてのメールを消去します。
よろしければ 1 をダイヤルしてください。

2 ①を押す。



すべてのメールを消去します。
メールを消去したくないときは、①以外のダイヤルボタンを押します。

すべてのメールを消去しました。

3 ハンドセットを置く。

ワンポイント

●ボックス内にバックアップされたメールがあるときは
バックアップされていないすべてのメールが消去されたあと、バックアップされているメールが再生されます。

お知らせ

●「システム設定」により設定されたメール保存日数が経過すると、メールは自動的に消去されます。ただし、バックアップされたメールは消去されません。

留守番電話として利用するには

不在時または夜間や休日にかかってきた電話に、音声メールで対応することができます。また、相手の方からのメッセージがあれば、留守番電話として設定した内線または外線のメールボックスに録音することもできます。
留守番電話の設定は「システム設定」で決められた電話機から行ってください。応答するガイダンスは、あらかじめ登録しておく必要があります。(☛P60)

留守番電話の対象となる回線を設定する

設定操作をする電話機の外線ボタンに、留守番電話を設定できます。

1 **ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。**
「ツーツー…」という音を確認してください。

内線

2 **決定を押す。**
「ツツツ…」という音を確認してください。

3 **留守ボタンを押す。**
「プププププ」という音を確認してください。

留守番電話回線設定
内線/外線ﾎﾞﾀﾝを押下してください

4 **留守番電話として設定したい外線ボタンを押す。**

留守番電話回線設定
内線/外線ﾎﾞﾀﾝを押下してください

外線ランプが点灯します。続けて複数の外線ボタンまたは内線ボタンを押すことで設定ができます。押したボタンを再度押すと、そのランプが消灯します。

5 **決定を押す。**
留守ランプが消え、「ピーピー」という確認音が聞こえます。

6 **スピーカボタンを押す。**
留守番電話の設定が終了します。

ワンポイント

- **個別留守番電話とは**
  内線着信や外線から特定の電話機への着信などにより、内線ボックスに録音する留守番電話です。
- **共通留守番電話とは**
  外線着信などにより、外線ボックスに録音する留守番電話です。
- **留守番電話の設定を途中でやめるには**
  手順5で、スピーカボタンを押して操作を終了すると、それまでの設定操作は取り消されます。
- **録音時間が一定時間に満たなかったときは**
  「システム設定」によって、録音時間の短い録音を自動で消去するように設定することもできます。
- **留守番電話で録音中の通話をモニターするには**
  留守番電話応答中に、モニター可表示されている外線ボタンまたは内線ボタンを押すと、留守番電話で応答中の通話を聞くことができます。(☛P48)
- **留守番電話で録音中の通話に応答するには**
  留守番電話で録音中の通話をモニターしているときに外線ボタンまたは内線ボタンを押すと、留守番電話に録音していた相手の方とお話しすることができます。(☛P48)
- **留守番電話の対象となる回線を解除するには**
  手順4で外線ランプまたは内線ランプが点灯しているボタンを押すと、設定が解除され、ランプが消灯します。

(次ページに続く)

留守番電話として利用するには

お知らせ

- 手順1で内線ボタンを押すと、ワンタッチオンフックサービスを利用されている場合は、スピーカーランプが自動的に点灯します。それ以外の場合はスピーカボタンを押してください。
- 留守番電話として起動している電話機からは、留守番電話の設定・解除はできません。
- 留守番電話の用件録音時間は、「システム設定」により決められています。
- 留守番電話としての設定は、「システム設定」で設定することもできます。
- 留守番電話が応答するまでの時間を「システム設定」で、1 ～ 255秒で設定することができます。
- 外線ボタンに登録してある外線ボックスを「システム設定」で設定しておく必要があります。
- お使いの電話機によっては、手順5で決定を押した後「ピーピー」と鳴らずに留守ランプが消え、留守番設定が終了します。その場合、手順6を行う必要はありません。

留守番電話を起動する

留守番電話を起動します。留守番電話を設定した電話機で操作してください。

1 留守番電話が起動されていないことを確認し、留守ボタンを押す。

留守ランプ、留守番電話を設定した外線ランプ、内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

留守番電話の起動を解除する

留守番電話の起動を解除します。留守番電話を設定した電話機で操作してください。

1 留守番電話が起動されていることを確認し、留守ボタンを押す。

留守ランプ、留守番電話を設定した外線ランプ、内線ランプが消えます。

ワンポイント

- **メッセージの録音を携帯電話やスマートフォンに通知するには**
  メール到達通知機能を利用します。(☛P30)
- **メッセージの録音を電子メールで通知するには(☛P86)**

お知らせ

- 留守番電話で応答した場合は、ボックスに登録されているガイダンスが流れます。(☛P60)
- 留守番電話を起動すると、留守番電話を設定した外線ランプ、内線ランプが赤く点灯し、周期的に2回消えます。起動を解除すると、外線ランプ、内線ランプは消えます。
- 留守番電話の設定をしていないときは、留守番電話の起動はできません。
- 留守番電話起動時、着信中の回線があれば、その着信に対して留守番電話が応答します。ただし、機能アクセス(☛P74)により起動を行った場合は、着信中の回線には応答しません。
- 以下の場合には、留守ボタンを押しても留守番電話の起動および解除はできません。
  - 機能／設定特番操作中
  - メール再生時のパスワード入力中
  - ハンドセットを上げた状態で短縮ダイヤルを読み出しているとき
- お使いの電話機の設定によっては、一部の内線からの着信に対して個別留守番電話が動作しない場合があります。この場合、全ての内線着信に対して個別留守番電話で応答するよう「システム設定」が必要です。

留守番電話として利用するには

留守番電話が応答したとき、他の電話機に転送する

留守番電話が応答したとき、メッセージを録音するか、またはメール録音通話切替特番のダイヤルを押して他の電話機を呼び出すことができます。

1 **電話をかける。**

〈例〉特番が962の場合

> メッセージをどうぞ。

2 **メッセージの録音中にメール録音通話切替特番（9 6 2 [　　]）を押す。**

3 **#ボタンを押す。**

録音が中断し、呼出音が流れます。
転送先に転送されます。

4 **相手の方が出たら、お話しする。**

ワンポイント

●転送先（メール録音通話切替先）が設定されていないときは

手順1で、あらかじめボックスに設定されているガイダンスが聞こえます。メッセージをお話しください。おかけになったボックスに録音されます。

転送先（メール録音通話切替先）が設定されている場合でも「システム設定」によって、あらかじめボックスに設定されているガイダンスを再生することができます。

●オリジナルの応答ガイダンスを登録するには（☛P61）

●他の電話機に転送できないときは

転送できませんでした。メッセージをどうぞ。
というガイダンスが聞こえます。メッセージをお話しください。おかけになったボックスに録音されます。ただし、手順2で録音した内容は消去されます。

●再度、転送するには

他の電話機に転送できない場合、メッセージの録音中に再度、メール録音通話切替特番（9 6 2 [　　]）と#を押して転送を行うこともできます。

お知らせ

●転送先は、留守番電話として利用するボックスに「システム設定」で設定しておく必要があります。（☛P90）おかけになった方が転送先を指定することはできません。

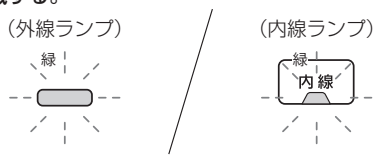
●応答ガイダンスの選択は、「システム設定」により行います。標準電話機などからの設定はできません。

●メール応答時に再生されるガイダンスは、「システム設定」によりオリジナルの応答ガイダンスに変更することができます。その場合は留守番電話で設定されたメッセージが再生されます。

留守番電話モニター可表示とは

留守番電話起動後、留守応答中の通話がモニター可能なときに、外線または内線ランプが点滅（緑）して通知します。

1 留守番電話起動後、着信中の外線または内線ランプが点滅する。



ワンポイント

●**留守番電話応答中の通話をモニターするには**

留守番電話モニター可表示中の外線または内線をモニターすることができます。（☛P48）

お知らせ

●留守番電話応答中の通話をモニターするには、「システム設定」が必要です。

●内線ボタンがモニター可表示中のときは、内線ボタンによる内線発信はできません。

●以下の場合には、モニター可表示されません。

- 索線ボタン、拡張内線グループボタンへの着信が留守番電話となったとき
- 着信未応答通知により留守番電話機能が動作し、メール録音となったとき
- 話中転送により留守番電話機能が動作し、メール録音となったとき
- 「システム設定」でメール録音通話切替先が設定されているボックスに、メール録音となったとき
- 留守番電話以外の機能によりメール録音となったとき

●モニター可表示は、対象となる通話が終わった時点で消灯します。

留守番電話をモニターするには

指定した留守応答中の通話をモニター（聞く）することができます。途中でモニターをやめて、相手の方とお話しすることもできます。

1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

2 留守番電話モニター可表示中の外線または内線ボタンを押す。

〈例〉外線ボタンの場合

外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。
通話のモニターが開始されます。

ワンポイント

●モニターを終了したいときには
ハンドセットを置くか、スピーカボタンを押します。

●プリセレクションサービスが設定されている場合には
以下の手順で通話モニターを行います。
①留守番電話モニター可表示中の外線または内線ボタンを押します。
②ハンドセットを上げるか、スピーカボタンを押します。

●モニター中の相手の方とお話しするには
外線ボタンまたは内線ボタンを押すと、モニター中の相手先とお話しすることができます。

●録音時間が一定に満たなかったときは
「システム設定」によって、録音時間の短い録音を自動で消去するように設定することもできます。

お知らせ

●ワンタッチオンフックサービスを利用されている場合は、手順2から操作を行うこともできます。スピーカーランプが自動的に点灯します。
●内線ボタンがモニター可表示中のときは、内線ボタンによる内線発信はできません。
●以下の場合には、留守番電話をモニターできません。
- 電話機の状態が空きまたは内線発信中以外のときにモニター可表示中の外線または内線ボタンを押したとき

●モニターされている相手の方が電話を切った場合、モニターは自動的に終了します。
●モニター中、以下の操作はできません。
- 保留操作
- 会議招集
- PB信号送出（PB表示が消灯）

●複数の着信が留守応答されている場合、モニター中に他の相手へモニターを切り替えることはできません。
●モニター中でも留守番電話への録音は行われます。
●録音中に(終了)を押してモニターをやめたときは、(終了)を押すまでの録音内容が保存されます。

IVR機能を利用するには

IVR機能とは

音声による自動応答を行う機能のことです。発信者のダイヤル操作に合わせて、あらかじめ録音してある音声をシナリオに沿って自動的に再生し、メッセージ録音、内線呼出や外線転送をすることができます。
シナリオは、IVRシナリオ作成メニュー画面の11個のシナリオコマンドを組み合わせて作成（編集）します。電話受付、商品注文、情報提供や資料請求などの業務に合わせたオリジナルのシナリオを作成することができます。
1つの音声メールGWに対し、20のシナリオを登録することができ、1つのシナリオは最大64行のシナリオコマンドを組み合わせることができます。
1つのシナリオから別のシナリオを呼び出すこともできるので、高度なシステムを構築できます。
また、シナリオへのアクセス数をカウントすることができ、情報提供などのサービスに活用することができます。

操作の流れ

実際のサービスを構築する操作の流れです。

1 動作フローを作成する（☛P50）

サービスの内容に合わせ、具体的なシナリオの動作フローを作成します。必須ではありませんが、動作フローを作成することにより、次のシナリオコマンドの組み合わせが正確にできます。

2 シナリオコマンドを組み合わせる（☛P51）

作成した動作フローに合わせ、シナリオコマンド（☛P53）を組み合わせます。

3 シナリオを作成（編集）する（☛P52）

組み合わせたシナリオコマンドを電話機から登録します。
「主装置のWeb設定」からも作成（編集）できます。（☛P86）

4 シナリオを表示する（☛P56）

シナリオコマンドが正しく作成されているか、確認します。

5 応答ガイダンスを録音する（☛P56）

シナリオに合わせた応答ガイダンスを録音します。

6 シナリオを確認する（☛P57）

シナリオ表示で確認したら、実際にIVRの動作確認テストを行います。
IVR機能が正しく動かなかったときは、IVRシナリオ表示を見直し、もう一度シナリオを編集してください。

ワンポイント

●IVR機能の利用回数を確認するには（☛P57）

お知らせ

●IVR機能をご利用になるには、「システム管理者」に設定されている電話機を使用する必要があります。
●外線からIVR応答用の番号に電話をかけるときは、プッシュ信号を送出できる電話機を使用する必要があります。

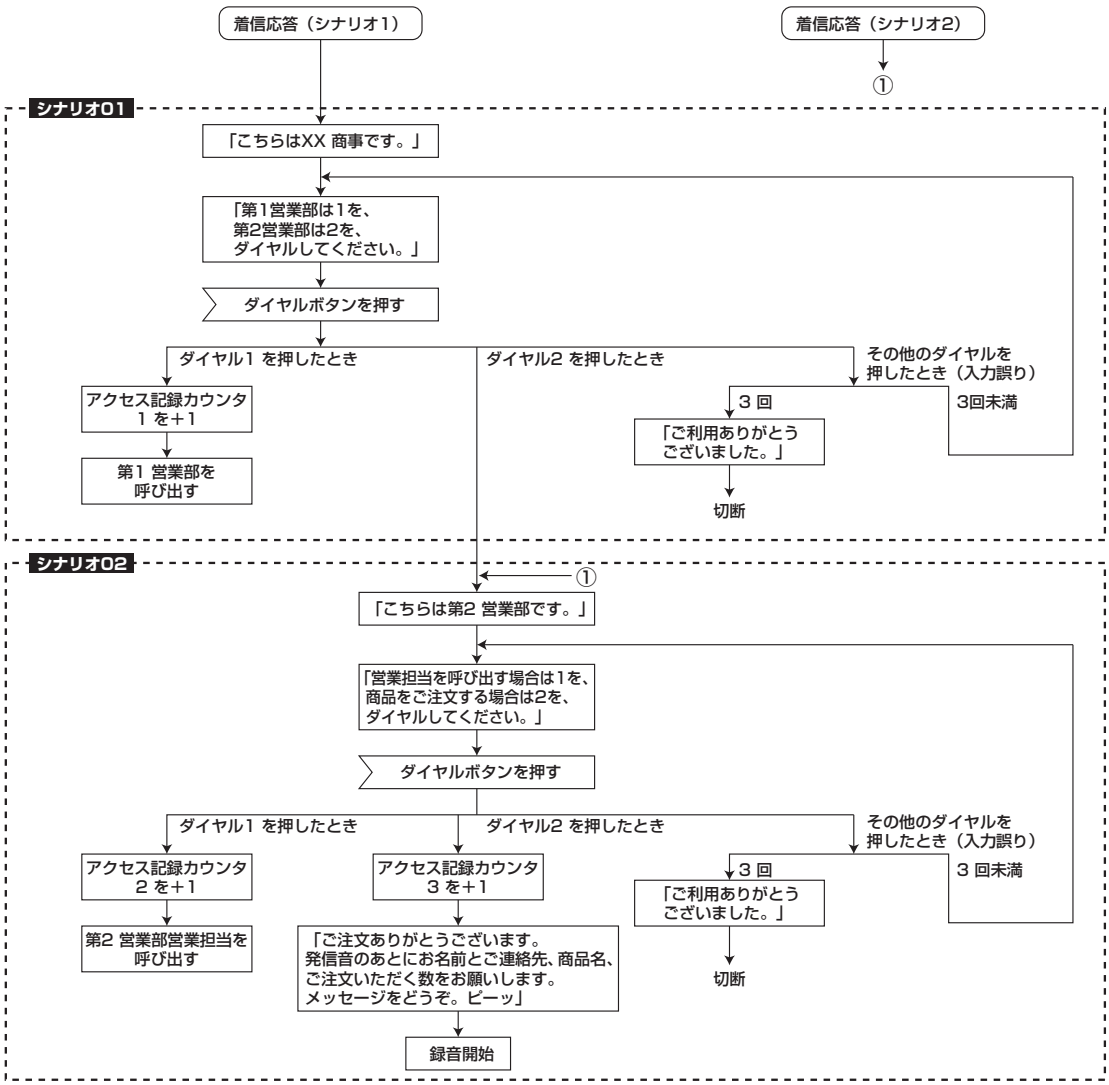
IVR機能を利用するには

動作フローを作成する

サービスの内容に合わせ、具体的なシナリオの動作フローを作成します。
下記の設定シナリオ例の動作フローをご参考にして作成してください。

■ 設定シナリオ例の動作フロー

設定シナリオ例



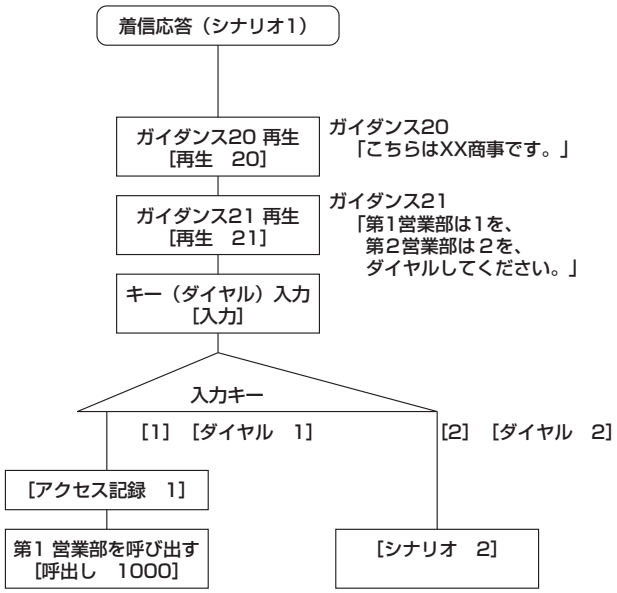
シナリオコマンドを組み合わせる

動作フローに合わせ、シナリオコマンド（☛P53）を組み合わせます。

〈設定シナリオ例のフロー図〉

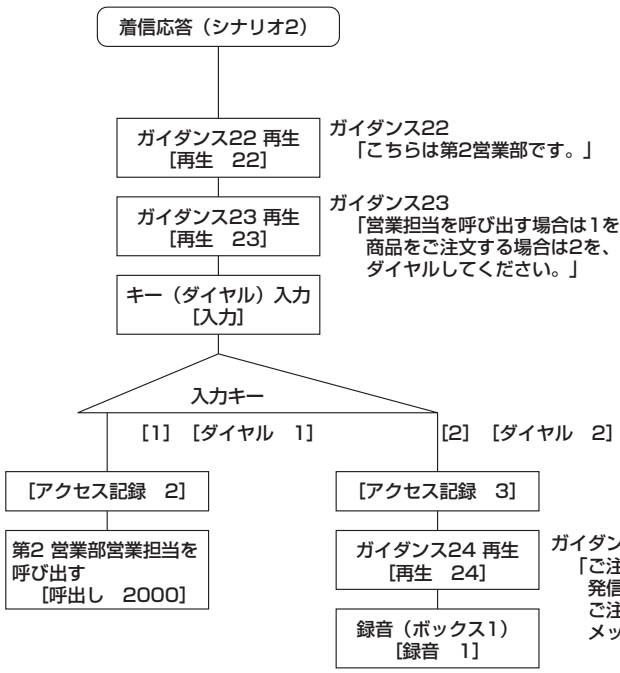
設定シナリオ例動作フロー(☛P50)からシナリオを作成する場合のフロー図です。シナリオ作成時のご参考としてください。
〈例〉 第1営業部の内線番号：1000
　　第2営業部の内線番号：2000

■シナリオ 1



シナリオ 1 のフロー図をシナリオとして登録できるように作成（編集）したものです。
01：再生　20
02：再生　21
03：入力
04：ダイヤル　1
05：アクセス記録　1
06：呼出し　1000
07：停止
08：ダイヤル　2
09：シナリオ　2
10：停止
11：終了

■シナリオ 2



シナリオ 2 のフロー図をシナリオとして登録できるように作成（編集）したものです。
01：再生　22
02：再生　23
03：入力
04：ダイヤル　1
05：アクセス記録　2
06：呼出し　2000
07：停止
08：ダイヤル　2
09：アクセス記録　3
10：再生　24
11：録音　1
12：停止
13：終了

IVR機能を利用するには

シナリオを作成（編集）する

シナリオは、電話機のメニューとダイヤルボタンを使って作成（編集）します。

1 メニューを押す。

```
1:電話帳
2:電話機毎設定
3:ｼｽﾃﾑ一括設定
```

2 上下ボタンで「3：システム一括設定」を選択し、決定を押す。
または③を押します。

```
1:外線発信
2:外線着信
3:保留
4:時計/ｱﾗｰﾑ
```

3 上下ボタンで「8：IVR」を選択し、決定を押す。
または⑧を押します。

```
1:IVRｼﾅﾘｵ表示
2:IVRｼﾅﾘｵ編集
3:IVRｼﾅﾘｵ確認
4:IVRｱｸｾｽ表示
```

4 上下ボタンで「2：IVRシナリオ編集」を選択し、決定を押す。
または②を押します。

```
IVRｼﾅﾘｵ編集
ｼﾅﾘｵ番号(1-20)?
```

5 作成（編集）するシナリオ番号（1 ～ 20）を入力し、決定を押す。
<例>シナリオ番号1を選択した場合

```
ｼﾅﾘｵ編集:01
01:
02:
03:
```

6 シナリオを作成（編集）する。
<シナリオコマンド>(☛P53)に従ってシナリオを作成(編集）してください。

7 メニューを終了する。
シナリオの作成（編集）が終了します。

ワンポイント

●IVRシナリオ作成の既存編集について

IVRシナリオを既存編集する場合は次の各操作を行って編集してください。

```
ｼﾅﾘｵ編集:1-01
0:新規挿入
1:既存編集
2:削除
```

```
ｼﾅﾘｵ編集:1-01
3:全削除
```

新規挿入：選択中のコマンド箇所に新規に選択したシナリオを挿入し、既に登録されているシナリオがある場合はそのシナリオを1つ下にずらします。
既存編集：選択中のコマンドを新規に選択したコマンドに置き換えます。
削除　：選択中のコマンドを削除します。
全削除　：選択中のシナリオの全コマンドを削除します。（他のシナリオは削除されません）

●シナリオ作成（編集）中にスピーカボタンを押した場合や着信応答した場合には

それまでに作成（編集）したシナリオは自動的に保存されます。ただし、各シナリオコマンドの詳細パラメータ編集中の場合、その行は保存されません。

お知らせ

●シナリオの編集は、システム管理者の電話機のみ行うことができます。
詳しくは、主装置の取扱説明書をご確認ください。
●シナリオの編集は、システム管理者の電話機および「主装置のWeb設定」(☛P86)で行うことができます。詳しくは、主装置の取扱説明書をご確認ください。

〈シナリオコマンドについて〉

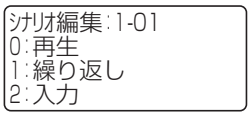
■再生

〈用途〉

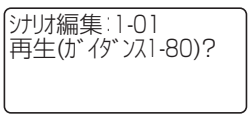
- パラメータ（ガイダンス番号1 ～ 80）で指定した応答（共用）ガイダンスを再生します。

〈入力方法〉

①シナリオ編集の画面を表示し、⓪（[再生]を選択）を押します。



②ダイヤルボタンでパラメータ（ガイダンス番号）を入力し、決定を押して入力を確定します。



■繰り返し

〈用途〉

- 直前に実行した［再生］を繰り返し実行し、ガイダンスを繰り返し再生するときに使用します。
- エンドレスで音声案内等を流すときに使用します。

〈入力方法〉

①シナリオ編集の画面を表示し、①（[繰り返し]を選択）を押します。

②決定を押して入力を確定します。

〈制限事項〉

- 前のシナリオコマンドは[再生]でなければなりません。
- 次のシナリオコマンドは[停止]または[終了]でなければなりません。

■入力

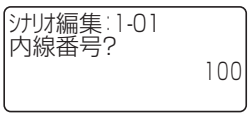
〈用途〉

- ダイヤルボタンの入力を受け付け、［ダイヤル］で指定したダイヤル⓪～⑨と一致した場合、その下に続くシナリオを実行します。

〈入力方法〉

①シナリオ編集の画面を表示し、②（[入力]を選択）を押します。

②ダイヤルボタンで任意にパラメータ（内線番号）を入力し、決定を押して入力を確定します。



〈制限事項〉

- 前のシナリオコマンドは[再生]でなければなりません。
- 次のシナリオコマンドは[ダイヤル]でなければなりません。
- 1つのシナリオで1回しか使用できません。

ワンポイント

●ダイヤルの入力間違いやタイムアウトになった場合には

IVR機能を利用し［入力］によりダイヤルを押した場合、押したダイヤルに誤りがあると直前のシナリオを繰り返します。またダイヤルを押さずタイムアウト（時間切れ）となった場合も直前のシナリオを繰り返します。［入力］のパラメータで内線番号が設定されている場合、ダイヤルの入力に3回失敗すると、設定されている内線を呼び出します。内線番号が設定されていない場合は、「ご利用ありがとうございました。」という応答ガイダンスを流し、終了します。

IVR機能を利用するには

■ダイヤル

〈用途〉

- ［ダイヤル］ ⓪～⑨で入力された値が、［入力］で受け付けたダイヤルと一致した場合、その下に続くシナリオコマンドを実行します。
- シナリオを分岐するときに使用します。

〈入力方法〉

①シナリオ編集の画面を表示し、③（[ダイヤル]を選択）を押します。

```
ｼﾅﾘｵ編集:1-01
3:ﾀﾞｲﾔﾙ
4:呼出
5:録音
```

②ダイヤルボタンでパラメータ（ダイヤル番号）を入力し、㊮を押して入力を確定します。

```
ｼﾅﾘｵ編集:1-01
ﾀﾞｲﾔﾙ(0-9)?
                1
```

〈制限事項〉

- 次のシナリオコマンドは[停止]、[終了]または[ダイヤル]以外でなければなりません。

■呼出

〈用途〉

- パラメータ（内線番号）で指定した内線番号を呼び出します。

〈入力方法〉

①シナリオ編集の画面を表示し、④（[呼出]を選択）を押します。

```
ｼﾅﾘｵ編集:1-01
3:ﾀﾞｲﾔﾙ
4:呼出
5:録音
```

②ダイヤルボタンでパラメータ（内線番号）を入力し、㊮を押して入力を確定します。

```
ｼﾅﾘｵ編集:1-01
内線番号?
              100
```

〈制限事項〉

- 次のシナリオコマンドは［停止］または［終了］でなければなりません。

ワンポイント

●間違った内線番号を入力してシナリオを作成した場合は

IVR機能でそのシナリオを利用した場合は、間違った内線番号の［呼出］を実行すると「おつなぎできませんでした。ご利用ありがとうございました。」という応答ガイダンス（固定メッセージ）を流し、終了します。

●呼出先がお話し中だった場合は

「お話し中です。ご利用ありがとうございました。」という応答ガイダンス（固定メッセージ）を流し、終了します。

■録音

〈用途〉

- パラメータ（ボックス番号）で指定したメールボックスに録音します。

〈入力方法〉

①シナリオ編集の画面を表示し、⑤（[録音]を選択）を押します。

```
ｼﾅﾘｵ編集:1-01
3:ﾀﾞｲﾔﾙ
4:呼出
5:録音
```

②ダイヤルボタンでパラメータ（ボックス番号）を入力し、㊮を押して入力を確定します。

```
ｼﾅﾘｵ編集:1-01
BOX番号?
              100
```

〈制限事項〉

- 次のシナリオコマンドは［停止］または［終了］でなければなりません。

ワンポイント

●シナリオコマンド「録音」で設定するボックス番号について

「システム設定」で音声メールに設定してある範囲外のボックス番号を設定しないでください。

そのボックスに録音した場合、再生することはできません。

■ダイヤリングサービス

〈用途〉

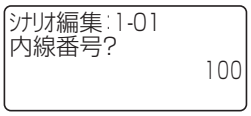
- 「内線番号とシャープをどうぞ。」の応答ガイダンスを流し、発信者からの内線番号と㊋の入力を受け付けます。
- 入力された内線番号を呼び出します。

〈入力方法〉

①シナリオ編集の画面を表示し、⑥（[ダイヤリングサービス]を選択）を押します。

```
ｼﾅﾘｵ編集:1-01
6:ﾀﾞｲﾔﾘﾝｸﾞｻｰﾋﾞｽ
7:ｼﾅﾘｵ
8:ｱｸｾｽ記録
```

②ダイヤルボタンで任意にパラメータ（内線番号）を入力し、㊎を押して入力を確定します。



〈制限事項〉

- 次のシナリオコマンドは［停止］または［終了］でなければなりません。

ワンポイント

●シナリオ［ダイヤリングサービス］で内線番号の入力に失敗した場合は

発信者が内線番号を3回間違えて押すか3回時間切れになったときの動作は、パラメータの設定によって異なります。パラメータで内線番号が設定されていない場合は、音声メールから切断されます。内線番号が設定されている場合は、その内線番号の呼び出しになります（内線番号を呼び出せなかった場合は、切断となります）。

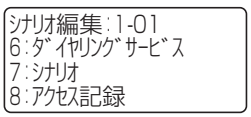
■シナリオ

〈用途〉

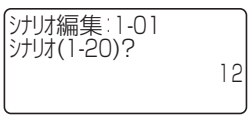
- パラメータ（シナリオ番号01 ～ 20）で指定した他のシナリオを実行します。

〈入力方法〉

①シナリオ編集の画面を表示し、⑦（[シナリオ]を選択）を押します。



②ダイヤルボタンでパラメータ（シナリオ番号）を入力し、㊎を押して入力を確定します。



〈制限事項〉

- 次のシナリオコマンドは［停止］または［終了］でなければなりません。

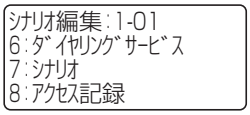
■アクセス記録

〈用途〉

- シナリオのアクセスされた回数を記録するのに使います。
- パラメータ（アクセス記録番号00 ～ 99）で指定したアクセス記録番号のアクセス数をカウントします。

〈入力方法〉

①シナリオ編集の画面を表示し、⑧（[アクセス記録]を選択）を押します。



②ダイヤルボタンでパラメータ（アクセス記録番号）を入力し、㊎を押して入力を確定します。

〈制限事項〉

- カウント数の上限はお使いの電話機によって異なります。最大カウント数に達した場合は、それ以上カウントしません。詳しくは販売店やサービス取扱所にご相談ください。

■停止

〈用途〉

- [ダイヤル]または[シナリオ]で分岐実行したシナリオコマンドを終了します。

〈入力方法〉

①シナリオ編集の画面を表示し、⑨（[停止]を選択）を押します。

② ㊎を押して入力を確定します。

〈制限事項〉

- [ダイヤル］または［シナリオ］とセットで使用します。

■終了

〈用途〉

- シナリオを終了します。

〈入力方法〉

①シナリオ編集の画面を表示し、⑭（[終了]を選択）を押します。

②㊎を押して入力を確定します。

IVR機能を利用するには

シナリオを表示する

編集したシナリオを電話機の上下ボタンを使って表示し確認します。

1 メニューを押す。

```
1:電話帳
2:電話機毎設定
3:ｼｽﾃﾑ一括設定
```

2 上下ボタンで「3：システム一括設定」を選択し、決定を押す。

または③を押します。

```
1:外線発信
2:外線着信
3:保留
4:時計/ｱﾗｰﾑ
```

3 上下ボタンで「8：IVR」を選択し、決定を押す。

または⑧を押します。

```
1:IVRｼﾅﾘｵ表示
2:IVRｼﾅﾘｵ編集
3:IVRｼﾅﾘｵ確認
4:IVRｱｸｾｽ表示
```

4 決定を押す。

または①を押します。

```
IVRｼﾅﾘｵ表示
ｼﾅﾘｵ番号(1-20)?
```

5 表示するシナリオ番号（1 ～ 20）を入力し、決定を押す。

IVRシナリオ画面が表示されます。

```
01 再生   -20
02 再生   -21
03 入力   -
04 ﾀﾞｲﾔﾙ  -1
```

6 メニューを終了する。

シナリオの表示が終了します。

ワンポイント

●登録されたシナリオがないときは

手順3で、「シナリオがありません」と表示されます。

●IVRシナリオ画面について

次のように内容が表示されます。

```
01 再生   -20
02 再生   -21
03 入力   -
04 ﾀﾞｲﾔﾙ  -1
```

行番号　シナリオコマンドおよびパラメータ

●IVRシナリオ画面を切り替えるには

上下ボタンで切り替えます。

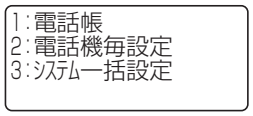
応答ガイダンスを録音する

応答ガイダンスの録音は、「共用ガイダンスを録音する」（☛P70）を参照して録音してください。

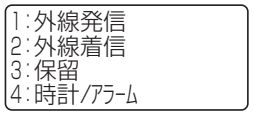
シナリオを確認する

シナリオの作成（編集）、応答ガイダンスの録音が終了し、シナリオ表示で確認したら実際にIVRの動作テストを行ってください。

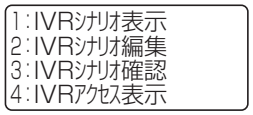
1 メニューを押す。



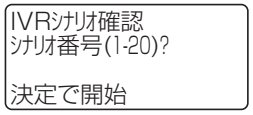
2 上下ボタンで「3：システム一括設定」を選択し、決定を押す。
または③を押します。



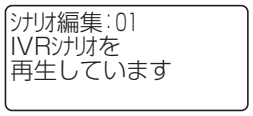
3 上下ボタンで「8：IVR」を選択し、決定を押す。
または⑧を押します。



4 上下ボタンで「3：IVRシナリオ確認」を選択し、決定を押す。
または③を押します。



5 確認するシナリオ番号（1 ～ 20）を入力し、決定を押す。
<例>シナリオ番号1を選択した場合



ガイダンスに従ってダイヤル操作をするテストが行えます。

6 メニューを終了する。
シナリオの確認が終了します。

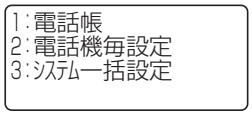
ワンポイント

●IVR機能が正しく動かなかった場合は
IVRシナリオ表示を見直し、もう一度シナリオを編集してください。

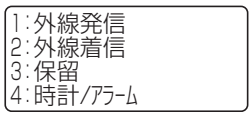
IVR機能の利用回数を確認する

シナリオに登録したアクセス記録を読み出し、シナリオのアクセス数を確認することができます。

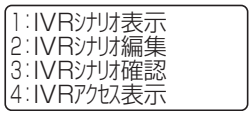
1 メニューを押す。



2 上下ボタンで「3:システム一括設定」を選択し、決定を押す。
または③を押します。

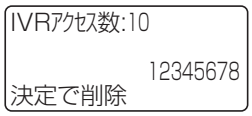


3 上下ボタンで「8：IVR」を選択し、決定を押す。
または⑧を押します。



4 上下ボタンで「4：IVRアクセス表示」を選択し、決定を押す。
または④を押します。

5 確認するIVRアクセス記録番号を選択し、決定を押す。
<例>IVRアクセス番号10を選択した場合



6 メニューを終了する。
IVRアクセス番号の表示が終了します。

ワンポイント

●利用回数（アクセス数）を削除（ゼロに戻す）には
手順5で決定を押すと削除するかしないかを選択できます。

お知らせ

●カウント数の上限はお使いの電話機によって異なります。最大カウント数に達した場合は、それ以上カウントしません。詳しくは販売店やサービス取扱所にご相談ください。

IVR機能を利用するには

IVR機能の利用回数の名称を登録する

IVRアクセス記録番号ごとに名称（アクセスネーム）を登録できます。

1 メニューを押す。

```
1:電話帳
2:電話機毎設定
3:ｼｽﾃﾑ一括設定
```

2 上下ボタンで「3：システム一括設定」を選択し、決定を押す。

または③を押します。

```
1:外線発信
2:外線着信
3:保留
4:時計/ｱﾗｰﾑ
```

3 上下ボタンで「8：IVR」を選択し、決定を押す。

または⑧を押します。

```
1:IVRｼﾅﾘｵ表示
2:IVRｼﾅﾘｵ編集
3:IVRｼﾅﾘｵ確認
4:IVRｱｸｾｽ表示
```

4 上下ボタンで「5：IVRアクセスネーム登録」を選択し、決定を押す。

または⑤を押します。

```
IVRｱｸｾｽﾈｰﾑ登録
00
01
02
```

5 登録するIVRアクセス記録番号を選択し、決定を押す。

<例>IVRアクセス番号10を選択した場合

```
IVRｱｸｾｽﾈｰﾑ登録:10

                [漢] 機能
```

6 IVRアクセスネームを入力する。

<例>IVRアクセスネームを「第一営業部」と入力した場合

```
IVRｱｸｾｽﾈｰﾑ登録:10
第一営業部
                [漢] 機能
```

7 IVRアクセスネームを入力したら、決定を押す。

```
IVRｱｸｾｽﾈｰﾑ登録
09 第一営業部
10
11
```

8 メニューを終了する。

IVRアクセスネーム登録が終了します。

録音メッセージの再生順を設定するには

録音メッセージを再生する順番を、内線電話機ごとに設定できます。
お買い求め時は「新しいメッセージ順」に設定されています。

1 メニューを押す。

```
1:電話帳
2:電話機毎設定
3:ｼｽﾃﾑ一括設定
```

2 上下ボタンで「2：電話機毎設定」を選択し、決定を押す。
または②を押します。

```
1:発信
2:着信
3:留守/転送
4:音声ﾒｰﾙ
```

3 上下ボタンで「4:音声メール」を選択し、決定を押す。
または④を押します。

```
1:留守ﾒｯｾｰｼﾞ設定
2:録音ﾒｯｾｰｼﾞ再生順
3:V字発信/ﾒｰﾙ通知先
```

4 上下ボタンで「2:録音メッセージ再生順」を選択し、決定を押す。
または②を押します。

```
録音ﾒｯｾｰｼﾞ再生順
0:古いﾒｯｾｰｼﾞ順
1:新しいﾒｯｾｰｼﾞ順
```

5 録音メッセージ再生順を選択し、決定を押す。

6 メニューを終了する。

お知らせ

- 外線ボックス、同報ボックスなど内線電話機ごとに設定できないボックスについては「システム設定」から行います。

ガイダンス機能を利用するには

留守番電話（☛P43）またはシステムモード（昼・夜・休憩・休日・特定日モード等）別代行録音（☛P91）など、電話がかかってきたときの状況に対応した応答ガイダンスを選択して登録することができます。ガイダンスを聞いた方のメッセージの録音もできます。ただし、システムモード別代行録音の機能をご利用になるには、あらかじめ「システム設定」で外線着信時の設定が必要です。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

ガイダンス番号	ガイダンス内容
⓪⓪	（お客様が録音した留守メッセージ（☛P61））
⓪①	こちらはメールボックスです。メッセージをどうぞ。
⓪②	ただ今、離席しております。メッセージをどうぞ。
⓪③	ただ今、留守にしております。メッセージをどうぞ。
⓪④	本日の業務は終了いたしました。メッセージをどうぞ。
⓪⑤	本日のお取り扱いは終了いたしました。メッセージをどうぞ。
⓪⑥	本日は閉店しました。メッセージをどうぞ。
⓪⑦	本日は休業しております。メッセージをどうぞ。
⓪⑧	本日は定休日とさせていただきます。メッセージをどうぞ。
⓪⑨	ただ今、大変電話が混みあっています。しばらくお待ちください。
①⓪	ただ今、大変電話が混みあっています。後ほどおかけ直しください。
①③	恐れ入りますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけなおしください。
①④	この電話はお受けできません。ご了承ください。
⑧⑨	（お客様が録音したお待たせ（応答）メッセージ）
⑨⓪	（お客様が録音したお待たせ（切断）メッセージ）
⑨③	（お客様が録音したメール機能メッセージ）
⑨④	（お客様が録音したFAX/TEL切替メッセージ）
①⑤～⑧⓪	（お客様が録音した共用ガイダンス（☛P70））

留守メッセージを設定する

留守番電話が応答した場合の留守メッセージを設定できます。
また応答専用メッセージを聞かせるか、録音するかを選択できます。

1 **メニューを押す。**

```
1:電話帳
2:電話機毎設定
3:ｼｽﾃﾑ一括設定
```

2 **上下ボタンで「2：電話機毎設定」を選択し、決定を押す。**
または②を押します。

```
1:発信
2:着信
3:留守/転送
4:音声ﾒｰﾙ
```

3 **上下ボタンで「4:音声メール」を選択し、決定を押す。**
または④を押します。

```
1:留守ﾒｯｾｰｼﾞ 設定
2:録音ﾒｯｾｰｼﾞ 再生順
3:V字発信/ﾒｰﾙ通知先
```

4 **決定を押す。**
または①を押します。

```
留守ﾒｯｾｰｼﾞ 設定
0:選択
1:録音
2:確認
```

5 **決定を押す。**
または⓪を押します。

```
留守ﾒｯｾｰｼﾞ 選択
0:応答専用
1:録音用
```

6 **応答専用または録音用を選択し、決定を押す。**

```
留守ﾒｯｾｰｼﾞ 選択
0:初期ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ
1:録音ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ
```

7 **初期ガイダンスまたは録音ガイダンスを選択し、決定を押す。**

8 **メニューを終了する。**

ワンポイント

●**録音ガイダンスを録音するには（☛P65）**

お知らせ

●初期ガイダンスを選択した場合、それぞれ以下のメッセージが流れます。
- 応答専用
『ただいま留守にしております』
- 録音
『ただいま留守にしております。メッセージをどうぞ。ピーッ』

●留守番電話のメッセージ選択は「システム設定」で設定することもできます。

●共通留守番電話で応答した場合の留守メッセージは、手順6で「1:録音ガイダンス」を選択していても、初期ガイダンスが流れます。

ガイダンス機能を利用するには

各機能に対応したガイダンスを設定する

各機能に対応したガイダンスを登録することができます。

ワンポイント

●各機能に対応したガイダンスを録音するには（☛P66）

お知らせ

●各機能に対応したガイダンスを設定するには、「システム管理者」に設定されている電話機を使用する必要があります。

お待たせ（応答／切断）メッセージを設定する

1 メニューを押す。

2 上下ボタンで「3：システム一括設定」を選択し、決定を押す。
または③を押します。

3 上下ボタンで「7:留守/転送」を選択し、決定を押す。
または⑦を押します。

4 上下ボタンで「2:お待たせ設定」を選択し、決定を押す。
または②を押します。

5 「1：お待たせメッセージ設定」を選択し、決定を押す。
または①を押します。

6 「0：選択」を選択し、決定を押す。
または⓪を押します。

7 お待たせメッセージか切断メッセージを選択し、決定を押す。

8 初期ガイダンスまたは録音ガイダンスを選択し、決定を押す。

9 メニューを終了する。

ワンポイント

●**お待たせメッセージ機能をご利用になるには**
主装置の取扱説明書をご覧いただくか、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお気軽にご相談ください。

お知らせ

●初期ガイダンスを選択した場合、それぞれ以下のメッセージが流れます。
- お待たせメッセージ
『ただ今、大変電話が混みあっています。しばらくおまちください。』
- 切断メッセージ
『ただ今、大変電話が混みあっています。後ほどおかけなおしください。』

ガイダンス機能を利用するには

FAX／TEL切替メッセージを登録する

1 メニューを押す。

2 上下ボタンで「3：システム一括設定」を選択し、決定を押す。
または③を押します。

3 上下ボタンで「5:機能登録/設定」を選択し、決定を押す。
または⑤を押します。

4 上下ボタンで「4：FAX関連」を選択し、決定を押す。
または④を押します。

5 上下ボタンで「3：F/T切替メッセージ設定」を選択し、決定を押す。
または③を押します。

6 「0：選択」を選択し、決定を押す。
または⓪を押します。

7 初期ガイダンスまたは録音ガイダンスを選択し、決定を押す。

8 メニューを終了する。

ワンポイント

●FAX／TEL切替機能をご利用になるには
主装置の取扱説明書をご覧いただくか、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお気軽にご相談ください。

お知らせ

●初期ガイダンスを選択した場合、以下のメッセージが流れます。
『ただいま、電話を呼び出しております。ファクシミリをご利用の方は、そのまま送信してください。』

留守メッセージを録音する

留守番電話が応答した場合の留守メッセージを録音できます。

1 メニューを押す。

```
1:電話帳
2:電話機毎設定
3:ｼｽﾃﾑ一括設定
```

2 上下ボタンで「2：電話機毎設定」を選択し、決定を押す。

または②を押します。

```
1:発信
2:着信
3:留守/転送
4:音声ﾒｰﾙ
```

3 上下ボタンで「4:音声メール」を選択し、決定を押す。

または④を押します。

```
1:留守ﾒｯｾｰｼﾞ設定
2:録音ﾒｯｾｰｼﾞ再生順
3:V字発信/ﾒｰﾙ通知先
```

4 上下ボタンで「1：留守メッセージ設定」を選択し、決定を押す。

または①を押します。

```
留守ﾒｯｾｰｼﾞ設定
0:選択
1:録音
2:確認
```

5 上下ボタンで「1：録音」を選択し、決定を押す。

または①を押します。

6 電話機の画面に従って、録音するガイダンスをお話しする。

7 メニューを終了する。

ワンポイント

●ガイダンスをパソコンに保存するには

録音したガイダンスをパソコンに保存することができます。（☛P110、111）

●パソコンからガイダンスを登録するには

パソコンに保存されているガイダンスをオリジナルガイダンスとして登録することができます。（☛P108、109）

ガイダンス機能を利用するには

各機能に対応したガイダンスを録音する

各機能に対応したガイダンスを録音することができます。

お知らせ

●各機能に対応したガイダンスを設定するには、「システム管理者」に設定されている電話機を使用する必要があります。

お待たせ（応答／切断）メッセージを録音する

1 メニューを押す。

2 上下ボタンで「3：システム一括設定」を選択し、決定を押す。
または③を押します。

3 上下ボタンで「7:留守/転送」を選択し、決定を押す。
または⑦を押します。

4 上下ボタンで「2:お待たせ設定」を選択し、決定を押す。
または②を押します。

5 「1：お待たせメッセージ設定」を選択し、決定を押す。
または①を押します。

6 上下ボタンで「1：録音」を選択し、決定を押す。
または①を押します。

7 お待たせメッセージか切断メッセージを選択し、決定を押す。

8 電話機の画面に従って、録音するガイダンスをお話しする。

9 メニューを終了する。

ワンポイント

●ガイダンスをパソコンに保存するには
録音したガイダンスをパソコンに保存することができます。（☛P114）

●パソコンからガイダンスを登録するには
パソコンに保存されているガイダンスを、共用ガイダンスとして登録することができます。（☛P113）

ガイダンス機能を利用するには

FAX／TEL切替メッセージを録音する

1 メニューを押す。

2 上下ボタンで「3：システム一括設定」を選択し、決定を押す。
または③を押します。

3 上下ボタンで「5:機能登録/設定」を選択し、決定を押す。
または⑤を押します。

4 上下ボタンで「4：FAX関連」を選択し、決定を押す。
または④を押します。

5 上下ボタンで「3：F/T切替メッセージ設定」を選択し、決定を押す。
または③を押します。

6 上下ボタンで「1：録音」を選択し、決定を押す。
または①を押します。

7 電話機の画面に従って、録音するガイダンスをお話しする。

8 メニューを終了する。

ワンポイント

●**ガイダンスをパソコンに保存するには**
録音したガイダンスをパソコンに保存することができます。（☛P114）

●**パソコンからガイダンスを登録するには**
パソコンに保存されているガイダンスを、共用ガイダンスとして登録することができます。（☛P113）

メール機能メッセージを録音する

1 メニューを押す。

2 上下ボタンで「3：システム一括設定」を選択し、決定を押す。
または③を押します。

3 上下ボタンで「5:機能登録/設定」を選択し、決定を押す。
または⑤を押します。

4 上下ボタンで「5：メール機能メッセージ設定」を選択し、決定を押す。
または⑤を押します。

5 「1：録音」を選択し、決定を押す。
または①を押します。

6 電話機の画面に従って、録音するガイダンスをお話しする。

7 メニューを終了する。

ワンポイント

●**ガイダンスをパソコンに保存するには**
録音したガイダンスをパソコンに保存することができます。(☛P114)

●**パソコンからガイダンスを登録するには**
パソコンに保存されているガイダンスを、共用ガイダンスとして登録することができます。(☛P113)

ガイダンス機能を利用するには

共用ガイダンスを録音する

1 メニューを押す。

2 上下ボタンで「3：システム一括設定」を選択し、決定を押す。
または③を押します。

3 上下ボタンで「9：その他」を選択し、決定を押す。
または⑨を押します。

4 上下ボタンで「2:ガイダンス設定」を選択し、決定を押す。
または②を押します。

5 「1：共用ガイダンス設定」を選択し、決定を押す。
または①を押します。

6 上下ボタンで「2:録音ガイダンス」を選択し、決定を押す。
または②を押します。

7 録音するガイダンス番号（15～80）を選択し、決定を押す。

8 「1：録音」を選択し、決定を押す。
または①を押します。

9 電話機の画面に従って、録音するガイダンスをお話しする。

10 メニューを終了する。

ワンポイント

●ガイダンスをパソコンに保存するには
録音したガイダンスをパソコンに保存することができます。（☛P114）

●パソコンからガイダンスを登録するには
パソコンに保存されているガイダンスを、共用ガイダンスとして登録することができます。（☛P113）

トーキー機能を利用するには

電話がかかってきた相手の方に、下表のトーキー内容のガイダンスを繰り返しアナウンスすることができます（メッセージの録音はできません）。この機能をご利用になるには、あらかじめ「システム設定」で外線着信時の音声メールトーキーとの対応の設定が必要です。
トーキーには、下表のように固定ガイダンス（トーキー番号01 ～ 10、13 ～ 14）と、お客様がご自由に録音して利用できるガイダンス（トーキー番号15 ～ 80）があります。
トーキーの登録や登録したトーキーの確認は、「システム管理者」に設定されている電話機からご利用できます。（☛P62、66）

トーキー番号	トーキー内容
⓪①	こちらはメールボックスです。
⓪②	ただ今、離席しております。
⓪③	ただ今、留守にしております。
⓪④	本日の業務は終了いたしました。
⓪⑤	本日のお取り扱いは終了いたしました。
⓪⑥	本日は閉店しました。
⓪⑦	本日は休業しております。
⓪⑧	本日は定休日とさせていただきます。
⓪⑨	ただ今、大変電話が混みあっています。しばらくお待ちください。
①⓪	ただ今、大変電話が混みあっています。後ほどおかけ直しください。
①③	恐れ入りますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけなおしください。
①④	この電話はお受けできません。ご了承ください。
①⑤～⑧⓪	（お客様が録音した共用ガイダンス（☛P70））

ワンポイント

● **トーキーを登録するには**
トーキーの登録はガイダンスの設定と同じです。（☛P62）

内線電話機に転送するには（内線呼出）

外から音声メールに電話をかけて、直接内線電話を呼び出すことができます。

1 「音声メール」へ電話をかける。

ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 0 を押す。

内線番号と＃をどうぞ。

3 ダイヤルボタンで転送先の内線番号と # を押す。

内線番号は○○○ですね。よろしければ 1、訂正ならば 0 をどうぞ。

4 1 を押す。

転送します。お待ちください。

5 転送先の方が出たら、お話しする。

6 お話しが終わったら、電話を切る。

お知らせ

- 転送先の呼び出しは、「システム設定」により設定されている時間だけ呼び出し、転送先がお話し中または不在で応答しないときは、内線番号のダイヤル待ちになります。手順3から操作をやり直してください。
  また、ダイヤル待ちが3回を超えると、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。
- 内線番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。内線番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- ガイダンスの問いかけに対する応答時間は、約6秒間です。応答せずに時間切れが3回になった場合は、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。
- 内線番号を3回間違えた場合や、時間切れが3回になった場合に、あらかじめ設定された番号を呼び出すように、「システム設定」により設定できます。

外線に転送するには　（外線転送）

外から音声メールに電話をかけて、直接外線電話を呼び出すことができます。

1 「音声メール」へ電話をかける。

ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 1 あ を押す。

暗証番号と＃をどうぞ。

3 ダイヤルボタンでダイヤルイン暗証番号と # を押す。

転送先番号と＃をどうぞ。

4 ダイヤルボタンで転送先の電話番号と # を押す。

〈例〉転送先の電話番号が0-03-○○○○-××××の場合

外線転送は 003 ○○○○××××ですね。よろしければ 1、訂正ならば 0 をどうぞ。

5 1 あ を押す。

転送します。お待ちください。

6 転送先の方が出たら、お話しする。

7 お話しが終わったら、電話を切る。

ワンポイント

●**転送先番号とは**

外線発信特番と相手先番号のことです。

お知らせ

●転送先の呼び出しは、「システム設定」により設定されている時間だけ呼び出し、転送先がお話し中または不在で応答しないときは、切断となります。
また、ダイヤル待ちが3回を超えると、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。

●転送先番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。転送先番号を確認して始めから操作をやり直してください。

●ガイダンスの問いかけに対する応答時間は、約6秒間です。応答せずに時間切れが3回になった場合は、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。

●番号を3回間違えた場合や、時間切れが3回になった場合に、あらかじめ設定された番号を呼び出すように、「システム設定」により設定できます。

各種機能にアクセスするには（機能アクセス）

外から音声メールに電話をかけて、次の機能を設定できます。
- システムモードの切り替え
- システムモードの手動解除
- 個別留守番電話の起動（☛P45）
- 個別留守番電話の起動解除（☛P45）

1 「音声メール」へ電話をかける。

ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 2 を押す。

暗証番号と＃をどうぞ。

3 ダイヤルボタンでダイヤルイン暗証番号と # を押す。

サービス番号と＃をどうぞ

4 ダイヤルボタンで機能アクセスのサービス番号と # を押す。

〈例〉サービス番号が○○○の場合

サービス番号は○○○ですね。よろしければ 1、訂正ならば 0 をどうぞ。

5 1 を押す。

サービスを要求します。お待ちください。

6 サービス受付が完了する。

サービスを受け付けました。ご利用ありがとうございました。

7 電話を切る。

ワンポイント

●機能アクセスのサービス番号について

手順4で、各種機能にアクセスするサービス番号は、下記のとおりです。

- 昼間モードの切り替え　：9 5 1 [　　]
- 夜間モードの切り替え　：9 5 2 [　　]
- 休憩モードの切り替え　：9 5 3 [　　]
- システムモードの手動解除　：9 5 0 [　　]
- 個別留守番電話の起動　：9 7 0 [　　]
- 個別留守番電話の起動解除　：9 7 1 [　　]

お知らせ

●機能アクセスのサービス番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。機能アクセスのサービス番号を確認して始めから操作をやり直してください。

●ガイダンスの問いかけに対する応答時間は、約6秒間です。応答せずに時間切れが3回になった場合は、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。

●機能アクセスにより個別留守番電話の起動を行った場合は、着信中の回線には留守番電話で応答しません。

V字再生を利用するには

外出先でメールの内容を確認したいときに電子メールに記載されている再生URLをクリックすることにより、事業所（システム設置所）の料金負担でメールを聞くことができます。
V字再生を利用する場合は、設定は「主装置のWeb設定」（☛P86）から行います。

1 電子メールで通知された、録音されたメールの内容を確認する。

メールが録音されると電子メールで通知がきます。電子メールの内容を確認すると録音されたメールの内容が表示されます。

```
日時:00月00日XX時XX分
宛先:xxxxxxxx@xxxxx.xx.xx
件名:ボックスXXXXに録音されました。
──────────────
ボックスXXXXに録音されました。
全メッセージ数　　:XXX件
再生済メッセージ数:XXX件
未再生メッセージ数:XXX件
──────────────
録音日時:00月00日XX時XX分
ネーム　:ＸＸＸＸＸＸ
発信URL　:
http://XXX.XXX.XXX.XXX:8080/2regbo
x.cgi?sel=1&bno=XXX&mess_id=XXXX
再生URL　:
http://XXX.XXX.XXX.XXX:8080/2regbo
x.cgi?sel=2&bno=XXX&mess_id=XXXX
相手番号:03XXXXXXXX
──────────────
V字再生中、相手番号に発信したい場
合は、「5#」をダイヤルして下さい。
```

※この画面は電子メールイメージです。

2 電子メールの再生URLをクリックする。

携帯電話やスマートフォンのブラウザーが起動し、「要求を受け付けました。」が表示されます。

3 システムから携帯電話やスマートフォンに電話がかかる。

4 着信に応答する。

メールの内容を聞くことができます。

お知らせ

- メール再生中のV字発信特番説明文と、録音メッセージ1件ずつの発信URL、再生URLについては、録音されたメッセージによって表示されない場合があります。表示されない場合、その機能はご利用になれません。
- 再生URLにアクセスし、「要求を受け付けました。」と表示されても、電話機に着信が入らない場合があります。その場合、少し待ってから再度、再生URLにアクセスしてください。
- 電子メールで通知されたメールが消去された場合など、V字発信/再生の機能がご利用になれない場合、「要求を受け付けられませんでした。」が表示されます。
- V字再生の着信に応答したときに、該当するメッセージを再生できない場合、「該当するメッセージはありません。」が再生されます。
- お使いの携帯電話やスマートフォンによっては、電子メールやブラウザーの画面表示や文字サイズが異なる場合があります。
- お使いの携帯電話やスマートフォンのブラウザーによっては、V字発信/再生機能をご利用になれない場合があります。
- V字発信/再生機能を同時にご利用になれる端末は1台となります。他の方が同時にご利用になっている場合、再生URLまたは発信URLをクリックしても操作に失敗する場合があります。少し時間をおいてからご利用になってください。

ワンポイント

●V字再生を利用するには

V字再生をご利用になるには、V字発信/再生設定（☛P30）およびサービスの開始（☛P31）、主装置のWeb設定とシステム設定が必要になります。

●メール再生中からV字発信を行うには

V字再生により、メール再生をしているときにメール再生中の発信特番 ⑤ ㊕ を押すと、メールを録音した方への発信に切り替えることができます。

V字発信を利用するには

外出先でメール録音者へ電話をかけたいときに、電子メールに記載されている発信URLをクリックすることにより、事業所（システム設置所）の料金負担で通話できます。
V字再生を利用する場合は、設定は「主装置のWeb設定」（☛P86）から行います。

1 電子メールで通知された、録音されたメールの内容を確認する。

メールが録音されると電子メールで通知がきます。電子メールの内容を確認すると録音されたメールの内容が表示されます。

日時：00月00日XX時XX分
宛先：xxxxxxxx@xxxxx.xx.xx
件名：ボックスXXXXに録音されました。

ボックスXXXXに録音されました。
全メッセージ数　　：XXX件
再生済メッセージ数：XXX件
未再生メッセージ数：XXX件

録音日時：00月00日XX時XX分
ネーム　：ＸＸＸＸＸＸ
発信URL　：
http://XXX.XXX.XXX.XXX:8080/2regbox.cgi?sel=1&bno=XXX&mess_id=XXXX
再生URL　：
http://XXX.XXX.XXX.XXX:8080/2regbox.cgi?sel=2&bno=XXX&mess_id=XXXX
相手番号：03XXXXXXXX

V字再生中、相手番号に発信したい場合は、「5#」をダイヤルして下さい。

※この画面は電子メールイメージです。

2 電子メールの発信URLをクリックする。

発信URLにアクセスすると、V字発信が要求され、「要求を受け付けました。」が表示されます。

3 システムから携帯電話やスマートフォンに電話がかかる。

4 着信に応答する。

呼び出し音が聞こえ、メールを録音した方への発信になります。
相手の方が出たらお話しすることができます。

ワンポイント

●V字発信/再生を利用するには

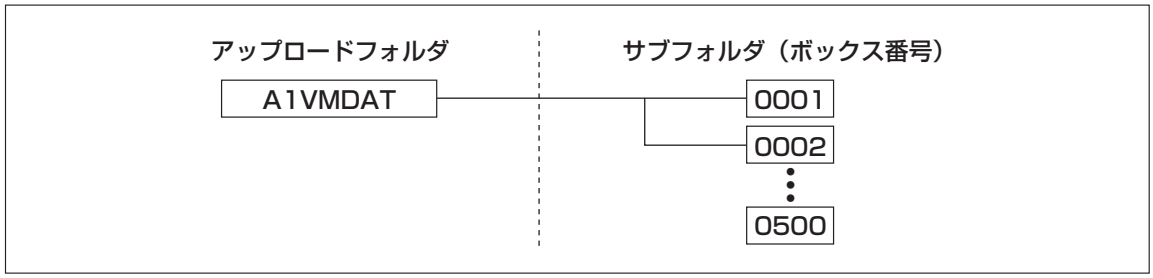
V字発信、メール再生中の発信特番の機能をご利用になるには、V字発信/再生設定（☛P30）およびサービスの開始（☛P31）、主装置のWeb設定とシステム設定が必要になります。

お知らせ

- メール再生中のV字発信特番説明文と、録音メッセージ1件ずつの発信URL、再生URLについては、録音されたメッセージによって表示されない場合があります。表示されない場合、その機能はご利用になれません。
- お聞きになっているメールによっては、ダイヤルボタンでメール再生中の発信特番を押しても、録音した方へ発信できない場合があります。録音した方へ発信できない場合、メール再生中の発信特番を押してもメールの再生が継続になる場合や、メールをお聞きになっている電話が切れる場合があります。
  詳しくは販売店やサービス取扱所にご相談ください。
- メール再生中の発信特番については、V字再生外線から再生している場合のみ操作できます。
- ボックスボタンや音声メールの番号をダイヤルして再生した場合には、メール再生中の発信特番を操作することはできません。
- お使いの携帯電話やスマートフォンによっては、電子メールやブラウザーの画面表示や文字サイズが異なる場合があります。
- お使いの携帯電話やスマートフォンのブラウザーによっては、V字発信/再生機能をご利用になれない場合があります。
- V字発信/再生機能を同時にご利用になれる端末は1台となります。他の方が同時にご利用になっている場合、再生URLまたは発信URLをクリックしても操作に失敗する場合があります。少し時間をおいてからご利用になってください。

録音内容を一括管理するには（FTPサーバーへの音声メールアップロード）

録音内容を音声ファイル（wav）としてLAN上またはクラウド上のFTPサーバーに定期的にアップロードしたり、アップロードした音声ファイルを削除することができます。音声メールアップロードを利用するには、「主装置のWeb設定」（☛P86）が必要です。
音声ファイルのアップロードは、FTPサーバーに下記のようなアップロードフォルダとサブフォルダを自動的に作成して保存されます。



ワンポイント

○アップロードファイルのデータフォーマット
- wavファイル形式（μ-Law）
- 録音ファイル名：
  BBBB_YYMMDDhhmmss_n_zzzzzzzzzz.wav
  - BBBB：ボックス番号［0001 ～ 2000］
  - YYMMDDhhmmss：録音年（西暦下2桁）月日時分秒
  - n：管理番号［0 ～ 9］
    ※ 同一日時、同一BOXメッセージが複数存在した場合は、管理番号で区別する。
  - zzzzzzzzzz：（発番号）
  - wav：拡張子（固定）

●音声メールGWの暗号化通信（FTPS）仕様
- 暗号化通信方式：SSL3.0 ／ TLS1.0
- 暗号化アルゴリズム：DES、3DES、AES、ARC4(=RC4互換)
- 暗号化通信モード：Explicitモード（固定）

●音声メールのアップロードや音声メールの削除に失敗したときは
電子メール通知設定（☛P86）で設定した通知先メールアドレスに電子メールで通知します。

●お買い求め時の設定は
次のように設定されています。
アップロード有無：する（曜日・時刻）
アップロード接続先：FTP
アップロードFTPサーバーアドレス：設定なし
アップロードFTPサーバーポート番号：21
FTPサーバー認証用ユーザー名：設定なし
FTPサーバー認証用パスワード：設定なし
アップロードフォルダー名：A1VMDAT
曜日毎のアップロード有無・時刻：設定なし
音声メールアップロード時間間隔：設定なし（選択肢：10分、30分、1時間）
音声メールサーバー保存日数：90日（設定範囲：1 ～ 90）
暗号化FTPS（Explicit）有無：無し
パッシブ（passive）モード有無：無し
音声メールアップロード有無：設定なし
音声メールサーバー削除有無：設定なし

お知らせ

- ●応答ガイダンス、共用ガイダンス、個別ガイダンスは、アップロードの対象外です。
- ●録音メッセージにコメントがある場合、コメント部分はアップロードの対象外です。
- ●音声メールアップロードのプロトコルは、FTP接続とFTPS接続（暗号化通信）から選ぶことができます。
  ただし、サーバーの種類、サーバーの設定によってはご使用になれない場合もあります。
- ●音声メールアップロードのデータ転送モードは、アクティブモードとパッシブモードから選ぶことができます。
- ●クラウド上のサーバーをご使用の場合は、パッシブモードに設定してください。
  - アクティブモード
    データ転送のためのコネクションをサーバー側から行う方式です。
  - パッシブモード
    データ転送のためのコネクションを音声メールGW（クライアント）側から行う方式です。
- ●音声メールのアップロードには数分から数時間かかる場合があります。
- ●クラウド上のサーバーをご使用の場合は、通信回線の状況やアップロードするファイルサイズなどによっては、数時間以上かかることがあります。また、そのような場合、音声メールのアップロードに失敗することがあります。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。
- ●クラウド上のサーバーは、FTPS接続（暗号化する）でのご使用を推奨します。「暗号化FTPS（Explicit）有無」を「有り」に設定してください。
- ●LAN上のサーバーは、FTPS接続（暗号化する）でご使用の場合、サーバーの種類、サーバーの設定によってはエラーとなることがあります。
- ●クラウド上のサーバーをご使用の場合、「パッシブ（passive）モード有無」を「無し」に設定したときは、エラーとなることがあります。
- ●ファイルを削除する機能がFTPサーバー側で動作する場合、音声メールサーバー削除有無は設定しないでください。
- ●音声メールサーバー削除有無を有りに設定した場合、FTPサーバーからの削除実行タイミングと削除される音声メールは以下のとおりです。
  - アップロード曜日・時刻での運用時：
    指定した曜日・時刻になったとき、音声メールサーバー保存日数での設定日数を経過した音声メールが削除される。
  - アップロード時間間隔での運用時：
    毎日0:00になったとき、音声メールサーバー保存日数での設定日数を経過した音声メールが削除される。

録音内容を一括管理するには（フレッツ・あずけ～るへの音声メールアップロード）

録音内容を音声ファイル（wav）としてフレッツ・あずけ～る上に定期的にアップロードすることができます。音声メールアップロードを利用するには、「主装置のWeb設定」（☛P86）が必要です。
フレッツ・あずけ～るは、NTT東日本・NTT西日本が提供するフレッツ光回線契約者向けのオンラインストレージサービスです。フレッツ光回線契約者は無料（有料プランもあり）で利用することができます。

本商品（「主装置のWeb設定」）とフレッツ・あずけ～るの連携手順

1 ［あずけ～る］管理者による操作

フレッツ・あずけ～るの申し込みを行う

2 ［あずけ～る］管理者による操作

開通案内メールに記載されている仮ログインIDと仮パスワードで、あずけ～るに接続する

3 ［あずけ～る］管理者による操作

あずけ～るの画面指示に従って基本情報を登録する

4 ［あずけ～る］管理者による操作

手順3で登録した新しい管理者IDとパスワードで、あずけ～るにログインできることを確認する

5 ［本商品（「主装置のWeb設定」）］管理者による操作

主装置のWeb設定から「音声メールアップロード設定」を表示し、手順3で登録したIDとパスワードを「あずけ～る管理者ID」、「あずけ～る管理者パスワード」に設定する

6 ［本商品（「主装置のWeb設定」）］管理者による操作

あずけ～るで本商品のデータを管理するフォルダ名を“A1VMDAT”以外にするときは「連携サブフォルダ名」を変更する

■続けて、あずけ～るの利用者ID／パスワードを設定する場合

7 ［あずけ～る］管理者による操作

あずけ～るの「利用者ID 管理」画面を表示し、利用者ID新規作成を行う

8 ［あずけ～る］利用者による操作

手順7で登録した新しい利用者IDとパスワードで、あずけ～るにログインできることを確認する

9 ［本商品（「主装置のWeb設定」）］管理者による操作

該当するユーザーのメールボックス番号に対して「音声メールアップロード有無」を有り（チェックする）に設定し、手順7で登録したIDとパスワードを「あずけ～るID」、「あずけ～るパスワード」に設定する

ワンポイント

●すべての一般ユーザーをあずけ〜ると連携させる必要はありません。連携していないユーザーは、あずけ〜るとメールボックスの連携ができません。

お知らせ

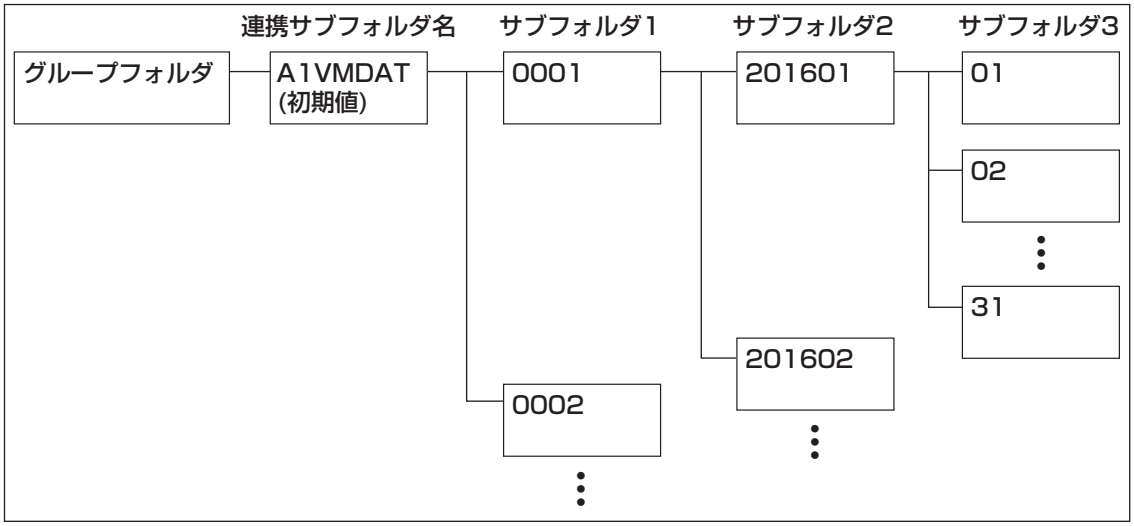
●フレッツ回線契約とは別に「フレッツ・あずけ〜る」の申し込みが必要です。
●あずけ〜るを本商品と連携するには、特別な工事設定が必要です。
●フレッツ・あずけ〜るへのアクセスは、契約したフレッツ光回線以外からも可能です。
●本商品では、「フレッツ・あずけ〜る」、「フレッツ・あずけ〜るPROプラン」どちらでも連携することが可能です。
●フレッツ・あずけ〜るの管理者ID/パスワード、利用者ID/パスワードと本商品の管理者ID/パスワード、ユーザーID/パスワードをそれぞれ管理する必要があります。あずけ〜るの管理者ID/パスワード、利用者ID/パスワードは、フレッツ・あずけ〜るにアクセスして設定（または変更）する必要があります。
●本商品のWebブラウザーおよび本取扱説明書では、「フレッツ・あずけ〜る」「フレッツ・あずけ〜るPROプラン」を総称して「あずけ〜る」と表記しています。
●「フレッツ・あずけ〜る」の詳細や最新情報については、NTT東日本・NTT西日本のインターネットサイトにてご確認ください。
●グループフォルダにアップロードする場合は、手順9で「あずけ〜るID」「あずけ〜るパスワード」の設定は必要ありません。

録音内容を一括管理するには（フレッツ・あずけ〜るへの音声メールアップロード）

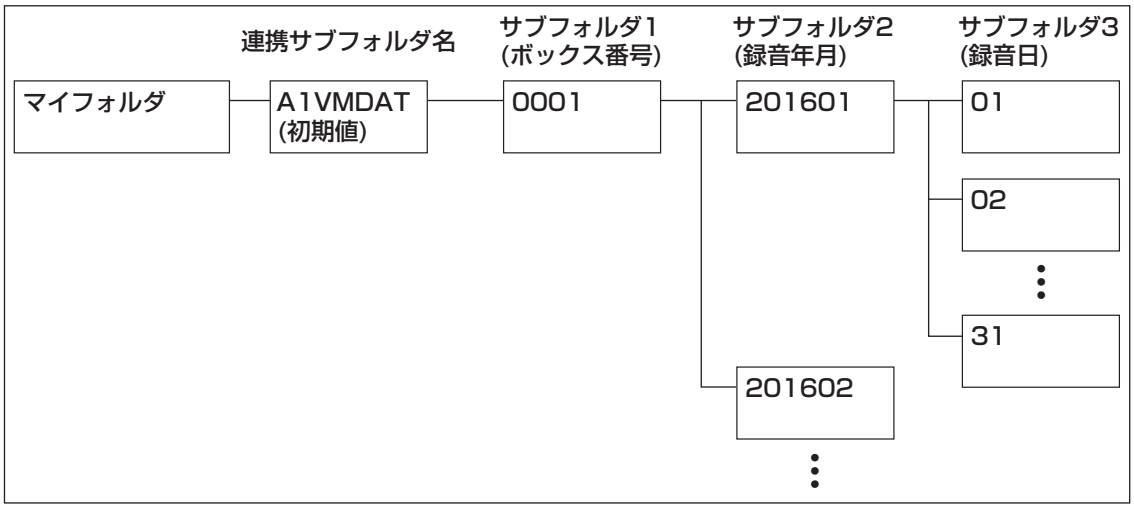
フレッツ・あずけ〜る上のフォルダ自動生成

音声ファイルのアップロードは、フレッツ・あずけ〜る上に下記のようなアップロードフォルダとサブフォルダを自動的に作成して保存されます。

■ グループフォルダ指定の場合のフォルダ構成例



■ マイフォルダ指定の場合のフォルダ構成例



※あずけ〜る管理者ID、他メールボックスに設定されている別のあずけ〜る利用者IDに関連付いたサブフォルダ1（ボックス番号）は指定、および参照できません。

あずけ〜るとの連携先（アップロード先）、およびあずけ〜るに直接アクセスしてファイル参照可能なログインIDは、以下の通りです。

連携先（あずけ〜る）	あずけ〜るに直接アクセスしてファイル参照可能なID	本商品で必要なID連携設定
グループフォルダ	管理者IDおよび全利用者ID	あずけ〜る管理者ID ※1
マイフォルダ	各利用者ID	あずけ〜る利用者ID ※1 （メールボックスごとに設定必要）

※1 各IDはあずけ〜るに直接アクセスしてパスワードを指定して作成し、その内容を本商品（主装置の「システム設定」）にも設定する必要があります。

ワンポイント

○**アップロードファイルのデータフォーマット**

- wavファイル形式（μ-Law）
- 録音ファイル名：
  BBBB_YYMMDDhhmmss_n_zzzzzzzzzz.wav
  - BBBB：ボックス番号［0001 ～ 2000］
  - YYMMDDhhmmss：録音年（西暦下2桁）月日時分秒
  - n：管理番号［0 ～ 9］
    ※ 同一日時、同一BOXメッセージが複数存在した場合は、管理番号で区別する。
  - zzzzzzzzzz：（発番号）
  - wav：拡張子（固定）

●**音声メールGWの暗号化通信（HTTPS）仕様**

- 暗号化通信方式：SSL3.0 ／ TLS1.0
- 暗号化アルゴリズム：DES、3DES、AES、ARC4(=RC4互換)

●**音声メールのアップロードに失敗したときは**

電子メール通知設定（☛P86）で設定した通知先メールアドレスに電子メールで通知します。

●**お買い求め時の設定は**

次のように設定されています。
アップロード有無：する（曜日・時刻）
アップロード接続先：FTP
あずけ～るデータ通信URL：設定なし
あずけ～る管理者ID：設定なし
あずけ～る管理者パスワード：設定なし
あずけ～る連携サブフォルダー名：A1VMDAT
曜日毎のアップロード有無・時刻：設定なし
音声メールアップロード時間間隔：設定なし（選択肢：10分、30分、1時間）
音声メールアップロード有無：設定なし
グループフォルダー／マイフォルダー指定：グループフォルダー
あずけ～るID：設定なし
あずけ～るパスワード：設定なし

お知らせ

●応答ガイダンス、共用ガイダンス、個別ガイダンスは、アップロードの対象外です。
●録音メッセージにコメントがある場合、コメント部分はアップロードの対象外です。
●音声メールのアップロードには数分から数時間かかる場合があります。
●通信回線の状況やアップロードするファイルサイズなどによっては、数時間以上かかることがあります。また、そのような場合、音声メールのアップロードに失敗することがあります。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

録音メッセージの管理に電子メールを利用するには

録音メッセージについての情報を、音声メールから自動送信される電子メールによって得ることができます。次の3種類の電子メールを利用できます。
電子メールの通知を利用する場合は、通知先のメールアドレスを登録します。設定は「主装置のWeb設定」（☛P86）から行います。

■メールの到達を通知する電子メール

ボックスに登録されている電子メールアドレス宛に、次の内容を電子メールで送信します。電子メールの送信は、録音されるごとでなく、設定されている周期に従ってまとめて行われます。

- 通知タイトル：「ボックスxxxに録音されました。」
- 全メッセージ数、再生済メッセージ数、未再生メッセージ数
- 録音メッセージ1件ずつの録音日時、ネーム、発信URL、再生URL、相手番号
- メール再生中の発信特番の説明文

この機能を利用するには、「主装置のWeb設定」（☛P86）が必要です。
通知先の電子メールアドレスは、各ボックスに1件ずつ登録できます。

■録音可能時間が少なくなったことを通知する電子メール

音声メール全体の録音可能時間が残りわずかになったときに、ユーザー管理者宛に次の内容の電子メールを自動送信します。

- 通知タイトル：「録音可能時間通知」
- 本文：「xx月xx日xx時xx分の録音可能時間を通知します。」
- 全録音時間、録音可能時間、登録メッセージ数

この機能を利用するには、「主装置のWeb設定」（☛P86）が必要です。
通知先の電子メールアドレスは、1件のみ登録できます。

■FTPサーバーへの音声メールアップロード機能で正常に動作しなかったことを通知する電子メール

FTPサーバーへのログイン失敗や、音声メールのアップロード失敗、音声メールサーバーの削除失敗になったときに、ユーザー管理者宛に次の内容の電子メールを自動送信します。

- 通知タイトル：「音声メールサーバへのログイン失敗通知」
  「音声メールアップロード失敗通知」
  「音声メール削除失敗通知」
- 本文：「XX月XX日XX時XX分　サーバへのログインが失敗しました。」
  「XX月XX日XX時XX分　サーバへの音声メールアップロードが失敗しました。」
  「XX月XX日XX時XX分　サーバからの音声メール削除が失敗しました。」

この機能を利用するには、「主装置のWeb設定」（☛P86）が必要です。
通知先の電子メールアドレスは、1件のみ登録できます。

■フレッツ・あずけ〜るへの音声メールアップロード機能で正常に動作しなかったことを通知する電子メール

フレッツ・あずけ〜るへのログイン失敗や、音声メールのアップロード失敗になったときに、ユーザー管理者宛に次の内容の電子メールを自動送信します。

- 通知タイトル：「音声メールアップロード失敗通知」
- 本文：「XX月XX日XX時XX分
  ボックスxxxx：通知内容(失敗理由)
  ボックスxxxx：通知内容(失敗理由)
  :
  ※ボックスxxxxのエラーにより音声メールアップロードを中断しました。」
- 通知内容：「ログイン失敗」または「アップロード失敗」を通知します。
- 失敗理由：音声メールアップロードに失敗した理由を通知します。

この機能を利用するには、「主装置のWeb設定」（☛P86）が必要です。
通知先の電子メールアドレスは、1件のみ登録できます。

ワンポイント

●メール到達を通知する電子メールの送信が失敗した場合は
「主装置のWeb設定」（☛P86）で設定されたリトライ回数に従って再送されます。リトライが成功する前に新しい録音の到達が発生したときは、送信がリセットされ、最新の情報に更新された電子メールが送信されます。

●録音可能時間の通知の実施基準は
通知メールの送信は、残り時間が「システム設定」により設定されている時間を下回ったときに実施されます。

●録音可能時間を通知する電子メールの送信が失敗した場合は
「主装置のWeb設定」（☛P86）で設定されたリトライ回数に従って再送されます。リトライが成功する前に新しい録音や録音メッセージの消去などが発生した場合でも、通知内容の更新は行われません。

●V字発信/再生で発信するには
電子メールで通知された発信URLに携帯電話やスマートフォンのブラウザーでアクセスすることにより、V字発信を利用し、メッセージを録音した方に電話をかけることができます。（☛P76）

●**V字発信/再生でメッセージを再生するには**
電子メールで通知された再生URLに携帯電話やスマートフォンのブラウザーでアクセスすることにより、携帯電話やスマートフォンにシステムから着信がかかり応答するとそのメッセージを聞くことができます。

●**V字発信/再生でメールの相手に発信するには**
V字再生でメールを再生中に、メール再生中の発信特番の説明文に書かれている番号をダイヤルすることにより、録音した方へ発信することができます。

●**V字発信/再生を利用するには**
V字発信、V字再生、V字再生中の発信特番の機能をご利用になるには、システム設定が必要になります。

お知らせ

●電子メールは1ボックス1メールで送信されます。一度に多くのボックスに録音されると、多くのメッセージが送信され、プロバイダーや電子メールサーバーによってはSPAMメールと判断され、送信に失敗する場合があります。電子メールによる通知をご利用になる場合はご注意ください。

●録音メッセージ1件ずつの発信URL、再生URL、メール再生中の発信特番説明文については、録音されたメッセージやV字発信/再生機能設定の設定内容によって表示されない場合があります。表示されない場合、その機能はご利用になれません。

主装置のWeb設定によりご利用になれる機能

音声メールの機能には、主装置のWeb設定を行うことによってお使いになれる機能が多数あります。詳しくは主装置の取扱説明書をご覧いただくか、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお気軽にご相談ください。

■主装置のWeb設定によりご利用になれる機能一覧

機　能	主装置のWeb設定	ページ
音声メールアップロードを設定する	音声メールアップロード	☛P78、80
電子メールの通知先メールアドレスを設定する	電子メール通知設定	☛P86
電子メールサーバーの利用を設定する	電子メールサーバー設定	☛P86
IVRシナリオデータを編集する	IVRシナリオ編集	☛P86
暗証番号を設定する	パスワード	☛P86
RTP設定をする	RTP設定	☛P87
DSCP設定をする	DSCP設定	☛P87

■録音メッセージの再生順を設定する

録音メッセージを再生する順番を、ボックスごとに設定できます。

■電子メールの通知先メールアドレスを設定する

メールの到達を通知する電子メールの利用を設定します。通知を利用する場合は、通知先のメールアドレスを登録します。

■電子メールサーバーの利用を設定する

電子メールの利用に関するデータを設定します。電子メールサーバーへ接続するためのデータや、通知周期、送信失敗時のリトライ回数などが設定できます。また、録音可能時間が少なくなったときやFTPサーバーへの音声メールアップロード機能、フレッツ・あずけ〜るへの音声メールアップロード機能で正常に動作しなかったときに通知メールを自動送信する機能を利用したいときは、管理者用メールアドレスを登録します。

お知らせ

- サーバー認証用データ設定のユーザー IDやパスワードは、お使いのプロバイダーや電子メールサーバーの環境設定にあわせて登録してください。
- お使いのプロバイダーや電子メールサーバーによっては、電子メールの認証機能等のために、電子メールによる通知機能をご利用になれない場合があります。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

■IVRシナリオデータを編集する

IVRシナリオ（☛P49）の作成（編集）ができます。

■暗証番号を設定する

音声メール再生用、およびにパソコンから一般ユーザーでログインする時に入力する暗証番号（4桁）を設定します。

■RTP設定をする

音声メールGWが使用しているRTPの設定が行えます。

ワンポイント

●お買い求め時の設定は

次のように設定されています。
RTP開始ポート番号 ：50002
ゆらぎ吸収制御 ：する
最大許容遅延時間（ミリ秒）：100
最大蓄積パケット数 ：5

お知らせ

●RTP設定を変更すると、音声メールGWを正常に使えなくなるおそれがあります。RTP設定を変更する場合はご注意ください。

■DSCP設定をする

優先制御を行うためのDSCPの設定が行えます。

ワンポイント

●お買い求め時の設定は

次のように設定されています。
DSCP（SIP）：46
DSCP（RTP）：46
DSCPは、お買い求め時には「最優先」に設定されています。設定値は次のようになっています。
46：最優先
32：高優先
8 ：低優先
0 ：ベストエフォート

お知らせ

●本商品のDSCP設定だけでは、DSCPによる優先制御は利用できません。LANに接続されているHUB等の設定もあわせて行う必要があります。

システム設定によりご利用になれる機能

音声メールの機能には、お客様が登録・設定できる機能のほか、システムの設置時にあらかじめ「システム設定」で登録・設定しておくと便利にお使いになれる機能が多数あります。また、いろいろな機能を利用するための番号があらかじめ「システム設定」により決められています。「システム設定」を行いたいときや、変更したいときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお気軽にご相談ください。

	機　能	システム設定項目	ページ
お話しを録音する	自動的にお話しを録音する	自動通話録音対象	☛P89
	1メールの録音時間を設定する	録音最大時間 録音最大時間時処理	☛P89
	1ボックスに録音できるメールの件数を設定する	最大メール数	☛P89
	通話録音が終了したときにメールを自動的に保存する	自動通話録音終了時メール保存終了	☛P89
	メールに付加するコメントの位置を設定する	音声メールコメント位置指定	☛P89
	お話しを録音する場合に音切れ防止が必要な回線を設定する	音切れ防止対象回線	–
メールを送る	かかってきた電話をボックスへ転送する	端末未応答話中通知 EK未応答話中通知	☛P89
	メールを転送したあとに元のボックスにメールを保存する	転送時メール保存設定	☛P89
	1回のメール到達通知時に呼び出す時間	VM到着通知発信呼出時間	☛P89
	メール到達通知する回数	音声メール到着通知発信回数	☛P89
	メール到達通知の間隔	音声メール到着通知発信周期時間	☛P89
	メール到達時、ボックスランプを点灯させる	VM到着表示	☛P89
	一時停止した録音を自動で再開する	ポーズ解除タイマー	☛P89
メールを再生／消去する	メールを録音／再生し、転送したあとに録音／再生中のボックスにメールを保存する	転送時メール保存設定	☛P90
	メールを再生したあとに録音日時と相手の方の番号をガイダンスで流す	タイムスタンプ再生	☛P90
	メール再生から次のメールを再生するまでの（無音の）時間を設定する	メール再生間隔タイマー	☛P90
	メールを自動的に消去する	音声メール保存日数 音声メール自動消去時刻	☛P90
	録音メッセージの再生順を設定する	メール再生順	☛P90
その他	外線から音声メールへ電話をかけてサービスを受ける	DSAサービス設定 IDコード ID暗証番号	☛P90
	複数のボックスをまとめて、同報ボックスとする	同報ボックス所属メールボックス	☛P90
	音声メールGWを複数接続した場合のボックスの割付け	メールボックス範囲 同報ボックス所属メールボックス	☛P90
	回線へのボックスの割当て	LEN対応ボックス指定	☛P90
	留守番電話が応答したとき他の電話機に転送する	録音メール到着通知先	☛P90
	留守応答中の通話をモニターし、相手の方との通話に切り替える	留守番電話モニター割込可否	☛P91
	録音時間の短いメールを無効とし消去する	録音ガードタイマー	☛P91
	音声メール再生用、Webブラウザーの一般ユーザーログイン用の暗証番号（4桁）を登録する	パスワード	☛P91
	付加番号ダイヤルイン入力エラー時の転送先を設定する	付加番号ダイヤルイン失敗時転送先（ガイダンス方式）	☛P91
	V字発信/再生の利用を設定する	V字発信/再生設定	☛P91
	PC操作時の接続タイムアウト時間を変更する	PC接続タイムアウト時間設定	☛P91
	システムモード別代行録音を設定する	モード対応ガイダンス	☛P91

お話しを録音する

■自動的にお話しを録音する

自動的にお話しを録音するには、下のどの条件で録音を開始するのかを設定します。

・電話をかけて、相手の方とお話しを始めたときから録音する
・かけてきた相手の方とお話しを始めたときから録音する
・転送されてきた電話の相手の方とお話しを始めたときから録音する

■1メールの録音時間を設定する

1つのメールを録音できる最大時間を1 ～ 30分または制限なしに、設定することができます。

メールの録音中に、設定した最大時間を超えた場合の処理を次のどちらかに設定することができます。

・通話録音を終了する（続けて録音したい場合は、録音ボタンを押すと、新しいメールとして録音を開始する）
・通話録音時間を経過した時点で、それまでの録音内容は消去され、続けて録音される

■メールに付加するコメントの位置を設定する

メールの先頭または末尾にコメントを付けるように設定することができます。

■1ボックスに録音できるメールの件数を設定する

1ボックスに録音できるメールの件数を設定することができます。

最大255件設定できます。

■通話録音が終了したときにメールを自動的に保存する

通話録音が終了したときにメールをボックスに保存するか否かを設定することができます。「保存する」に設定したときは、メールは使用した電話機に対応したボックスに保存されます。

メールを転送したときは、設定に関係なく、転送先の電話機に対応したボックスに保存されます。

メールを送る

■かかってきた電話をボックスへ転送する

かかってきた電話に応答しないまま一定時間経過後、指定したボックスに転送したり、お話し中のときにかかってきた電話を指定したボックスに転送することができます。

■メールを転送したあとに元のボックスにメールを保存する

録音／再生したメールを転送したときに、録音／再生中のボックスにメールを保存するかどうかを設定することができます。

設　定	保存先のボックス	
	録音／再生後	録音／再生後に転送したとき
保存する	録音／再生したメールはそのまま保存される	録音／再生したメールは消去されない 転送したメールは転送先のボックスに保存される
保存しない	録音／再生したメールはそのまま保存される	録音／再生したメールは消去される 転送したメールは転送先のボックスに保存される

■1回のメール到達通知時に呼び出す時間

メールが録音されたことを知らせる着信音が鳴り続ける時間を設定することができます。

■メール到達通知する回数

メール到達通知を行う回数を設定することができます。

最大で24回に設定できます。0回に設定すると、メールが着信したことを通知しません。

■メール到達通知の間隔

メール到達通知回数を複数回に設定したときに、通知する間隔を1 ～ 60分の間隔で設定することができます。

■メール到達時、ボックスランプを点灯させる

ボックスに新しいメールが録音された場合に、ボックスボタンのランプが点灯するように設定できます。

また、メール再生後のボックスボタンのランプの状態を設定することができます。設定できる状態は次のとおりです。

・常時点灯しない
・ボックス内に未再生メールがあったときに緑で点滅する
・ボックス内にメールがあったときに緑で点滅する

■一時停止した録音を自動で再開する

一時停止した録音を自動で再開する時間を10 ～ 255秒に設定することができます。指定しない場合は自動で録音は再開されません。ただし、自動通話録音（☛P18）および手動通話録音（☛P22）で録音を一時停止した場合、設定は無効となります。

システム設定によりご利用になれる機能

メールを再生／消去する

■メールを録音／再生し、転送したあとに録音／再生中のボックスにメールを保存する

録音／再生し、転送が終了したときに、メールを録音／再生中のボックスに保存するかどうかを設定することができます。

設　定	保存先のボックス	
	録音／再生後	録音／再生後に転送したとき
保存する	録音／再生したメールはそのまま保存される	録音／再生したメールは消去されない 転送したメールは転送先のボックスに保存される
保存しない	録音／再生したメールはそのまま保存される	録音／再生したメールは消去される 転送したメールは転送先のボックスに保存される

■メールを再生したあとに録音日時と相手の方の番号をガイダンスで流す

メールを再生したあとに、そのメールが録音された日時と相手の方の電話番号が流れるように設定することができます。

■メール再生から次のメールを再生するまでの（無音の）時間を設定する

メールを再生したあとに次のメールを再生するまでの時間（なし、1 ～ 255秒）を設定することができます。

■メールを自動的に消去する

ボックスに保存しているメールを自動的に消去するように設定できます。

設定した保存日数経過後、設定した自動消去時刻になると、メールは消去されます。自動消去をしない設定にすることもできます。

ただし、バックアップしたメールは自動的に消去できません。

■録音メッセージの再生順を設定する

録音メッセージを再生する順番を、ボックスごとに設定できます。

その他

■外線から音声メールへ電話をかけてサービスを受ける

「システム設定」すると、内線からかけたときと同じように音声メールのサービスをご利用になれます。

・外線を利用してメールを送る（☛P26）
・外線を利用してメールを再生する（☛P36）
・外線を利用してメールをバックアップする

■複数のボックスをまとめて、同報ボックスとする

最大16ボックスをまとめて、1つのボックスとみなすことができます。

同報ボックスにメールを送ると、同じメールを一度に同報ボックスに登録されている複数のボックスに送ることができます。

■音声メールGWを複数接続した場合のボックスの割付け（スマートネットコミュニティα A1 Professional主装置）

1つの主装置に複数の音声メールGWを接続することができます。ボックス番号は、主装置に接続されている音声メールGW全体で、1 ～ 2064まで付けることができます。

〈例〉

ボックス番号……1 ～ 500　501 ～ 1000　1001 ～ 1500

(同報ボックス)…(2001 ～ 2016)（2017 ～ 2032)（2033 ～ 2048)

音声メールA	音声メールB	音声メールC

※内線ボックス、外線ボックス、共通ボックスのボックス番号は1 ～ 2000、同報ボックスのボックス番号は2001 ～ 2064がお使いになれます。

■回線へのボックスの割当て

電話回線ごとにボックスを登録することができます。かかってきた回線のボックスにメールが録音されます。

■留守番電話が応答したとき他の電話機に転送する

留守番電話が応答したとき、メッセージを録音するか、またはメール録音通話切替特番のダイヤルを押して、他の電話機を呼び出すことができます。

次のような場合は、転送されず、応答した音声メールのボックスにメッセージが録音されます。

・グループ間接続規制などにより転送先を接続できないとき
・転送先内線を決定できないとき
・転送先がお話し中のとき

■留守応答中の通話を聞く（モニターする）、モニター中の相手と通話する

指定した留守応答中の通話をモニター（聞く）したり、モニター中の相手の方と通話することができます。

また、モニター可能な留守応答中の通話を外線または内線ランプを点滅（緑）させて通知します。

■録音時間の短いメールを無効とし消去する

録音時間の短いメールを、自動消去するための時間を設定します。

設定は、消去しない、1 ～ 5秒の選択ができます。

また、この設定はコメントの録音に対しても有効となります。

■音声メール再生用、Webブラウザーの一般ユーザーログイン用の暗証番号（4桁）を登録する

音声メール再生用、Webブラウザーの一般ユーザーログイン用の暗証番号（4桁）を設定できます。

■付加番号ダイヤルイン入力エラー時の転送先を設定する

付加番号ダイヤルイン（内線呼出、外線転送）（☛P72、73）で、発信者が誤った内線番号を3回入力した場合や3回時間切れになった場合に、音声メールから切断せずに登録した内線番号に転送されるように設定できます。

■V字発信/再生の利用を設定する

V字発信/再生の機能（☛P75、76）を利用することができます。

■PC操作時の接続タイムアウト時間を変更する

接続タイムアウト時間を設定できます。

■システムモード別代行録音を設定する

次のシステムモード別に設定した音声ガイダンスを送出して、録音を行うことができます。

<システムモードの種類一例>

・昼間
・夜間
・休憩
・休日
・特定日

ワンポイント

●接続タイムアウトとは

パソコンからWebブラウザーにログイン後、接続タイムアウト時間中に操作がない場合は、自動的にログアウトとなります。なお、ログアウトせずにWebブラウザーを終了した場合は、接続タイムアウト時間が経過するまで、ログインはできません。

システム設定によりご利用になれる機能

各種機能を利用するための特番一覧

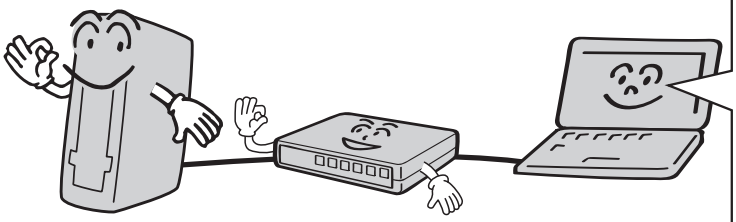
以下の機能にはあらかじめ特番が設定されています。操作方法については参照先をご覧ください。
（「システム設定」により変更ができます。）

名　称	機　能	番　号	参照先
自動通話録音モード解除特番	自動通話録音モードを解除する	⑨⑥⑦［　　］	☛P19、21
自動通話録音モード設定特番	自動通話録音モードを設定する	⑨⑥⑥［　　］	☛P19、21
メール送信特番	メールを送信する	⑨⑥①［　　］	☛P25
メール再生特番	メールを再生する	⑨⑥⓪［　　］	☛P34
留守番電話起動特番	個別留守番電話を起動する	⑨⑦⓪［　　］	☛P45
留守番電話解除特番	個別留守番電話の起動を解除する	⑨⑦①［　　］	☛P45
メール録音通話切替特番	メール録音中に他の電話機を呼び出す	⑨⑥②［　　］	☛P46

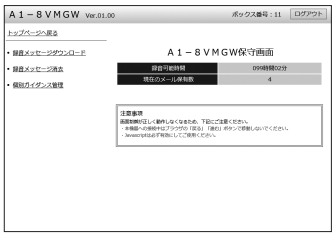
PC操作編

特　長

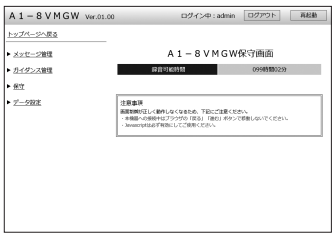
音声メールで録音された内容をパソコンで管理
本商品とパソコンとを同一LAN接続することにより、パソコンのWebブラウザーを使って音声メールを管理できます。
PC操作を行うには、一般ユーザーまたはユーザー管理者でログインします。



一般ユーザーの利用メニュー



ユーザー管理者の利用メニュー



録音メッセージのダウンロード
メールボックスに保存されている録音メッセージとコメントをwavファイルとしてパソコンにダウンロードすることができます。

録音メッセージの消去
メールボックスに保存されている録音メッセージとコメントをパソコンから消去できます。

個別ガイダンスの管理
メールボックスに保存されている個別ガイダンスをパソコンにダウンロードできます。また、パソコンから個別ガイダンスをアップロードすることも可能です。

共用ガイダンスの管理（ユーザー管理者のみ）
メールボックスに保存されている共用ガイダンスをパソコンにダウンロードできます。また、パソコンから共用ガイダンスをアップロードすることも可能です。

音声メールの保守（ユーザー管理者のみ）
パソコンから音声メールGWを再起動したり、メモリーをフォーマットすることができます。

パソコンの接続

パソコンと音声メールGWを接続するには、パソコンとLANケーブルが必要です。
パソコンのLANポートと音声メールGWのLANポートをLANケーブルで同一LAN接続してください。

お客様にご用意いただくもの

・パソコン

10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したLANポートを備えていることをご確認ください。

・LAN ケーブル

市販のLANケーブルをご用意ください。

動作環境について

音声メールGWと同一LAN接続したパソコンでWebブラウザーを起動し、パソコンの画面で音声ファイルのアップロード／ダウンロードや、音声メールGWが保持しているシステムデータの管理が行えます。
PC操作を行うには、次の動作環境が必要です。

OS	推奨ブラウザー
Windows 8.1（Windows 8.1、Pro、Enterprise）（32bit/64bit）	Internet Explorer　11.0　※1
Windows 7 （Home Premium（SP1）、Professional（SP1）、Ultimate（SP1）） （32bit/64bit）	Internet Explorer　11.0　※1

項目	条件
同時接続台数	1台
解像度	XGA以上
文字サイズ	「中」以下
文字コード	Shift-JIS

※1 デスクトップ用Internet Explorerをご利用ください。タッチデバイス用に最適化されたWindows UIのInternet Explorerは使用しないでください。

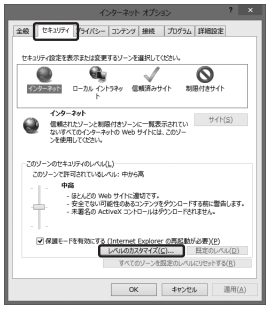
Webブラウザーの設定

本商品の設定は、パソコンのWebブラウザーで行います。
お使いのWebブラウザーでJavaScriptが利用可能になっていることを確認してください。
以下は、Internet Explorer 11.0で確認する方法を説明しています。

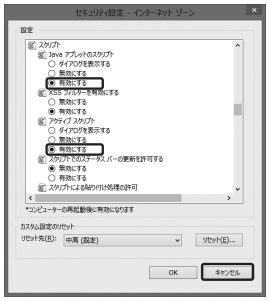
1 Internet Explorerを起動する。

2 「ツール」メニューの「インターネットオプション」をクリックする。

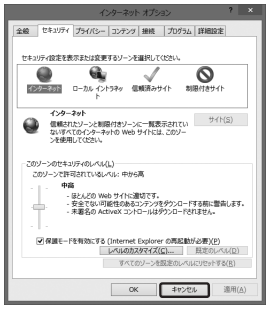
3 「セキュリティ」タブをクリックし、「レベルのカスタマイズ」をクリックする。



4 「スクリプト」の項目で、「Javaアプレットのスクリプト」、「アクティブ スクリプト」の設定が「有効にする」になっていることを確認し、「キャンセル」をクリックする。



5 「インターネットオプション」画面の「キャンセル」をクリックする。



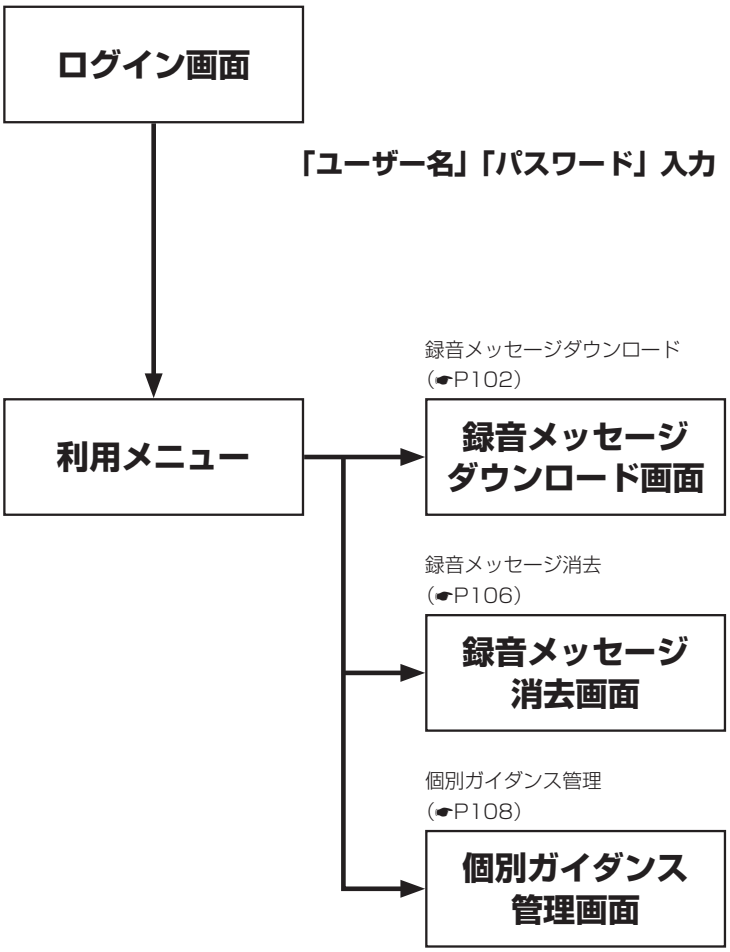
お知らせ

- アクティブ スクリプトの設定が「有効にする」になっていないと、利用メニューから各機能をクリックしてもエラーメッセージが表示されて、ご利用になれません。
- PC接続機能をご利用になる場合、Webブラウザー画面の大きさを変えないでください。設定した文字等が欠けて表示される場合があります。

画面の流れ

一般ユーザーの基本的な画面の流れを説明します。

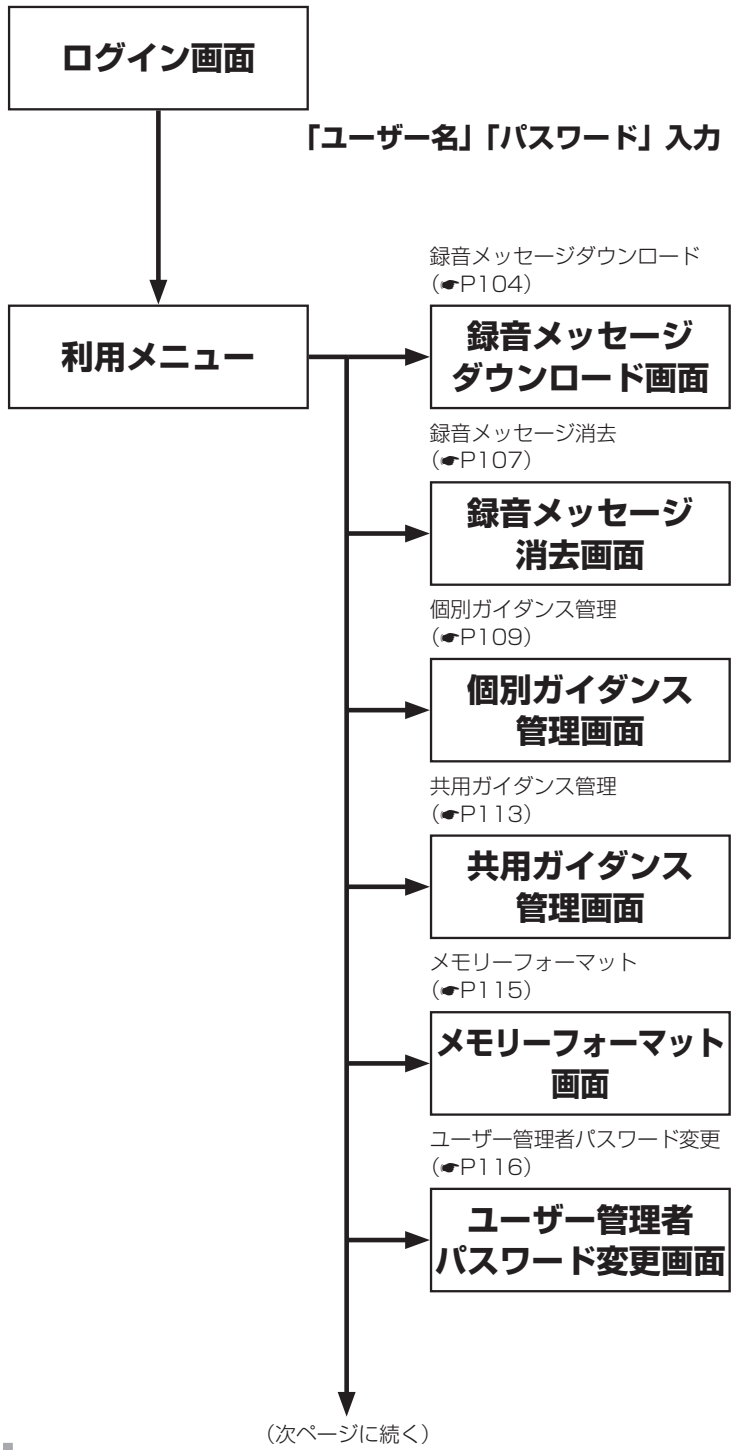
一般ユーザー

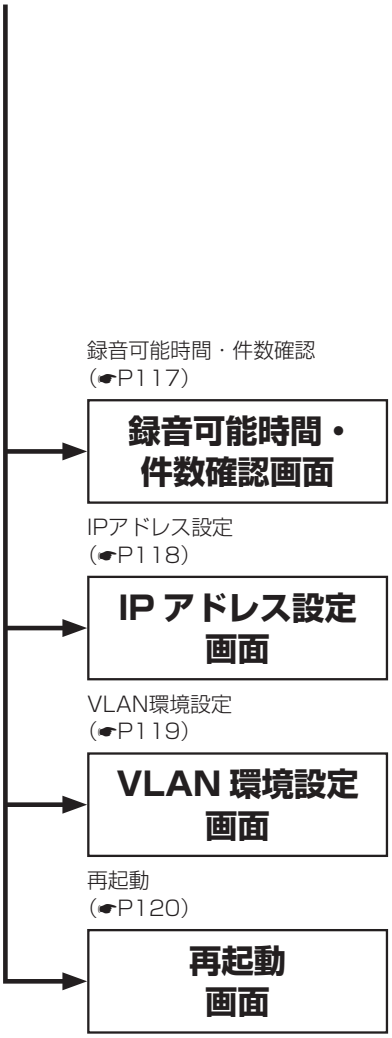


画面の流れ

ユーザー管理者の基本的な画面の流れを説明します。

ユーザー管理者




録音可能時間・件数確認
(☛P117)
録音可能時間・
件数確認画面
IPアドレス設定
(☛P118)
IP アドレス設定
画面
VLAN環境設定
(☛P119)
VLAN 環境設定
画面
再起動
(☛P120)
再起動
画面

ログインするには

パソコンでWebブラウザーを起動し、ログインします。一般ユーザーはメールボックスの番号、ユーザー管理者はユーザー管理者IDを入力してログインします。
一般ユーザーは、操作の一部が制限されています。

一般ユーザーとしてログインする

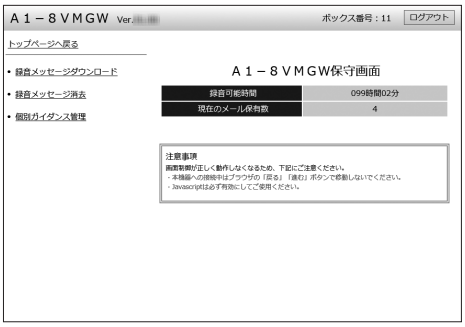
一般ユーザーとしてログインし、一般ユーザーの利用メニューを表示します。

1 Webブラウザーを起動し、音声メールGWのIPアドレスを入力し、[Enter] キーを押す。

2 メールボックスの番号とパスワードを入力し、「OK」をクリックする。

「ユーザー名」はメールボックスの番号を入力します。
「パスワード」の初期値は未設定です。
「パスワード」の変更は、「システム設定」で行います。

一般ユーザーの利用メニューが表示される。



ワンポイント

●ログアウトするには

PC操作を終了するときは、各画面の「ログアウト」をクリックします。「ログアウト」をクリックしないで止めた場合、一定時間音声メールGWに接続できなくなります。その場合しばらく待ってから操作してください。

●メールボックス番号を確認するには

メールボックス番号を確認するには、ご使用の自電話機で機能ボタンを押したあと、ボックスボタンを押すと自電話機に設定されたメールボックス番号を確認できます。

お知らせ

- 操作は、各画面に表示されているメニューやボタンでのみ行ってください。ブラウザーの「戻る」「進む」ボタンを使用したり、ショートカットキー操作をするなど、画面以外の操作を行うと、正しく動作しなくなります。
- ボタンの操作は、ゆっくり確実に行ってください。繰り返しクリックすると正しく動作しなくなります。
- 手順2で「OK」をクリックしたときに他の人が使用していると「他のユーザがログインしているため、現在は利用できません。」や「ページを表示できません。」が表示されます。その場合は他の人がログアウトをして使用を止めてから操作してください。
  また、使用中に新たなWebブラウザーを起動し操作した場合も同様な表示がされます。複数の画面を開いて操作しないでください。
- 手順2で「OK」をクリックして画面が切り替わったあと、一定時間操作しないと「タイムアウトになりました。再度ログインしてください。」が表示されます。再度、手順2の操作をしてください。
- 音声メールの電源を入れて使える状態になる前に、パソコンで音声メールにログインしないでください。先にログインしてしまった場合は、音声メールを使える状態にしてから、再度ログインしてください。
- セキュリティーを確保するため、パスワードの設定をおすすめします。

ユーザー管理者としてログインする

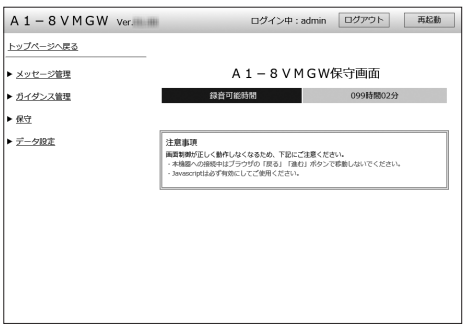
ユーザー管理者としてログインし、ユーザー管理者の利用メニューを表示します。

1 **Webブラウザーを起動し、音声メールGWのIPアドレスを入力し、[Enter] キーを押す。**

2 **ユーザー管理者IDとパスワードを入力し、「OK」をクリックする。**

「ユーザー名」の初期値は「admin」（固定）です。
「パスワード」の初期値は「admin」です。
「パスワード」は変更することができます。（☛P116）

ユーザー管理者の利用メニューが表示される。



ワンポイント

●ログアウトするには

PC操作を終了するときは、各画面の「ログアウト」をクリックします。「ログアウト」をクリックしないで止めた場合、一定時間音声メールGWに接続できなくなります。その場合しばらく待ってから操作してください。

お知らせ

- 操作は、各画面に表示されているメニューやボタンでのみ行ってください。Webブラウザーの「戻る」「進む」ボタンを使用したり、ショートカットキー操作をするなど、画面以外の操作を行うと、正しく動作しなくなります。
- ボタンの操作は、ゆっくり確実に行ってください。繰り返しクリックすると正しく動作しなくなります。
- 手順2で「OK」をクリックしたときに他の人が使用していると「他のユーザがログインしているため、現在は利用できません。」や「ページを表示できません。」が表示されます。その場合は他の人がログアウトをして使用を止めてから操作してください。
  また、使用中に新たなWebブラウザーを起動し操作した場合も同様な表示がされます。複数の画面を開いて操作しないでください。
- 手順2で「OK」をクリックして画面が切り替わったあと、一定時間操作しないと「タイムアウトになりました。再度ログインしてください。」が表示されます。再度、手順2の操作をしてください。
- セキュリティーを確保するため、パスワードは本商品の初期設置時に必ず変更してください。
- ユーザー管理者パスワードを忘れた場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

録音メッセージを管理するには

録音メッセージをパソコンに保存したり、音声メールに保存されている録音メッセージを消去することができます。
この操作は、一般ユーザーの利用者メニュー、ユーザー管理者の利用者メニューのどちらから行うこともできます。

録音メッセージをパソコンに保存する（一般ユーザー）

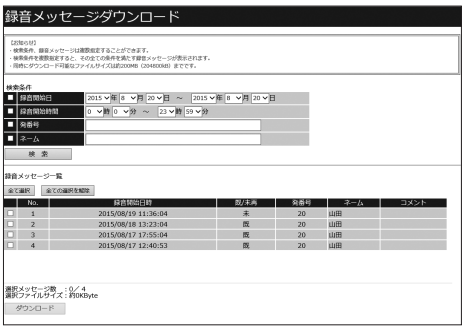
メールボックスに保存されている録音メッセージをパソコンにダウンロードしてwavファイル形式で保存します。コメントがある場合は、コメントも一緒にダウンロードします。

1 利用メニューで「録音メッセージダウンロード」をクリックする。

2 録音メッセージを検索する。

録音開始日、録音開始時間、発番号（最大32桁）、ネーム（最大半角40文字）を指定して検索することができます。

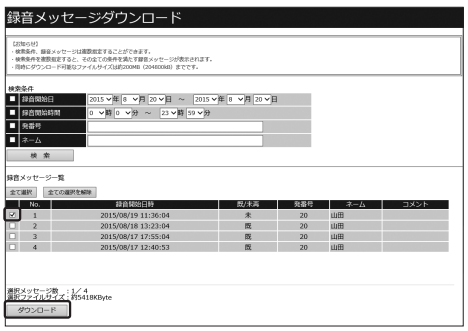
「検索」をクリックすると、該当する録音メッセージの一覧が表示されます。



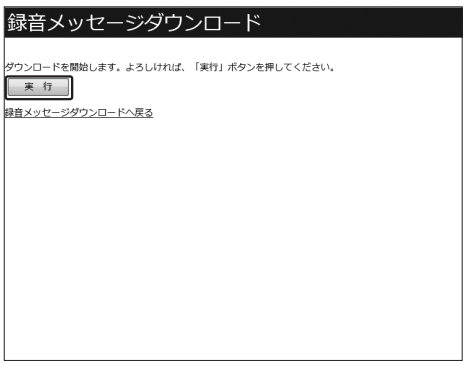
3 ダウンロードする録音メッセージをチェックして、「ダウンロード」をクリックする。

現在表示されているメッセージをすべてダウンロードする場合は、「全て選択」をクリックします。

選択をすべて解除する場合は、「全ての選択を解除」をクリックします。



4 「実行」をクリックする。



5 「保存」をクリックする。

6 ダウンロードの完了を確認し、「×」をクリックする。

ワンポイント

●保存先、保存ファイル名を変更するには
手順5で「保存」ボタンの横に表示されている「▼」をクリックし、「名前を付けて保存」を選択して保存先、ファイル名を変更してください。

●もう一度すべてのメッセージを表示するには
手順2で検索条件のすべてのチェックボックスをオフにして検索することで、すべてのメッセージを表示します。

●コメントのない録音メッセージを1件ダウンロードした場合のファイル名
初期設定では下記のようなファイル名で保存されます。
YYMMDDhhmmssは年、月、日、時、分、秒を表します。
ボックス番号_YYMMDDhhmmss_n_zzzzzz.wav

●複数の録音メッセージやコメント付きの録音メッセージをダウンロードした場合のファイル名
複数の録音メッセージやコメント付きのメッセージはzipファイルで1つにまとめられて保存されます。
下記のようなファイル名で保存されます。
voice_mail.zip
ダウンロードされたファイル「voice_mail.zip」をパソコンで解凍することにより、録音メッセージごとのファイルが作成されます。
解凍されたファイルは下記のようなファイル名となります。
YYMMDDhhmmssは年、月、日、時、分、秒を表します。
ボックス番号_YYMMDDhhmmss_n_zzzzzz.wav
ボックス番号_YYMMDDhhmmss_n_zzzzzz_comment.wav

●録音メッセージをダウンロードした場合のファイルサイズ
録音メッセージをダウンロードした場合、2分の録音で約1MBサイズのファイルとなります。お使いのパソコンのハードディスクなどの空き容量にご注意してお使いください。

●ダウンロードしたwavファイルのファイル形式について
ダウンロードしたwavファイルはRIFF形式、wavフォーマット、μ-Lawで保存されます。Windows Media Playerなどで再生することができます。

●複数の録音メッセージをダウンロードする場合には
複数の録音メッセージをダウンロードする場合、約200MB以上のzipファイルをダウンロードすることはできません。その場合、200MB以下に減らすか、メッセージを1件ずつダウンロードしてください。

●コメント付きの録音メッセージをダウンロードする場合には
コメント付きの録音メッセージが約200MBを超えていた場合、ダウンロードしてもメッセージのコメント部分はダウンロードできません。

●検索条件の指定について
録音メッセージを検索するときには、録音開始日時や発番号など複数の条件を指定することができます。複数の条件を指定すると、そのすべてを満たす録音メッセージが表示されます。

お知らせ

●コメントをダウンロードする／しないを選択することはできません。

●複数の録音メッセージやコメント付きの録音メッセージをダウンロードした場合、zipファイルで保存されますが、圧縮はされません。

●zipファイルで保存するかwavファイルで保存するかを、選択することはできません。

●録音メッセージのダウンロード中にLANケーブルが抜け、一定時間経過すると、「ページを表示できません」または「サーバとの接続がリセットされました」と表示されます。その後、LANケーブルを接続し、再度録音メッセージのダウンロードを行うと、約2分間「ページを表示できません」や、「ZIPファイルの作成に失敗しました」などと表示される場合があります。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。

●ネームを指定して検索するときは、S-JIS以外の文字は入力しないでください。環境依存文字や、アンパサンド（&）などを使用すると、正常に検索できません。

●録音メッセージのダウンロードで大きなファイルをダウンロードした場合、接続タイムアウトとなり自動的にログアウトとなることがあります。

録音メッセージを管理するには

録音メッセージをパソコンに保存する（ユーザー管理者）

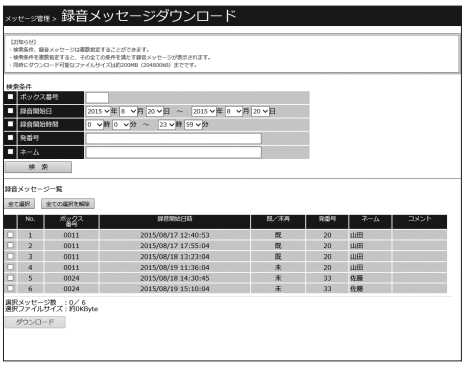
メールボックスに保存されている録音メッセージをパソコンにダウンロードしてwavファイル形式で保存します。コメントがある場合は、コメントも一緒にダウンロードします。

1 利用メニューで「録音メッセージダウンロード」をクリックする。

2 録音メッセージを検索する。

ボックス番号、録音開始日、録音開始時間、発番号（最大32桁）、ネーム（最大半角40文字）を指定して検索することができます。

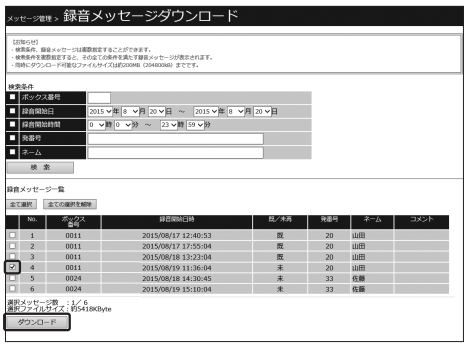
「検索」をクリックすると、該当する録音メッセージの一覧が表示されます。



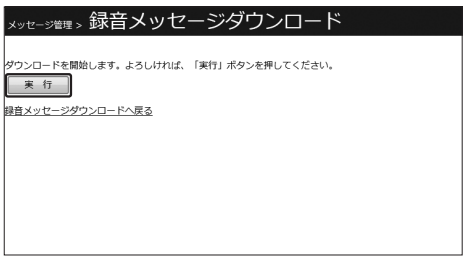
3 ダウンロードする録音メッセージをチェックして、「ダウンロード」をクリックする。

現在表示されているメッセージをすべてダウンロードする場合は、「全て選択」をクリックします。

選択をすべて解除する場合は、「全ての選択を解除」をクリックします。

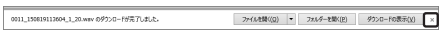


4 「実行」をクリックする。



5 「保存」をクリックする。

6 ダウンロードの完了を確認し、「閉じる」をクリックする。



ワンポイント

●保存先、保存ファイル名を変更するには
手順5で「保存」ボタンの横に表示されている「▼」をクリックし、「名前を付けて保存」を選択して保存先、ファイル名を変更してください。

●もう一度すべてのメッセージを表示するには
手順2で検索条件のすべてのチェックボックスをオフにして検索することで、すべてのメッセージを表示します。

●コメントのない録音メッセージを1件ダウンロードした場合のファイル名
初期設定では下記のようなファイル名で保存されます。
YYMMDDhhmmssは年、月、日、時、分、秒を表します。
ボックス番号_YYMMDDhhmmss_n_zzzzzz.wav

●複数の録音メッセージやコメント付きの録音メッセージをダウンロードした場合のファイル名
複数の録音メッセージやコメント付きのメッセージはzipファイルで1つにまとめられて保存されます。
下記のようなファイル名で保存されます。
voice_mail.zip
ダウンロードされたファイル「voice_mail.zip」をパソコンで解凍することにより、録音メッセージごとのファイルが作成されます。
解凍されたファイルは下記のようなファイル名となります。
YYMMDDhhmmssは年、月、日、時、分、秒を表します。
ボックス番号_YYMMDDhhmmss_n_zzzzzz.wav
ボックス番号_YYMMDDhhmmss_n_zzzzzz_comment.wav

●録音メッセージをダウンロードした場合のファイルサイズ
録音メッセージをダウンロードした場合、2分の録音で約1MBサイズのファイルとなります。お使いのパソコンのハードディスクなどの空き容量にご注意してお使いください。

●ダウンロードしたwavファイルのファイル形式について
ダウンロードしたwavファイルはRIFF形式、wavフォーマット、μ-Lawで保存されます。Windows Media Playerなどで再生することができます。

●複数の録音メッセージをダウンロードする場合には
複数の録音メッセージをダウンロードする場合、約200MB以上のzipファイルをダウンロードすることはできません。その場合、200MB以下に減らすか、メッセージを1件ずつダウンロードしてください。

●コメント付きの録音メッセージをダウンロードする場合には
コメント付きの録音メッセージが約200MBを超えていた場合、ダウンロードしてもメッセージのコメント部分はダウンロードできません。

●検索条件の指定について
録音メッセージを検索するときには、録音開始日時や発番号など複数の条件を指定することができます。複数の条件を指定すると、そのすべてを満たす録音メッセージが表示されます。

お知らせ

●コメントをダウンロードする／しないを選択することはできません。

●複数の録音メッセージやコメント付きの録音メッセージをダウンロードした場合、zipファイルで保存されますが、圧縮はされません。

●zipファイルで保存するかwavファイルで保存するかを、選択することはできません。

●録音メッセージのダウンロード中にLANケーブルが抜け、一定時間経過すると、「ページを表示できません」または「サーバとの接続がリセットされました」と表示されます。その後、LANケーブルを接続し、再度録音メッセージのダウンロードを行うと、約2分間「ページを表示できません」や、「ZIPファイルの作成に失敗しました」などと表示される場合があります。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。

●ネームを指定して検索するときは、S-JIS以外の文字は入力しないでください。環境依存文字や、アンパサンド（&）などを使用すると、正常に検索できません。

●録音メッセージのダウンロードで大きなファイルをダウンロードした場合、接続タイムアウトとなり自動的にログアウトとなることがあります。

録音メッセージを管理するには

録音メッセージを消去する（一般ユーザー）

音声メールに保存されている録音メッセージを消去します。

1 利用メニューで「録音メッセージ消去」をクリックする。

2 録音メッセージを検索する。

録音開始日、録音開始時間、発番号（最大32件）、ネーム（最大半角40文字）を指定して検索することができます。

「検索」をクリックすると、該当する録音メッセージの一覧が表示されます。

3 消去する録音メッセージをチェックして、「消去」をクリックする。

現在表示されているメッセージをすべて消去する場合は、「全て選択」をクリックします。

選択をすべて解除する場合は、「全ての選択を解除」をクリックします。

録音メッセージの消去が終了すると、「メッセージを消去しました。」と表示されます。

ワンポイント

●もう一度すべてのメッセージを表示するには

手順2で検索条件のすべてのチェックボックスをオフにして検索することで、すべてのメッセージを表示します。

お知らせ

- 再生中のメッセージは消去できません。再生中のメッセージを消去しようとすると、「一部の録音メッセージ消去ができませんでした。」が表示されます。再生が終わってから消去してください。
- バックアップしたメッセージも、バックアップしていないメッセージと同様に消去されます。
- ネームを指定して検索するときは、S-JIS以外の文字は入力しないでください。環境依存文字や、アンパサンド（&）などを使用すると、正常に検索できません。

録音メッセージを消去する（ユーザー管理者）

音声メールに保存されている録音メッセージを消去します。

1 **利用メニューで「録音メッセージ消去」をクリックする。**

2 **録音メッセージを検索する。**

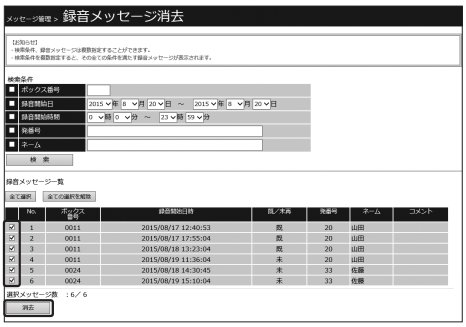
ボックス番号、録音開始日、録音開始時間、発番号（最大32桁）、ネーム（最大半角40文字）を指定して検索することができます。

「検索」をクリックすると、該当する録音メッセージの一覧が表示されます。

3 **消去する録音メッセージをチェックして、「消去」をクリックする。**

現在表示されているメッセージをすべて消去する場合は、「全て選択」をクリックします。

選択をすべて解除する場合は、「全ての選択を解除」をクリックします。



録音メッセージの消去が終了すると、「メッセージを消去しました。」と表示されます。

ワンポイント

●もう一度すべてのメッセージを表示するには

手順2で検索条件のすべてのチェックボックスをオフにして検索することで、すべてのメッセージを表示します。

お知らせ

- 再生中のメッセージは消去できません。再生中のメッセージを消去しようとすると、「一部の録音メッセージ消去ができませんでした。」が表示されます。再生が終わってから消去してください。
- バックアップしたメッセージも、バックアップしていないメッセージと同様に消去されます。
- ネームを指定して検索するときは、S-JIS以外の文字は入力しないでください。環境依存文字や、アンパサンド（&）などを使用すると、正常に検索できません。

個別ガイダンスを管理するには

パソコンから個別ガイダンスをメールボックスにアップロードしたり、メールボックスに保存されている個別ガイダンスをパソコンへダウンロードすることができます。
この操作は、一般ユーザーの利用者メニュー、ユーザー管理者の利用者メニューのどちらから行うこともできます。

個別ガイダンスをアップロードする（一般ユーザー）

パソコンで作成した個別ガイダンスのwavファイルを、メールボックスへアップロードします。

1 利用メニューで「個別ガイダンス管理」をクリックする。

2 「参照」をクリックし、アップロードするファイルを指定する。

3 「アップロード」の「実行」をクリックする。

アップロードが完了すると、「該当ガイダンスを登録しました。」と表示されます。

お知らせ

- アップロード可能なファイル形式はRIFF形式のファイルで8kHz／8bit／モノラル、wavフォーマット、μ-Lawのみとなります。違う形式のファイルをアップロードすると「アップロードしたファイルは、本機器で使用できない形式です。」が表示され、アップロードできません。
- ファイルサイズが2048kBを超えるファイルをアップロードしようとすると、「アップロードしたファイルが2048kBを超えています。」と表示され、アップロードできません。
- 個別ガイダンス管理画面でのダウンロードの表示は、ボックスに個別ガイダンスが登録されている場合にのみ表示されます。個別ガイダンスが登録されていない場合は表示されません。
- アップロードした場合にメモリーに空きがなくなると、「一時保存ファイルの書き込みに失敗しました。」または「空きメモリ容量が不足しているため、本サービスは利用できません。」と表示されます。不要な録音メッセージを消去してから行ってください。
- ガイダンスアップロード中にLANケーブルが抜け、一定時間経過すると、「ページを表示できません」と表示されます。その後、LANケーブルを接続し、再度ガイダンスのアップロードを行うと、約2分間「ページを表示できません」または「一時保存ファイルの作成に失敗しました」などと表示されアップロードできない場合があります。アップロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。

個別ガイダンスをアップロードする（ユーザー管理者）

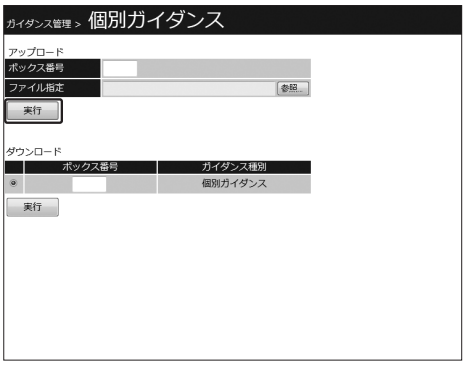
パソコンで作成した個別ガイダンスのwavファイルを、メールボックスへアップロードします。

1 利用メニューで「個別ガイダンス」をクリックする。

2 メールボックスの番号を入力する。

3 「参照」をクリックし、アップロードするファイルを指定する。

4 「アップロード」の「実行」をクリックする。



アップロードが完了すると、「該当ガイダンスを登録しました。」と表示されます。

お知らせ

- アップロードした場合にメモリーに空きがなくなると、「一時保存ファイルの書き込みに失敗しました。」または「空きメモリー容量が不足しているため、本サービスは利用できません。」と表示されます。不要な録音メッセージを消去してから行ってください。
- ファイルサイズが2048kBを超えるファイルをアップロードしようとすると、「アップロードしたファイルが2048kBを超えています。」と表示され、アップロードできません。
- アップロード可能なファイル形式はRIFF形式のファイルで8kHz／8bit／モノラル、wavフォーマット、μ-Lawのみとなります。違う形式のファイルをアップロードすると「アップロードしたファイルは、本機器で使用できない形式です。」が表示され、アップロードできません。
- ガイダンスアップロード中にLANケーブルが抜け、一定時間経過すると、「ページを表示できません」と表示されます。その後、LANケーブルを接続し、再度ガイダンスのアップロードを行うと、約2分間「ページを表示できません」または「一時保存ファイルの作成に失敗しました」などと表示されアップロードできない場合があります。アップロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。

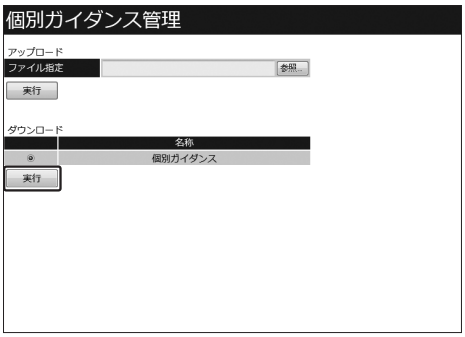
個別ガイダンスを管理するには

個別ガイダンスをダウンロードする（一般ユーザー）

メールボックスに保存されている個別ガイダンスをwavファイルとしてダウンロードします。

1 利用メニューで「個別ガイダンス管理」をクリックする。

2 「ダウンロード」の「実行」をクリックする。



3 「保存」をクリックする。

4 ダウンロードの完了を確認し、「×」をクリックする。

ワンポイント

●保存先、保存ファイル名を変更するには

手順3で「保存」ボタンの横に表示されている「▼」をクリックし、「名前を付けて保存」を選択して保存先、ファイル名を変更してください。

●ダウンロードするときのファイル名

初期設定では、下記のようなファイル名になります。「xxxx」にはボックス番号が入ります。

guidance_xxxx.wav

●個別ガイダンスをダウンロードした場合のファイルサイズ

個別ガイダンスをダウンロードした場合、2分の録音で約1MBサイズのファイルとなります。お使いのパソコンのハードディスクなどの空き容量にご注意してお使いください。

●ダウンロードしたwavファイルのファイル形式について

ダウンロードしたwavファイルはRIFF形式、wavフォーマット、μ-Lawで保存されます。Windows Media Playerなどで再生することができます。

お知らせ

●個別ガイダンス管理画面でのダウンロードの表示は、ボックスに個別ガイダンスが登録されている場合にのみ表示されます。個別ガイダンスが登録されていない場合は表示されません。

●ダウンロード中にLANケーブルが抜けるとダウンロードが失敗となります。その後、LANケーブルを接続し、再度ダウンロードを実行するとダウンロードできない場合があります。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。

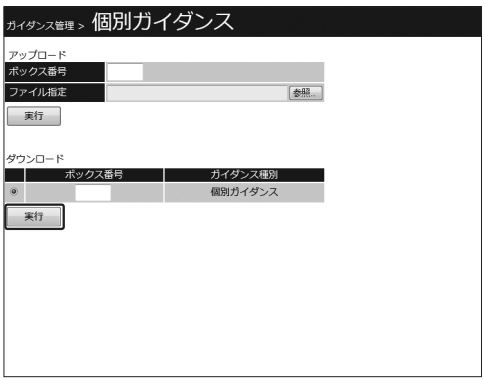
個別ガイダンスをダウンロードする（ユーザー管理者）

メールボックスに保存されている個別ガイダンスをwavファイルとしてダウンロードします。

1 利用メニューで「個別ガイダンス」をクリックする。

2 メールボックスの番号を入力する。

3 「ダウンロード」の「実行」をクリックする。



4 「保存」をクリックする。

5 ダウンロードの完了を確認し、「×」をクリックする。

（次ページに続く）

個別ガイダンスを管理するには

ワンポイント

●**保存先、保存ファイル名を変更するには**
手順4で「保存」ボタンの横に表示されている「▼」をクリックし、「名前を付けて保存」を選択して保存先、ファイル名を変更してください。

●**ダウンロードするときのファイル名**
初期設定では、下記のようなファイル名になります。「xxxx」にはボックス番号が入ります。
guidance_xxxx.wav

●**個別ガイダンスをダウンロードした場合のファイルサイズ**
個別ガイダンスをダウンロードした場合、2分の録音で約1MBサイズのファイルとなります。お使いのパソコンのハードディスクなどの空き容量にご注意してお使いください。

●**ダウンロードしたwavファイルのファイル形式について**
ダウンロードしたwavファイルはRIFF形式、wavフォーマット、μ-Lawで保存されます。
Windows Media Playerなどで再生することができます。

お知らせ

●ダウンロード中にLANケーブルが抜けるとダウンロードが失敗となります。その後、LANケーブルを接続し、再度ダウンロードを実行するとダウンロードできない場合があります。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。

共用ガイダンスを管理するには

パソコンから共用ガイダンスを音声メールにアップロードしたり、音声メールに登録されている共用ガイダンスをパソコンへダウンロードすることができます。管理対象となるガイダンス番号は15 ～ 99です。この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

共用ガイダンスをアップロードする

パソコンで作成した共用ガイダンスのwavファイルを、音声メールへアップロードします。

1 利用メニューで「共用ガイダンス」をクリックする。

2 ガイダンス番号を選択する。

3 「参照」をクリックし、アップロードするファイルを指定する。

4 「アップロード」の「実行」をクリックする。

アップロードが完了すると、「該当ガイダンスを登録しました。」と表示されます。

お知らせ

- アップロード可能なファイル形式はRIFF形式のファイルで8kHz ／ 8bit ／モノラル、wavフォーマット、μ-Lawのみとなります。違う形式のファイルをアップロードすると「アップロードしたファイルは、本機器で使用できない形式です。」が表示され、アップロードできません。
- ファイルサイズが2048kBを超えるファイルをアップロードしようとすると、「アップロードしたファイルが2048kBを超えています。」と表示され、アップロードできません。
- アップロードした場合にメモリーに空きがなくなると、「一時保存ファイルの書き込みに失敗しました。」または「空きメモリー容量が不足しているため、本サービスは利用できません。」と表示されます。不要な録音メッセージを消去してから行ってください。
- 共用ガイダンス管理画面でのダウンロードの表示は、共用ガイダンスが登録されている場合にのみ表示されます。共用ガイダンスが登録されていない場合は表示されません。
- ガイダンスアップロード中にLANケーブルが抜け、一定時間経過すると「ページを表示できません」と表示されます。その後、LANケーブルを接続し、再度ガイダンスのアップロードを行っても、約2分間「ページを表示できません」または「一時保存ファイルの作成に失敗しました」などと表示されアップロードできない場合があります。アップロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。

共用ガイダンスを管理するには

共用ガイダンスをダウンロードする

音声メールに登録されている共用ガイダンスをwavファイルとしてダウンロードします。

1 利用メニューで「共用ガイダンス」をクリックする。

2 ダウンロードするファイルをクリックし、「ダウンロード」の「実行」をクリックする。

3 「保存」をクリックする。

4 ダウンロードの完了を確認し、「×」をクリックする。

ワンポイント

●保存先、保存ファイル名を変更するには

手順3で「保存」ボタンの横に表示されている「▼」をクリックし、「名前を付けて保存」を選択して保存先、ファイル名を変更してください。

●ダウンロードするときのファイル名

初期設定では、下記のようなファイル名になります。「xx」にはガイダンス番号が入ります。

comm._guidance_xx.wav

お知らせ

- ガイダンス番号01…14の共用ガイダンスはダウンロードできません。
- 共用ガイダンス管理画面でのダウンロードの表示は、共用ガイダンスが登録されている場合にのみ表示されます。共用ガイダンスが登録されていない場合は表示されません。
- ダウンロード中にLANケーブルが抜けるとダウンロードが失敗となります。その後、LANケーブルを接続し、再度ダウンロードを実行するとダウンロードできない場合があります。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。

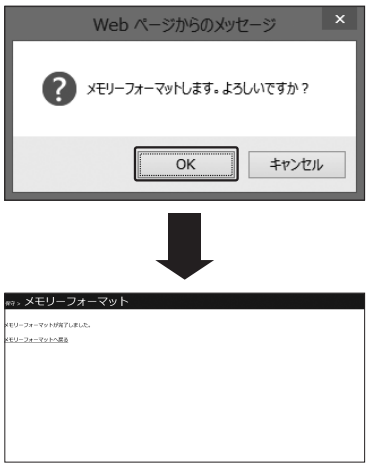
パソコンからメモリーをフォーマットするには

パソコンから音声メールGWのメモリーをフォーマットすることができます。
この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

1 利用メニューで「メモリーフォーマット」をクリックする。

2 「実行」をクリックする。

3 「OK」をクリックする。



ワンポイント

●フォーマットと同時に設定データを初期化するには

手順2の前に、「設定データの初期化を同時に行う」のチェックボックスをチェックします。次の設定が初期化され、お買い求め時の状態に戻ります。

- IPアドレス
- VLAN環境設定
- ユーザー管理者パスワード

お知らせ

●フォーマットには多少の時間がかかります。実行後は、フォーマットが完了するまでお待ちください。

●音声メールを使用中の状態でフォーマットを実行すると、「現在、本機器が使用されているため、フォーマットを実行できません。使用していない状態で再度実行してください。」が表示され、メモリーフォーマットをすることはできません。使用中でないことを確認してからフォーマットを実行してください。

●ご利用の状況によっては、音声メールの録音メッセージが壊れて電話機やパソコンから正常にご利用できなくなる可能性があります。フォーマットについては、電話機やパソコンから音声メールを正常にご利用できなくなった場合のみ行ってください。
またフォーマット後は、再起動(☛P120)を行ってください。

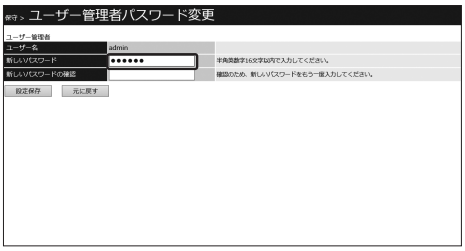
●フォーマットを行うと録音メッセージ、ガイダンス等はすべて消去されます。重要な録音メッセージやガイダンスはすべてパソコンに保存してからフォーマットしてください。フォーマットした場合、点灯中のボックスランプは点灯のままとなります。そのボックスをクリックしてメールを再生すると「メールがありません。」のガイダンスが再生されます。再生を終了するとボックスランプの点灯は消えます。

ユーザー管理者パスワードを変更するには

パソコンからユーザー管理者パスワードを変更することができます。
この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

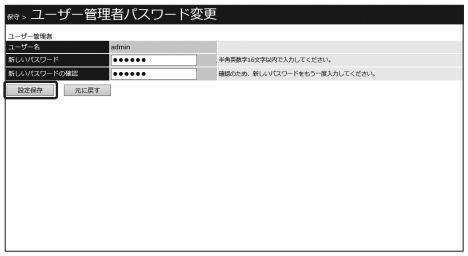
1 利用メニューで「ユーザー管理者パスワード変更」をクリックする。

2 新しいユーザー管理者パスワードを入力する。



3 もう一度同じユーザー管理者パスワードを入力する。

4 「設定保存」をクリックする。



お知らせ

- ユーザー管理者パスワードは半角英数字で最大16文字設定ができます。16文字を超えて設定することはできません。
- ユーザー管理者パスワードは忘れないようにご注意ください。ユーザー管理者パスワードを忘れるとユーザー管理者用の操作ができなくなります。ユーザー管理者パスワードを忘れた場合は、当社のサービス取扱所または販売店にご相談ください。

録音可能時間やメールの件数を確認するには

音声メール全体の録音可能時間や、ボックスごとの録音メッセージ件数を確認できます。この操作は、一般ユーザーとユーザー管理者で操作手順が異なります。

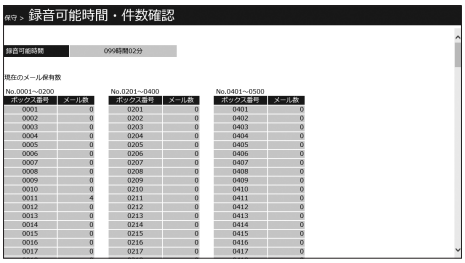
録音可能時間・件数を確認する（一般ユーザー）

一般ユーザーとしてログインし、一般ユーザーの利用メニューを表示すると、全体の録音可能時間と、ログインしたボックスのメール保有数が確認できます。（☛P84）

録音可能時間・件数を確認する（ユーザー管理者）

1 利用メニューで「録音可能時間・件数確認」をクリックする。

2 録音可能時間や、ボックスごとのメール保有数を確認する。



ワンポイント

●**ユーザー管理者で目的のボックスのメール数が表示されていないときは**

録音可能時間・件数確認画面の右端にあるスクロールバーを操作して表示させます。

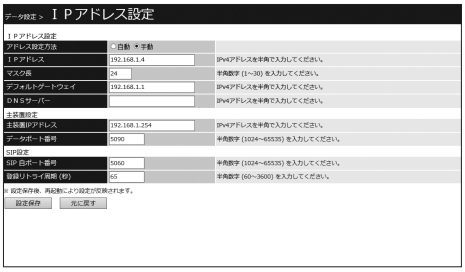
IP系システムデータを設定するには

音声メールGWのIP系データを設定できます。
この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

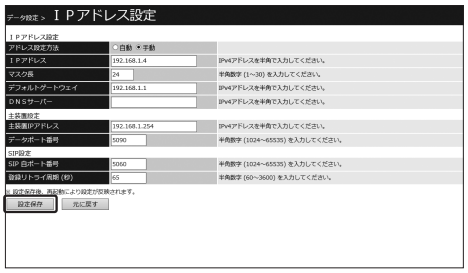
IPアドレス設定をする

1 利用メニューで「IPアドレス設定」をクリックする。

2 各項目を設定する。



3 「設定保存」をクリックする。



ワンポイント

●お買い求め時の設定は

次のように設定されています。

アドレス設定方法	：自動
IPアドレス	：設定なし
マスク長	：設定なし
デフォルトゲートウェイ	：設定なし
DNSサーバー	：設定なし
主装置IPアドレス	：設定なし
データポート番号	：5090
SIP自ポート番号	：5060
登録リトライ周期(秒)	：65

●IPアドレス設定を行った場合には

必ず再起動(☛P120)を行ってください。設定の変更は、再起動後に有効となります。

お知らせ

●IPアドレスの設定や変更を行う場合は、当社のサービス取扱所または販売店にご相談ください。

●IPアドレスは、忘れないようにご注意ください。IPアドレスを忘れると、パソコンから音声メールを利用できなくなります。IPアドレスを忘れた場合は、当社のサービス取扱所または販売店にご相談ください。

VLAN環境設定をする

1 利用メニューで「VLAN環境設定」をクリックする。

2 各項目を設定する。

3 「設定保存」をクリックする。

ワンポイント

●**お買い求め時の設定は**
次のように設定されています。
VLANタグ：付加しない
VLAN ID　：設定なし（設定範囲：1 ～ 4094）
CoS値　　：5（設定範囲：0 ～ 7）

●**VLAN環境設定を行った場合には**
必ず再起動(☛P120)を行ってください。設定の変更は、再起動後に有効となります。

●**「VLANタグを付加しない」をオンにすると**
VLAN ID、CoS値の設定は無効となります。

お知らせ

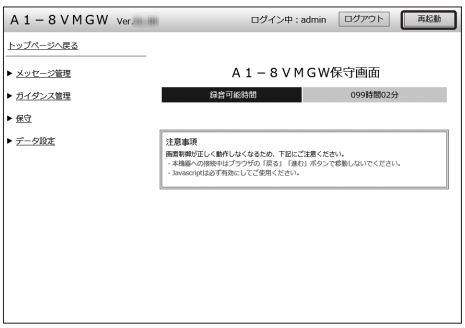
●VLANタグの設定を変更したときは、他のパソコンやHUB等も合わせて設定変更を行わないと音声メールに接続できなくなるのでご注意ください。VLAN環境の設定や変更を行う場合は、当社のサービス取扱所または販売店にご相談ください。

●本商品のCoS値を設定しただけでは、CoS値での優先制御は利用できません。LANに接続されているHUB等の設定もあわせて行う必要があります。

パソコンから音声メールGWを再起動するには

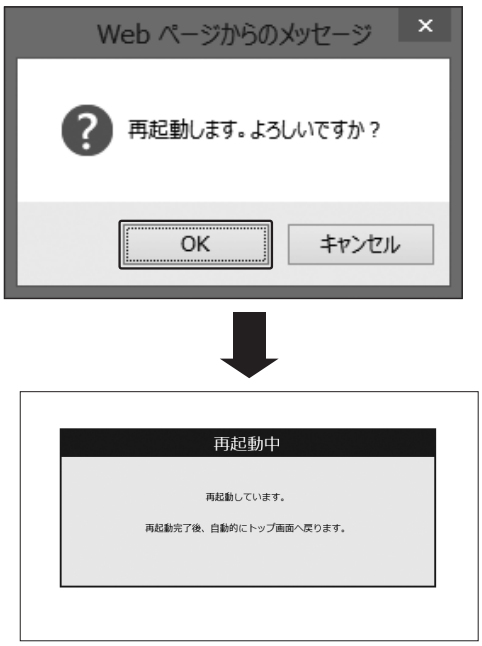
パソコンから音声メールGWを再起動することができます。再起動を行う前に、音声メール機能を使用していないことを確認してください。
この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

1 利用メニューで「再起動」をクリックする。



2 「実行」をクリックする。

3 「OK」をクリックする。



ワンポイント

●音声メールを使用中の状態で強制的に再起動を行うには
手順2の前に、「強制再起動」のチェックボックスをチェックします。

お知らせ

●音声メールを使用中の状態で再起動を実行すると「現在、本機器が使用されているため、再起動を実行できません。使用していない状態で再度実行してください。」が表示され、再起動することはできません。
●音声メールを使用中の状態で再起動を行うと、録音中のデータは破棄され、保存されません。強制再起動を行う場合はご注意ください。

停電になったときは

・停電中（停電電話機のみ使用できるとき）は音声メールの機能は一切ご使用できません。
また、停電中に音声メールに電話をかけた場合は呼び出しに応答しません。
・主装置がバッテリーなどで動いていても、主装置と音声メールGWの間のネットワーク機器(HUB等)が停電になっていると、音声メールの機能は使用できなくなります。この場合、録音中のデータは保存されません。
・停電になった場合でも、それまでに録音終了していた内容などは保持されます。
ただし、このときに音声メールのバッテリーがなくなってしまった場合には保持されません。
・停電などが発生した場合、音声メールに録音されているファイルが壊れることがあります。大切なメッセージは、その都度パソコンに保存してください。ファイルが壊れたときには、音声メールのフォーマットと再起動を行ってください。
・音声メールGWは、給電していない状態で20日以上放置しないでください。音声メールのバッテリーがなくなり、録音されているファイルや設定データが消去されて使用できなくなります。その場合は、給電を開始してフォーマットを行ってください。充電状態によっては20日以内でもバッテリーがなくなる場合があります。バッテリーをフル充電するには、一日以上給電した状態にしてください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
音声メールに電話がつながらない	主装置の電源が入っていない	主装置の電源スイッチをオンにしてください	――
	停電中	停電が復旧するまで使えません	☛P121
	主装置と音声メールの通信ができていない	主装置と音声メールの間の接続を正しく行ってください	――
		音声メールの設定が正しく行われているか確認してください	――
	電話回線が混みあっている	しばらく待ってからかけ直してください	――
音声メールを操作できない	ダイヤル回線の電話機を使っている	プッシュホン電話機または回転ダイヤル式電話機でトーン信号（PB）に切り替えられる電話機をお使いください	――
メールまたはコメントを録音できない	「システム設定」で設定された録音件数を超えている	不要なメールを消去してください	☛P41
	「システム設定」で設定された録音時間を超えている	「システム設定」で設定された録音時間以内で録音してください	――
	音声メール内のメールがいっぱいになっている	不要なメールを消去してください	☛P41
録音したメールが再生できない	「システム設定」で設定されたメール保存日数を過ぎている	メールは消去されています （故障ではありません） 消去したくないメールはバックアップしてください	☛P39
	録音終了前に停電した	録音中に停電すると、メッセージは保持されません 復旧してから、再度録音してください	☛P121
IVRで音声メールにつながらない	作成したシナリオに誤りがある	シナリオを確認し、正しいシナリオを入力してください	☛P52
パソコンから音声メールGWにつながらない	入力した音声メールGWのIPアドレスに誤りがある	音声メールGWのIPアドレスを確認し、正しいIPアドレスを入力してください	☛P118
	パソコンの設定と合っていない	パソコンと音声メールGWのIPアドレスやサブネットマスクを正しく設定してください	☛P118
再生URLまたは発信URLにアクセスし、「要求を受け付けました。」と表示されても電話機に着信が入らない	電話回線が混みあっている	しばらく待ってから、再生URLまたは発信URLにアクセスしてください	☛P75 ☛P76
	音声メールにV字発信/再生要求がされていない	お使いの携帯電話やスマートフォンによっては、キャッシュ機能により古い情報が表示されることがあります。詳しくはお使いの携帯電話やスマートフォンの取扱説明書を参照してください。	――
FTPサーバー、フレッツ・あずけ〜るへの音声メールアップロードに失敗する	通信回線が混みあっている。また、アップロードするファイルサイズが大きい	使用するルーターの設定によっては失敗することがあります。お使いのルーターの設定を確認してください。	☛P78
	一般ユーザーまたはユーザー管理者で音声メールGWのWebブラウザーにログインしている	ログアウトしてください。	☛P100 ☛P101

索　引

アルファベット

FTPS 接続 ····· 78
FTP 接続 ····· 78、84
IP アドレス設定 ····· 118
IP 系システムデータ設定 ····· 118
IVR 機能 ····· 49
　操作の流れ ····· 49
　利用回数を確認する ····· 57
PB ····· 12
VLAN 環境設定 ····· 119
V 字発信 / 再生
　サービスを開始する ····· 31
　サービスを停止する ····· 31
　再生を利用する ····· 75
　通知先を設定する ····· 30
　発信を利用する ····· 76
Web ブラウザーの設定 ····· 96

五十音

【ア行】
アップロードファイル ····· 78、83
暗証番号
　メール再生用 ····· 32、34、36
一般ユーザーの利用メニュー ····· 97
　画面の流れ ····· 97
　個別ガイダンスをアップロードする ····· 108
　個別ガイダンスをダウンロードする ····· 110
　ログインする ····· 100
　録音メッセージを消去する ····· 106
　録音メッセージをパソコンに保存する ··· 102
置き場所 ····· 4、6、7
同じメールを繰り返し再生する ···· 33、34、36
音声メール ····· 12、15
　操作用ボタン ····· 16
音声メール GW
　音声メール GW を再起動する ····· 120
　メモリーをフォーマットする ····· 115
音声メールアップロード
　録音内容を一括管理する ····· 78、80
【カ行】
外出先から利用する
　外線に転送する ····· 73
　機能アクセス ····· 74
　内線呼出 ····· 72
　メールを送る ····· 26
　メールを再生する ····· 36
　留守番電話が応答したときに他の電話機を呼び出す ····· 46
外線転送 ····· 73
外線ボックス ····· 15
ガイダンス機能 ····· 60
　お使いの電話機ボックスにオリジナルの留守メッセージを録音する ····· 65
　ガイダンス番号 ····· 60
　登録 ····· 61
　録音 ····· 65
機能アクセス ····· 74
共通ボックス ····· 15
共用ガイダンス ····· 70
　アップロード ····· 113
　ダウンロード ····· 114
　録音 ····· 70
共用ガイダンス機能 ····· 70
故障かな？と思ったら ····· 122
コメント録音
　位置を決める ····· 40
　録音を途中で取り消す ····· 40
【サ行】
システム設定で利用できる機能 ····· 88
　その他 ····· 90
　通話録音 ····· 89
　メールを送る ····· 89
　メールを再生／消去する ····· 90
システムモード
　手動解除 ····· 74
システムモードの切り替え ····· 74
自動通話録音 ····· 12、18
　自動通話録音の種類 ····· 18、20
　録音モードを切り替える ····· 19、21
シナリオ
　確認する ····· 57

索　引

作成（編集）する …… 52
シナリオコマンド …… 53
シナリオコマンドを組み合わせる …… 51
シナリオのアクセス数を確認する …… 57
設定シナリオ例 …… 50
手動通話録音 …… 12、19、22
手動で録音する …… 22
録音モードを切り替える …… 21
仕様 ……126
設置環境 ……4、6、7
【タ行】
着信代行 …… 12
停電になったときは ……121
電子メールサーバー設定 …… 86
電子メールサーバーを利用する …… 84
電子メール通知設定 …… 86
転送
外線転送 …… 73
転送先が設定されていないとき …… 46
転送先番号 …… 73
転送先を取り消す …… 28
内線電話機に転送する …… 72
メールの転送 …… 28
留守番電話の転送 …… 46
動作フロー …… 50
同報ボックス …… 15
同報メール …… 25
トーキー …… 71
トーキー番号 …… 71
特番 ……9
取扱説明書の構成 ……8
【ナ行】
内線ボックス …… 15
内線呼出 …… 72
【ハ行】
パソコンの接続 …… 95
お客様にご用意いただくもの …… 95
動作環境について …… 95
標準電話機 …… 16
保守サービス ……127
ボックスボタン
再生する …… 34
ボタンを押さずにメールを再生する …… 34
【マ行】
メールサービス …… 26、36
メール再生
一覧から選択する …… 38
再生後のランプ表示 …… 35
再生する …… 34
再生中の表示操作 …… 35
再生を中止する …… 34、39
ダイヤルボタンでの操作 …… 33、34、36
転送 …… 28
バックアップする …… 39
ハンドセットを置いたまま再生する …… 38
ボックスボタンを押さずにメールを再生する …… 34
メール送信 …… 24
内線電話機がお話し中、または応答しないときに送る …… 25
内線電話機から送る …… 26、36
録音ボタンを押さずにメールを送る …… 25
録音メッセージ再生順 …… 59
録音を中止する …… 24
メール到達通知 …… 29、32
サービスを開始する …… 31
サービスを停止する …… 31
メール到達通知に応答する …… 32
メール到達通知を設定する …… 30
メール到着時のランプ表示 …… 29
メール到達通知（電子メール）…… 84
設定する …… 86
メールの消去
再生中のメールを消去する …… 41
すべてのメールを消去する …… 42
バックアップされたメールを消去する …… 41
メールボックス …… 15
ボックスに対応したガイダンスを登録する …… 61
メールボックスの番号 ……100
メール録音通話切替先 …… 46
モニター中の相手の方とお話しする …… 48

【ヤ行】
ユーザー管理者の利用メニュー ····· 98
画面の流れ ····· 98
個別ガイダンスをアップロードする ·····109
個別ガイダンスをダウンロードする ·····111
ログインする ·····101
録音メッセージを消去する ·····107
【ラ行】
ランプ表示 ····· 17
留守番電話 ····· 43
解除 ····· 45、74
起動 ····· 45、74
再度、転送する ····· 46
設定する ····· 43
設定を解除する ····· 43
モニターする ····· 48
留守番電話が応答したとき、他の電話機に
転送する ····· 46
留守番電話モニター可表示 ····· 47
録音
一時停止する ····· 18、20、22、24、26
件数を設定する ····· 18、20
コメントを付ける ····· 23
時間が一定時間に満たなかったとき
·19、21、22、23、25、26、40、48
時間が一定時間を超えたとき ·· 19、21、22
時間を設定する ····· 18、20、22
終了する ····· 18、20、22、24、26、40
中止後に録音を
再開したいとき ····· 18、20、22
中止する ····· 18、20、22
内容を一括管理する（WEB 機能）····· 78
録音可能時間・件数確認 ·····117
録音可能時間通知 ····· 84
録音内容を一括管理する ····· 78
録音メッセージをパソコンに保存する ·····104
録音モードを切り替える ····· 19、21

仕　様

同時再生・録音回線数		最大8回線（1セットあたり）
音声蓄積媒体		半導体（フラッシュメモリー）
メモリー容量		4 GB
録音可能時間		最大約100時間
録音・再生ビットレート		64 kbps（μ-Law用）
ボックス数		ボックス　　：最大500（1システムあたり） 同報ボックス　：最大16（1システムあたり）
1メールあたり録音時間		最大時間を設定可能（設定可能時間：1 ～ 30分または制限なし）
録音件数		最大255件（1ボックスあたり）
LANインターフェイス		IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX）自動認識
	ポート数	1 ポート
	接続コネクター	RJ45（8 ピンモジュラージャック）
	最大伝送距離	100 m
使用電源		IEEE802.3af Alt-B
消費電力		最大4.5W 最大3.8kcal/h
外形寸法		約44 mm（W）×約385 mm（D）×約200 mm（H）（フロントカバー込み）
質量（本体）		約0.9 kg
使用条件		温度：5 ℃～ 35 ℃　湿度：45 % ～ 80 %（結露しないこと）

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1 年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください）。

※本商品を分解しないでください。分解した場合は、本保証の対象外となります。

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要となります。

●故障に関するお問い合わせ

局番なしの 113 番（無料）へご連絡ください。

※携帯電話・PHS からは「0120-444113」（無料）にてお受けしております。

受付時間：24 時間（午後 5 時～翌朝午前 9 時の間は録音による受付となります）

●その他

定額保守サービスの料金については、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： FREE **0120-970413**

※ 携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00 ～ 17：00

※年末年始 12 月 29 日～ 1 月 3 日は休業とさせていただきます。

■NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： FREE **0120-248995**

受付時間　9：00 ～ 17：00

※年末年始 12 月 29 日～ 1 月 3 日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 7 年間保有しております。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK
環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：FREE 0120-970413

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～17：00
年末年始　12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：FREE 0120-248995

受付時間　9：00～17：00
年末年始　12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2016 NTTEAST・NTTWEST

NTT

本3360-2（2016.12）
A1-VMGWトリセツ- <1>
4444065100 H01